RICOH

IPSiO SP C210SF

ユーザーズガイド



ご使用の前に、この使用説明書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。また、この使用説明書が必要になったとき、すぐに利用できるように保管してください。安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず「安全にお使いいただくために」をお読みください。

VCCI規格

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。

レーザーに関する安全性

本製品は、米国において、保健および安全に関する放射線規制法（1968年制定）にしたがった米国厚生省（DHHS）施行基準で、クラスIレーザー製品であることが証明されており、危険なレーザー放射のないことが確認されています。
製品内部で発生する放射は保護ケースと外側カバーによって完全に保護されており、ユーザーが操作しているときに、レーザー光が製品から漏れることはありません。

警 告

- 本書で指定している部分以外のカバーやねじは外さないでください。機械内部には電圧の高い部分やレーザー光源があり、感電や失明の原因になります。機械内部の点検・調整・修理はサービス実施店に依頼してください。
- この機械を分解・改造しないでください。火災や感電の原因になります。また、レーザー放射により失明の恐れがあります。

電源高周波

JIS C 61000-3-2 適合品
本装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

安全にお使いいただくために

このたびは本機をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
このユーザーズガイドには、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。



注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- 本機の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、受信文書の全部または一部が消失したり、通話や録音などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本機の設置に伴う回線工事には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は違法となり、また事故のもとになりますので絶対におやめください。

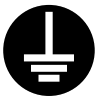
本書で使用している表示の例



△記号は注意を促す内容があることを告げるものです。



⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
⃠の中に具体的な禁止内容が描かれています。
（左図の場合は、“分解禁止”を表します）



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
●の中に具体的な指示内容が描かれています。
（左図の場合は、“アース線を必ず接続すること”を表します）

本機を安全にお使いいただくために以下の内容をお守りください。

⚠ 警 告



- 本書で指定している部分以外のカバーやねじは外さないでください。機械内部には電圧の高い部分やレーザー光源があり、感電や失明の原因になります。機械内部の点検・調整・修理はサービス実施店に依頼してください。
- この機械を分解・改造しないでください。火災や感電の原因になります。また、レーザー放射により失明の恐れがあります。



- トナー（使用済みトナーを含む）または、トナーの入った容器を火中に投入しないでください。トナー粉がはねて、やけどの原因になります。



- 使用済みのトナーは、トナー粉が飛び散らないように袋に入れて保管してください。
- 保管したトナーは、販売店またはサービス実施店にお渡しいただき、当社の回収・リサイクル活動にご協力ください。なお、お客様で処理される場合は、一般のプラスチック廃棄物と同様に処理してください。

本機を安全にお使いいただくために以下の内容をお守りください。

⚠ 注 意

- 前カバーを開くときは、給紙トレイが引き出されていないことを確認してください。手をはさんでけがをすることがあります。

- トナー（使用済みトナーを含む）または、トナーの入った容器は、子供の手に触れないようにしてください。

- 本体カバーを開閉するときは、手をはさまないように注意してください。

- 本機は質量が約 34.6kg あります。持ち上げるときは、必ず 2 人以上で作業するようにしてください。
- 本機を持ち上げるときは、底面の4 隅にある持ち手を持ってください。
- 記録紙トレイ2 の上に本機を下ろすときは、指などを挟まないように注意してください。
- 記録紙トレイ2を増設したまま本機を移動させないでください。

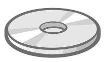
- メモリーボードの取り付け・取り外しのときは、電源スイッチが OFF になっていること、コンセントから電源コードが抜いてあることを確認してください。コンセントから電源コードを抜かずに取り付け・取り外しをすると感電する恐れがあります。

- 機械を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

- 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

ユーザーズガイドの構成

本機には、以下のユーザーズガイドが同梱されています。

	**かんたん設置ガイド（印刷版）** 本機を使用するための準備について記載しています。
	**ユーザーズガイド（本書）** ファクス、コピーのしかたや本機のお手入れ、困ったときの対処法などについて記載しています。
	**ユーザーズガイド（CD-ROM）** 付属の CD-ROM には、パソコン画面で見ることができる次のユーザーズガイドが収録されています。 • ユーザーズガイド　パソコン活用編（PDF 版）：パソコンに接続して使う機能の説明が収録されています。 • ネットワーク設定ガイド（PDF 版）：ネットワークに接続して使う機能の説明が収録されています。

本書の表記

本文中では、マークおよび商標について、以下のように表記しています。

マークについて

注意	本機をお使いになるにあたって、守っていただきたいことがらを説明しています。
補足	本機の操作手順に関する補足情報を説明しています。
P.xxx	参照先を記載しています。（XXX はページ）
P.xxx	かんたん設置ガイドの参照先を記載しています。（XXX はページ）
P.xxx	ユーザーズガイド パソコン活用編（PDF版）の参照先を記載しています。（XXX はページ）
P.xxx	ネットワーク設定ガイド（PDF版）の参照先を記載しています。（XXXはページ）

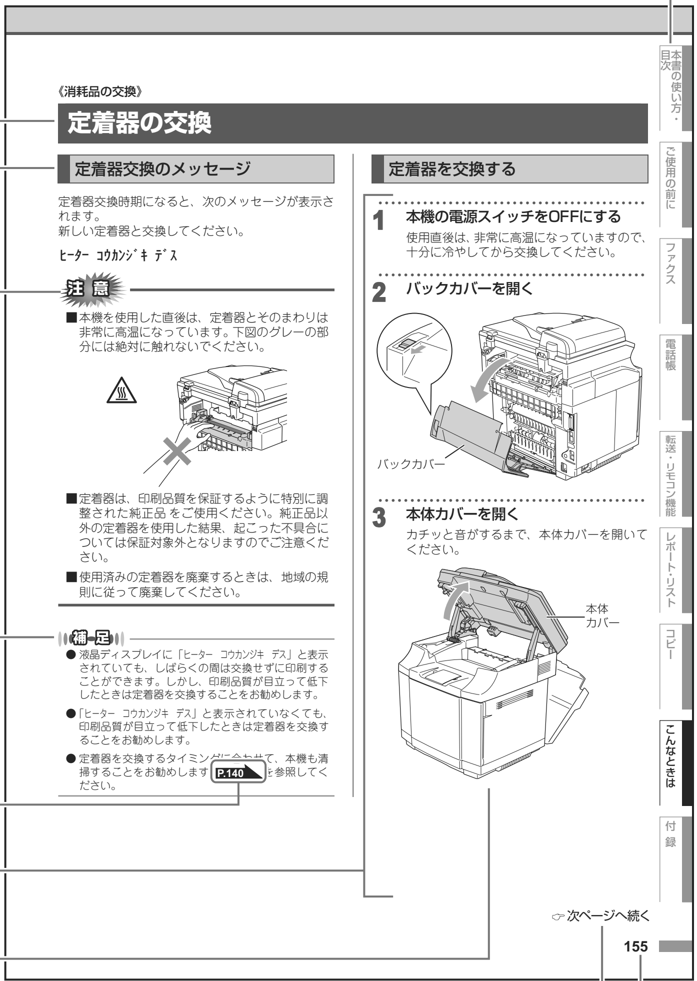
商標について

Windows® 98の正式名称は、Microsoft® Windows® 98 operating system です。
Windows® 98SEの正式名称は、Microsoft® Windows® 98 Second Edition operating system です。
Windows® 2000 Professionalの正式名称は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system です。（本文中ではWindows® 2000と表記しています。）
Windows® Meの正式名称は、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system です。
Windows NT® Workstation 4.0の正式名称は、Microsoft® Windows NT® Workstation operating system Version 4.0 です。（本文中ではWindows NT® 4.0と表記しています。）
Windows® XPの正式名称は、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemおよびMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating system です。
本文中では、OS名称を略記しています。
Microsoft 、Windows およびWindows NT は、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
Pentium、Intel、Xeonは、米国Intel Corporationの登録商標です。
本書に記載されているその他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

本書の読みかた

本書は次のようなレイアウトで説明しています。

見出しインデックスです。
現在の章を示します。



《消耗品の交換》

定着器の交換

定着器交換のメッセージ

定着器交換時期になると、次のメッセージが表示されます。
新しい定着器と交換してください。

ﾋｰﾀｰ ｺｳｶﾝｼﾞｷ ﾃﾞｽ

注意

■本機を使用した直後は、定着器とそのまわりは非常に高温になっています。下図のグレーの部分には絶対に触れないでください。

■定着器は、印刷品質を保証するように特別に調整された純正品をご使用ください。純正品以外の定着器を使用した結果、起こった不具合については保証対象外となりますのでご注意ください。

■使用済みの定着器を廃棄するときは、地域の規則に従って廃棄してください。

補足

● 液晶ディスプレイに「ﾋｰﾀｰ ｺｳｶﾝｼﾞｷ ﾃﾞｽ」と表示されていても、しばらくの間は交換せずに印刷することができます。しかし、印刷品質が目立って低下したときは定着器を交換することをお勧めします。

●「ﾋｰﾀｰ ｺｳｶﾝｼﾞｷ ﾃﾞｽ」と表示されていなくても、印刷品質が目立って低下したときは定着器を交換することをお勧めします。

● 定着器を交換するタイミングに合わせて、本機も清掃することをお勧めします P.140 を参照してください。

定着器を交換する

1 本機の電源スイッチをOFFにする

使用直後は、非常に高温になっていますので、十分に冷やしてから交換してください。

2 バックカバーを開く

バックカバー

3 本体カバーを開く

カチッと音がするまで、本体カバーを開いてください。

本体カバー

次ページへ続く

155

大見出しです。

中見出しです。

本機をお使いになるにあたって、守っていただきたいことがらを説明しています。
特に ⚠ マークがあるものは、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

本機の操作手順に関する補足情報を説明しています。

参照先を記載しています。

操作手順です。

必要に応じてイラストや画面を使って説明しています。

次ページに続いていることを示します。

ページ番号です。

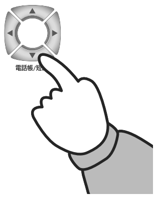
このページは説明のために作成したもので、実際のページとは異なります。

やりたいこと目次

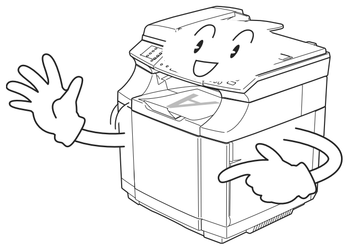
各機能をご利用になる前に「第1章 ご使用の前に」を必ずお読みください。

ファクス

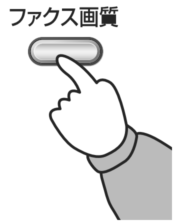
簡単に送信したい。
（ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤル）
P.62



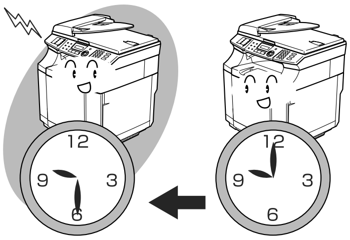
自動で受信したい。
（自動受信）P.37



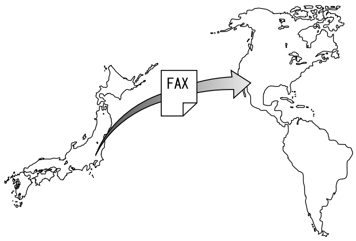
画質を調整したい。
（画質調整）P.66



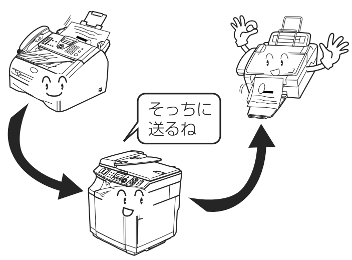
指定した時刻に送信したい。
（タイマー送信）P.75



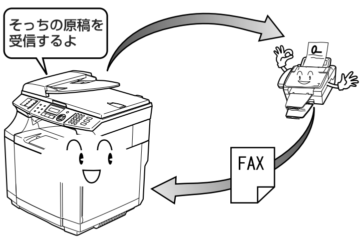
海外に送信したい。
（海外送信）P.74



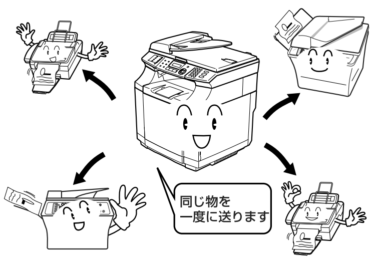
外出先で受信したい。
（ファクス転送）P.94



受信側ファクシミリからの操作で原稿を受け取りたい。
（ポーリング）P.81



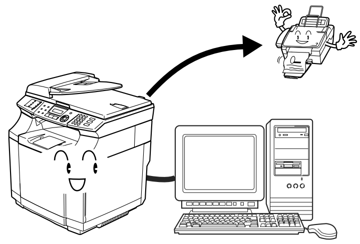
複数の相手に同じ文書をまとめて送信したい。
（同報送信）P.70



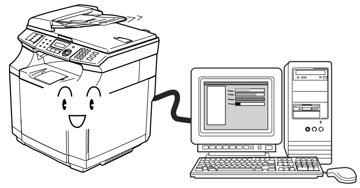
ナンバー・ディスプレイ機能を使いたい。
P.53



パソコンからファクスを送信したい。
ユーザーズガイド パソコン活用編（PDF 版）P.65 を参照してください。

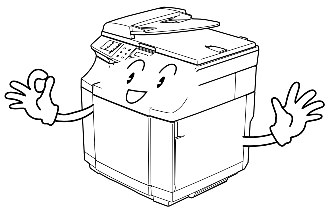


パソコンを使って短縮ダイヤルなどの本機の設定を簡単に行いたい。
ユーザーズガイド パソコン活用編（PDF 版）P.57 を参照してください。

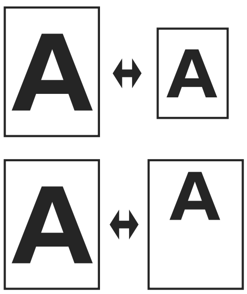


コピー

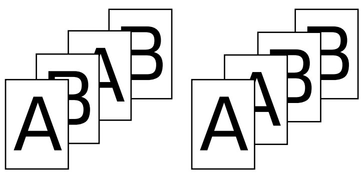
たくさんの文書を連続コピーしたい。（ADF：自動原稿送り装置）P.112



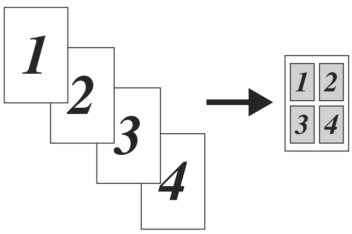
拡大/縮小コピーしたい。
P.114



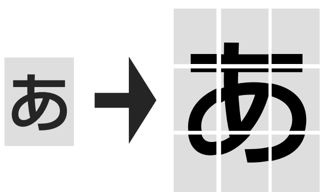
効率よく複数部コピーしたい。P.116



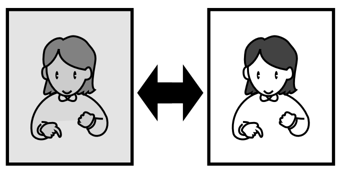
2枚または4枚の原稿を1枚の記録紙にまとめてコピーしたい。（2 in 1、4 in 1）
P.117



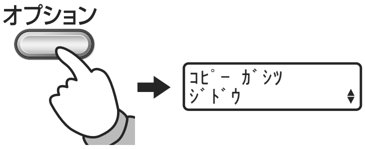
ポスターサイズにコピーしたい。P.118



コントラストを変えたい。
P.116、P.121

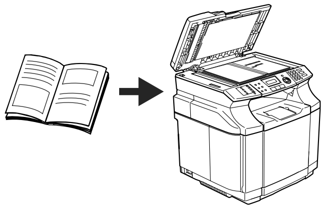


画質をきれいにコピーしたい。P.115、P.120



本などの原稿を原稿台ガラスからコピーしたい。

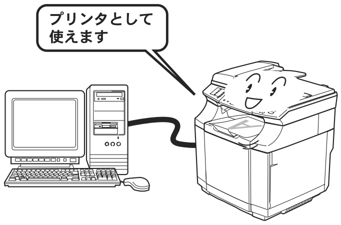
P.113



プリンタ

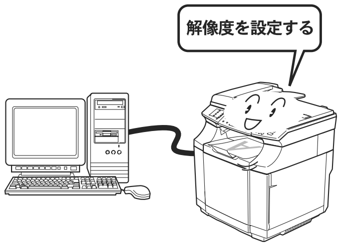
プリンタとして使いたい。

ユーザーズガイド パソコン活用編（PDF 版）P.11 を参照してください。



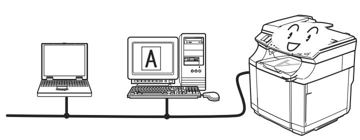
カスタム設定をしたい。

ユーザーズガイド パソコン活用編（PDF 版）P.88 を参照してください。



ネットワークプリンタとして使いたい。

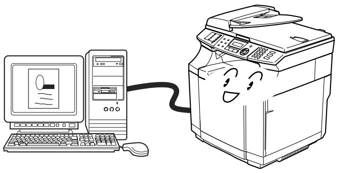
ネットワーク設定ガイド（PDF 版）P.56 を参照してください。



スキャナ

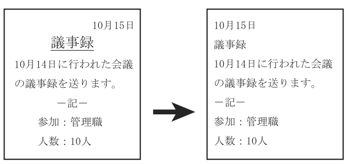
文字や写真をそのままパソコンのデータにしたい。

ユーザーズガイド パソコン活用編（PDF 版）P.43 を参照してください。



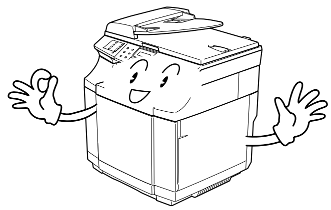
画像ファイルをテキストファイルに変換したい。（OCR機能）

ユーザーズガイド パソコン活用編（PDF 版）P.47 を参照してください。



複数の原稿をまとめてスキャンしたい。

ユーザーズガイド パソコン活用編（PDF 版）P.44 を参照してください。



目　次

困ったときには

1章

ご使用の前に

《かならずお読みください》

各部の名称とはたらき

操作パネルの名称とはたらき

ファクス機能ボタン

●再ダイヤル/ポーズボタン
最後にダイヤルした番号を再ダイヤルするときに押します。P.65
ダイヤル番号の入力時にポーズ（待ち時間）を入れるときに押します。

●オンフックボタン
ファクスを手動送信するときに押します。P.60

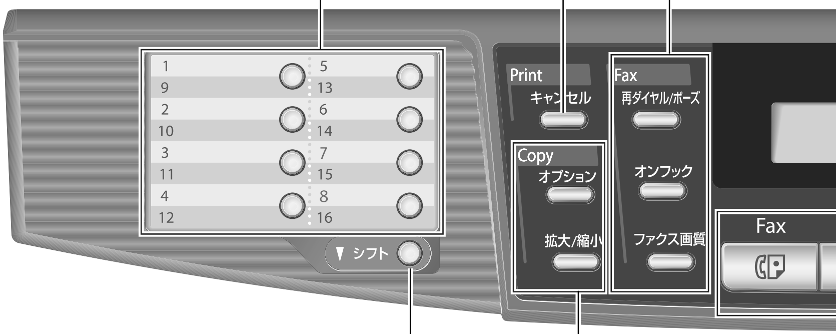
●ファクス画質ボタン
ファクス送信する原稿に合わせて、画質を一時的に設定するときに押します。P.66

キャンセルボタン

メモリー内のデータを削除します。

ワンタッチボタン

あらかじめ登録したワンタッチダイヤルまたはグループダイヤルを使用するときに押します。P.62



シフトボタン

ワンタッチダイヤルの9～16を登録またはダイヤルするとき、このボタンを押しながらワンタッチボタンを押します。

コピー機能ボタン

●オプションボタン
コピーの設定を一時的に変更するときに押します。P.114

●拡大/縮小ボタン
拡大/縮小コピーをするときに押します。P.114

液晶ディスプレイ

現在の日時や操作方法を案内するメッセージが表示されます。P.21

セキュリティボタン

パスワードを使って印刷します。
ユーザーズガイド パソコン活用編（PDF版）P.15 を参照してください。

ダイヤルボタン

ダイヤルするときや、文字入力をするときに押します。

停止/終了ボタン

ファクス送信または操作を中止するときや機能設定を終了するときに押します。



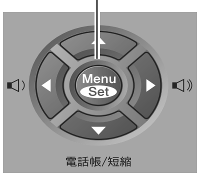
モノクロ/カラースタートボタン

ファクスの送受信やコピー、スキャンを開始するときなどに押します。

ナビゲーションキー P.22

機能を設定するときや設定した機能を確定（決定）するときに押します。

- 前のレベルメニューに移動します。
- 音量を小さくします。



- 次のレベルメニューに移動します。
- 音量を大きくします。

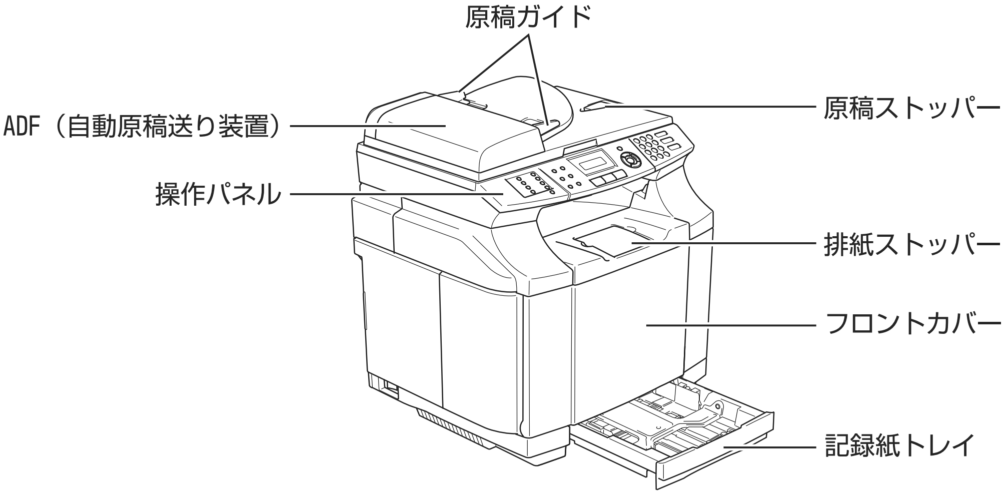
電話帳/短縮

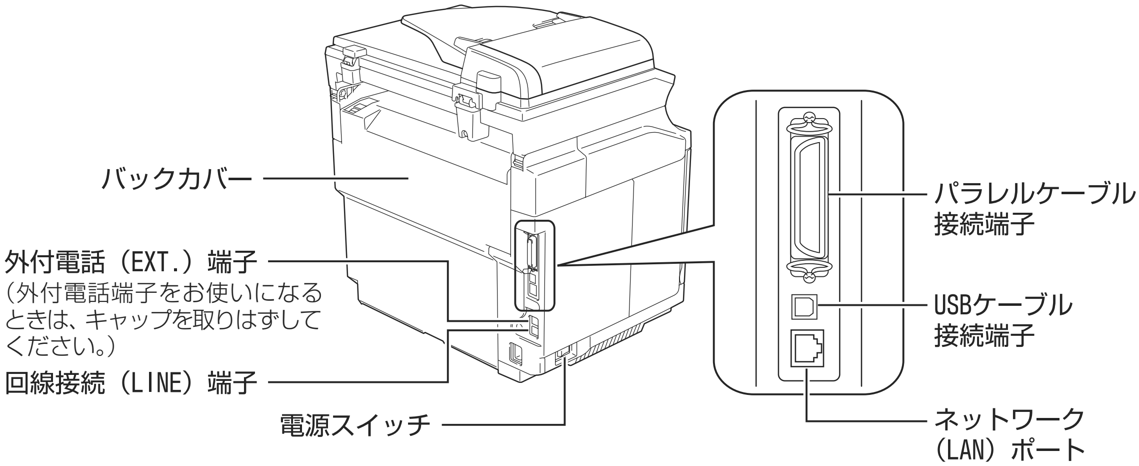
電話帳から検索するときに押します。
P.64

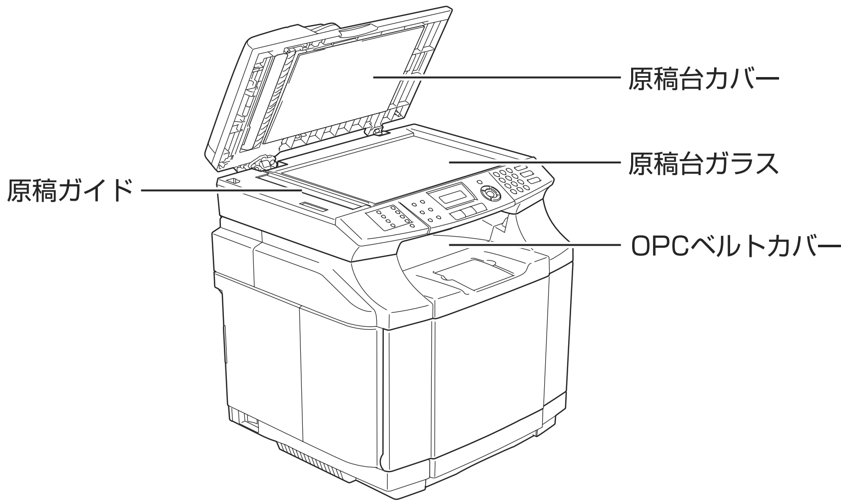
モード選択ボタン

ファクス／スキャン／コピーの各モードに切り替えます。P.32

各部の名称


原稿ガイド
ADF（自動原稿送り装置）
原稿ストッパー
操作パネル
排紙ストッパー
フロントカバー
記録紙トレイ


バックカバー
外付電話（EXT.）端子
（外付電話端子をお使いになるときは、キャップを取りはずしてください。）
回線接続（LINE）端子
電源スイッチ
パラレルケーブル接続端子
USBケーブル接続端子
ネットワーク（LAN）ポート


原稿台カバー
原稿台ガラス
原稿ガイド
OPCベルトカバー

《かならずお読みください》

液晶ディスプレイの特徴

液晶ディスプレイについて

本機は、お客様が使いやすいように、液晶ディスプレイに現在の設定内容や、操作方法などを案内するメッセージが表示されます。



ファクスモードの標準画面

```
 ①       ②     ③
08/21 15:25 Fax
④ ｶﾞｼﾂ:ﾋｮｳｼﾞｭﾝ
```

①：月/日が表示されます。
②：現在の時刻が表示されます。
③：設定したファクスの受信モードが表示されます。
④：ファクス送信の画質が表示されます。

コピーモードの標準画面

```
 ①            ②
ｽﾀｯｸ    ｺﾋﾟｰｽｳ:01
100%   □□■□□ｼﾞﾄﾞｳ
 ③       ④     ⑤
```

①：出力方法（スタック／ソート）が表示されます。
②：コピー枚数が表示されます。
③：拡縮率が表示されます。
④：コントラスト（コピー濃度）が表示されます。
⑤：コピー画質が表示されます。

案内メッセージ（エラーメッセージ例）

```
①ｷﾛｸｼｶﾞ ﾂﾏｯﾃｲﾏｽ B
②ﾊﾞｯｸｶﾊﾞｰｦ ｱｹﾃ ﾂﾏ
```

①：エラー内容などが表示されます。
②：エラーの対処方法などが表示されます。長いメッセージはスクロール表示します。

液晶ディスプレイの表示言語を設定する〔英語・日本語〕

液晶ディスプレイに表示される言語を、英語または日本語に切り替えることができます。

1 Menu/Set 0 0 を押す

```
ｼｮｷ ｾｯﾃｲ
0.ﾋｮｳｼﾞ ｹﾞﾝｺﾞ
```

2 ▲▼で言語を選択する

```
ﾋｮｳｼﾞ ｹﾞﾝｺﾞ
ﾆﾎﾝｺﾞ          ⁑
```

3 Menu/Set を押す

```
ﾋｮｳｼﾞ ｹﾞﾝｺﾞ
ｳｹﾂｹﾏｼﾀ
```

4 停止/終了 を押す

補足

- お買い上げ時は「ﾆﾎﾝｺﾞ」に設定されています。
- 英語による説明を以下に示します。

  This setting allows you to change LCD language to English.

  1 Press Menu/Set 0 0 .
  2 Press ▲▼ to select “English”.
  3 Press Menu/Set .
  4 Press 停止/終了 to exit.

《かならずお読みください》

機能設定する

ナビゲーションキーを使った基本操作

本機は、ナビゲーションキーを使った簡単な操作で、各種の設定ができます。
ナビゲーションキーを使用することによって、設定したい項目を選択しながら設定することもできます。



ナビゲーションキー	キーの役割
	• メインメニューを表示する場合 • 次のメニューレベルに移る場合 • 選択項目を確定（決定）する場合 • 選択項目の設定が終わると、液晶ディスプレイには「ウケツケマシタ」と表示されます。
	• メニュー内の項目を表示する場合
	• 前のメニューレベルに戻る場合 • 音量を小さくする場合
	• 次のメニューレベルに進む場合 • 音量を大きくする場合
停止 / 終了ボタン	**キーの役割**
	• 操作を中止するときや、設定を終了する場合

ダイヤルボタンを使った基本操作

を押した後、ダイヤルボタンで、設定したい機能の番号を直接入力することで、本機に対する各種の設定ができます。

補足

設定を途中で終了するときは、を押してください。

《かならずお読みください》

記録紙について

推奨紙

記録紙の種類※1	記録紙名
普通紙	リコー　コピーPPC用紙タイプ6000<58W>、<70W>、<90W> タイプ6200
再生紙	マイリサイクルペーパー 100/100W/FC
ハクリ紙※2	リコー PPC用紙タイプSA
郵便はがき※2	
専用OHPフィルム※2	CG3700／住友スリーエム（株）

※1 推奨紙をご使用ください。用紙の種類によっては、うまく印刷できない場合があります。
インクジェット専用紙はご使用にならないでください。本機の故障の原因となります。
※2 ハクリ紙、郵便はがき、OHPフィルムは記録紙トレイ1からのみ給紙可能です。

補足

- 市販されているカラーレーザープリンタ用の記録紙をお使いいただくこともできますが、印刷品質は記録紙に左右されますので、推奨されている記録紙をお勧めします。
- 一度に多くの記録紙を購入する前に、試し印刷されることをお勧めします。
- 中性の記録紙をお使いください。酸性、アルカリ性の記録紙はお使いにならないでください。

記録紙トレイについて

本機の記録紙トレイの他に、オプションの記録紙トレイ（500枚増設トレイユニット　タイプ2500）を増設することができます。増設することにより、最大780枚（80g/m^{2}の普通紙の場合）セットすることができます。本書では、それぞれの記録紙トレイの名称を次のように表しています。

記録紙トレイ	本書で使われている名称
本機の記録紙トレイ	記録紙トレイ１
オプションの記録紙トレイ（500枚増設トレイユニット　タイプ2500）	記録紙トレイ２

セットできる記録紙の種類

記録紙の種類	記録紙トレイ 1	記録紙トレイ 2（オプション）
普通紙（60g/m^2～74g/m^2）	○	○
普通紙（厚め）（75g/m^2～90g/m^2）	○	○
厚紙（90g/m^2～210g/m^2）	○	○（90g/m^2～105g/m^2）
再生紙	○	○
郵便はがき※1（25枚）	○	×
OHPフィルム（50枚）	○	×
ハクリ紙（80枚）	○	×
封筒※2（洋形4号）	○	×

※1 私製はがき、往復はがき、印刷済みはがきは使用できません。
※2 私製封筒は使用できません。

補足

- 宛名ラベル、OHPフィルムなどは、カラーレーザープリンタ用の物をお使いください。
- 印刷品質を得るために、たて目用紙を使用することをお勧めします。
- よこ目用紙は、紙づまりや重送の原因になりますので使用しないでください。
- OHPフィルムをご使用になると次に印字される記録紙を汚すことがあります。重ならないように1枚ずつ抜き取ってください。

セットできる記録紙サイズと枚数

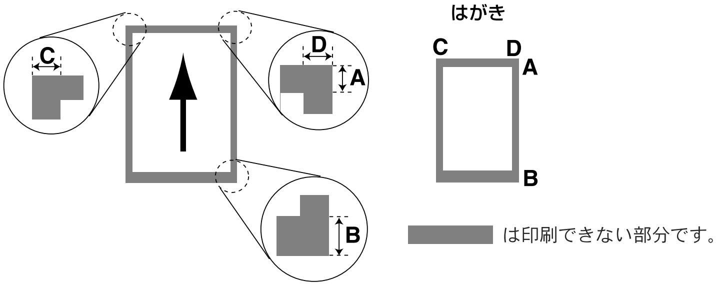
	記録紙トレイ 1	記録紙トレイ 2（オプション）
記録紙サイズ	A4、USレター、B5（JIS）、A5、はがき（郵便はがきまたは同等品）、封筒（洋形4号） ユーザー定義サイズ（幅100.0～215.9mm 長さ210.0～355.6mm）	A4、USレター、B5（JIS）
枚数（80g/m^2）	250枚	530枚

補足

- 受信したファクスはA4サイズで印刷してください。
- JIS B5サイズよりも小さい記録紙をセットした場合、コピーの出力サイズは、すべてはがきサイズとなります。お好みに合わせて倍率を調節してください。P.114 を参照してください。
- 特殊なサイズや種類の記録紙を使用する場合は、最初に印字テストを行ってください。

記録紙の印刷可能範囲について

記録紙には印刷できない部分があります。
以下の図と表に、印刷できない部分を示します。なお、図と表のA、B、C、Dはそれぞれ対応しています。



（単位：mm）

サイズ	モード	A	B	C	D
A4	ファクス	4.0	13.0	3.0	3.0
	コピー	4.0	4.0	3.0	3.0
	プリンタ	4.2	4.2	4.2	4.2
郵便はがき（100mm×148mm）	コピー	4.0	4.0	3.0	3.0
	プリンタ	4.2	4.2	4.2	4.2

補足

印刷できない部分の数値（表中のA、B、C、D）は、目安として参考にしてください。また、お使いの記録紙やプリンタドライバによっても値が変わってきます。

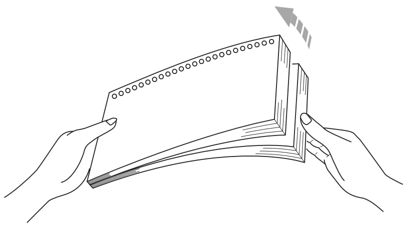
☞次ページへ続く

注意

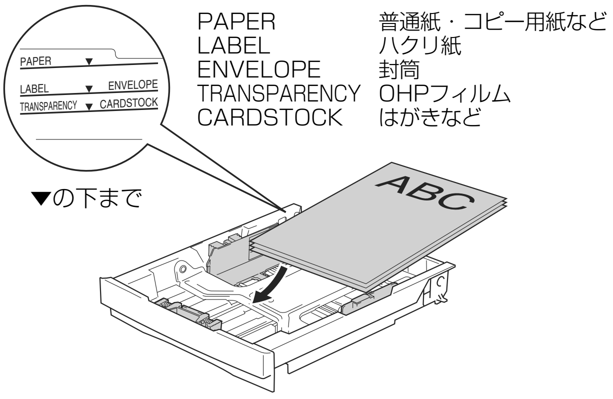
■つぎのような記録紙は絶対に使用しないでください。印刷品質の低下と本機にダメージを与えるおそれがあります。これらの紙を使用した結果、生じた製品の故障・破損については保証対象外となりますので、ご注意ください。

- インクジェット紙
- ノーカーボン紙
- コート紙
- 化学紙（ラミネート紙など）
- 極端に滑らかな記録紙
- 極端にざらつきのある記録紙
- カールしている記録紙
- 折り目やしわのある記録紙
- ホッチキスや付箋のついている記録紙
- 指定された坪量を超える記録紙

■ルーズリーフなど穴の開いた記録紙はよくさばいてから記録紙トレイにセットしてください。



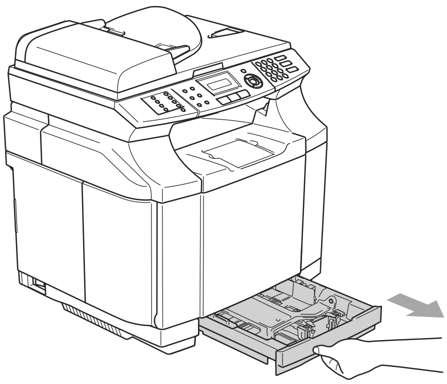
■それぞれの記録紙が記録紙ガイドの▼マークを超えないように記録紙をセットしてください。



■一度に排紙できる枚数は普通紙（80g/m^{2}紙）の場合、約250枚です。

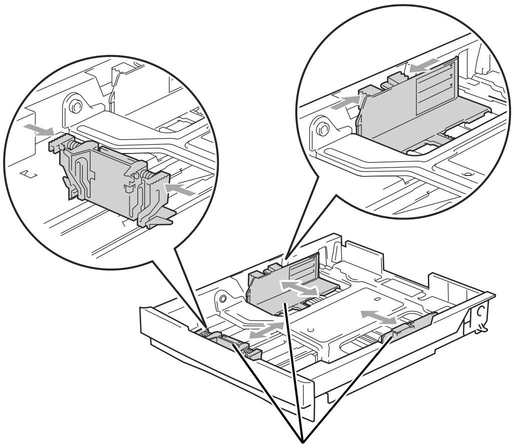
記録紙トレイに記録紙をセットする

1 記録紙トレイを完全に引き出す

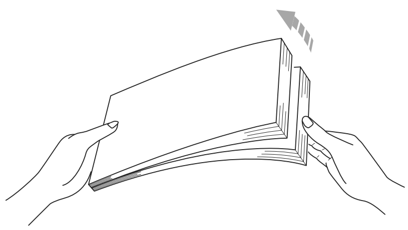


2 記録紙ガイドをつまみながらスライドする

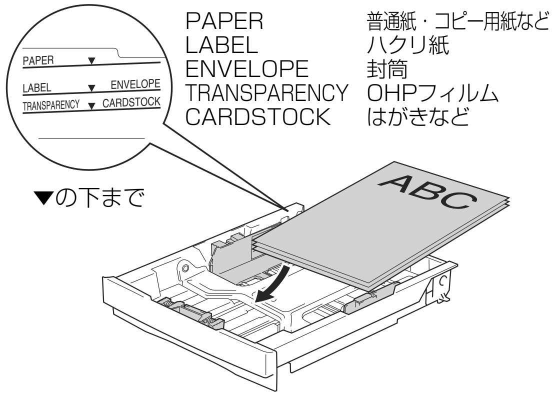
ご使用になる記録紙のサイズに合わせます。



3 紙づまりや給紙ミスを防ぐため、記録紙をよくさばく



4 印字面を上にして記録紙トレイに入れる



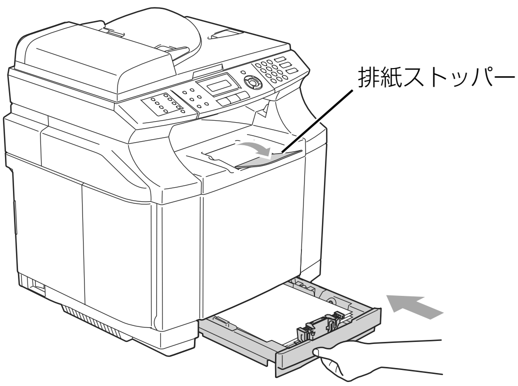
注意

- ■記録紙は少しずつ入れてください。一度にたくさん入れると紙づまりや給紙ミスの原因になります。
- ■種類の異なる記録紙を一緒にセットしないでください。

補足

- ● A4(80g/m^{2}の普通紙)で記録紙トレイ1が約250枚、記録紙トレイ2が約530枚までセットできます。
- ● 記録紙がカセットの中で平らになっていること、▼マークより下の位置にあることを確認してください。
- ● 記録紙ガイドのツメがしっかりと溝にはまっていることを確認してください。

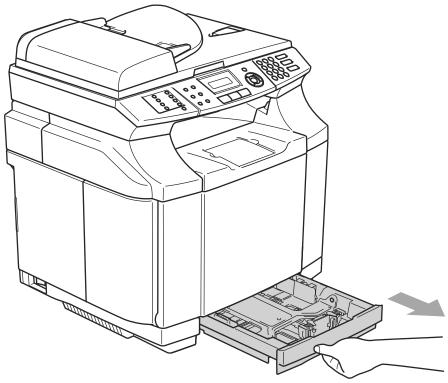
5 記録紙トレイを本機に戻し、排紙ストッパーを起こす



郵便はがきに印刷する

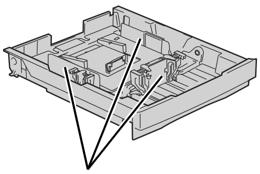
郵便はがきを印刷するときは、記録紙トレイに「はがきアダプタ」を取り付けます。

1 記録紙トレイを完全に引き出す



2 はがきアダプタ裏面のフックを記録紙トレイに引っ掛けるようにして取り付ける

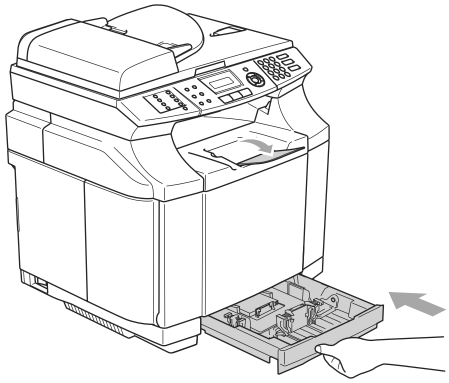
3 記録紙ガイドをつまみながらスライドしてはがきアダプタを固定する



記録紙ガイド

4 郵便はがきをセットする

5 記録紙トレイを本機に戻す



注意

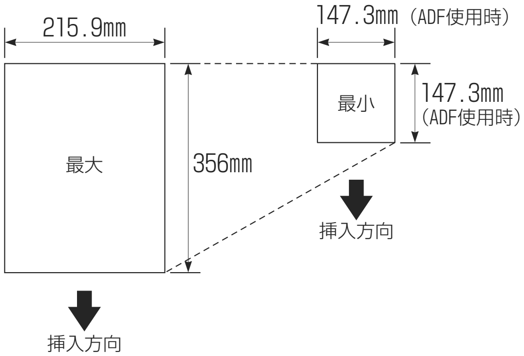
はがきアダプタにセットできるはがきの枚数は25枚までです。26枚以上セットしないでください。紙づまりや給紙ミスの原因になります。

《かならずお読みください》

原稿について

原稿サイズ

セットできる原稿サイズは次のとおりです。これ以外のサイズの原稿は、原稿台ガラスにセットしてください。



坪量	：64g/m^2 ～ 90g/m^2（ADF（自動原稿送り装置）使用時）
最大質量	：2kg（原稿台ガラス使用時）

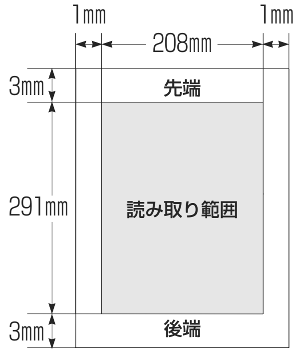
補足

- 原稿の種類や形状に応じて、ADF（自動原稿送り装置）か原稿台ガラスのどちらかを選択してください。
- ADF（自動原稿送り装置）に原稿があるときは ADF（自動原稿送り装置）から読み込まれます。ADF（自動原稿送り装置）に原稿がないときは原稿台ガラスから読み込まれます。
- 原稿がはがきの場合、原稿台ガラスにセットしてください。

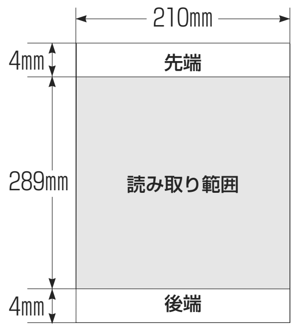
原稿の読み取り範囲

A4サイズの原稿をセットした場合の最大読み取り範囲は次のとおりです。

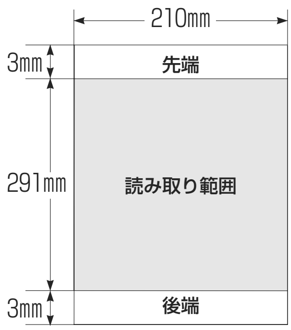
〈ファクス〉



〈コピー〉



〈スキャナ〉



補足

- 原稿の読み取り範囲は、目安として参考にしてください。
- 原稿を読み取る範囲と記録紙に印刷できる範囲が異なります。P.25 を参照してください。

☞次ページへ続く

注意

ファクスについて

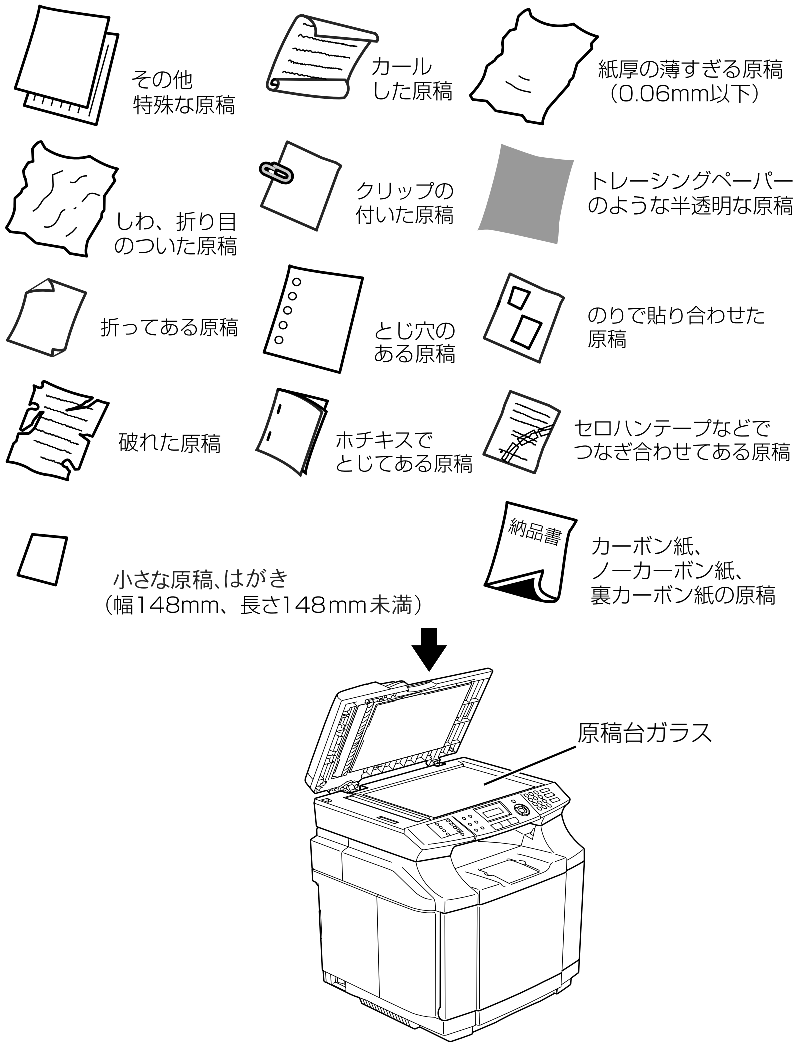
■インクやのりなどが付いている原稿は、完全に乾いてからセットしてください。

■ADF（自動原稿送り装置）から送信するときは、原稿のクリップ・ホチキスの針は故障の原因となりますので取り外してください。

■異なるサイズ・厚さ・紙質の原稿を混ぜてADF（自動原稿送り装置）にセットしないでください。

■ADF（自動原稿送り装置）に原稿を強く押し込まないでください。原稿づまりを起こしたり、複数枚の原稿が一度に送られることがあります。

■以下のような原稿は、原稿台ガラスを使用して送信してください。ADF（自動原稿送り装置）では、キャリアシート（市販品）はお使いになれません。



コピーについて

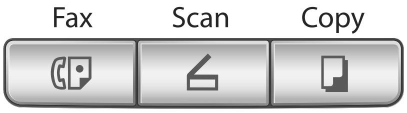
■法律によりコピーが禁じられている物があります。以下のような物のコピーには注意してください。

- 法律で禁止されている物（絶対にコピーしないでください）
  - 紙幣、貨幣、政府発行有価証券、国債証券、地方証券
  - 外国で流通する紙幣、貨幣、証券類
  - 未使用の郵便切手や郵便はがき
  - 政府発行の印紙および酒税法や物品税法で規定されている証券類
- 著作権のある物
  - 著作権の対象となっている著作物を、個人的に限られた範囲内での使用目的以外でコピーすることは禁止されています。
- その他の注意を要する物
  - 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手）、定期券、回数券
  - 政府発行のパスポート、公共事業や民間団体の免許証、身分証明書、通行券、食券などの切符類など

《かならずお読みください》

モードについて

操作パネルのモード選択ボタンでファクス、コピー、スキャンの各モードを選択することができます。
現在選択されているモードボタンは青色に点灯します。



モードタイマーを設定する

各モードで操作後、自動的にファクスモードに戻る時間を設定することができます。「Off」を選択すると、最後に使ったモードを維持します。

1 Menu Set　1　1 を押す

```
キホン セッテイ
1.モード゛ タイマー
```

2 で時間を選択する

「0 ビョウ」「30 ビョウ」「1 プン」「2 フン」「5 フン」「Off」の中から選択します。

```
モード゛ タイマー
30 ビ゛ョウ
```

3 Menu Set を押す

```
モード゛ タイマー
ウケツケマシタ
```

4 停止/終了 を押す

補足

お買い上げ時、モードタイマーは「2 フン」に設定されています。

《かならずお読みください》

回線種別を設定する

自動で回線種別を設定する

電話機コードを接続してから電源コードを接続してください。
本機は回線種別の自動設定を行います。回線種別の自動設定が行われた後、液晶ディスプレイには以下のいずれかが表示されます。

表示	
ﾌﾟｯｼｭ ｶｲｾﾝ ﾃﾞｽ	：プッシュ回線に設定されたとき
ﾀﾞｲﾔﾙ 20PPS ﾃﾞｽ	：ダイヤル回線（20PPS）に設定されたとき

補足

● 回線チェック中に「ピピピ」という警告音が鳴り、右のメッセージが表示されたときは、電話機コードが正しく接続されていません。電話機コードを正しく接続してください。

ﾃﾞﾝﾜｷ ｺｰﾄﾞ ｦ
ｾﾂｿﾞｸ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ

正しく接続しないまま5分以上放置すると、「ｾｯﾃｲ　ﾃﾞｷﾏｾﾝﾃﾞｼﾀ」と表示されます。

ｾｯﾃｲ ﾃﾞｷﾏｾﾝﾃﾞｼﾀ

電話機コード接続しない場合は［停止/終了］を押してください。「ｾﾂｿﾞｸｦ　ﾔﾒﾏｽｶ?」と表示されますので「1. ﾊｲ」を押してください。
（回線はプッシュ回線に設定されます。）

ｾﾂｿﾞｸｦ ﾔﾒﾏｽｶ?
1.ﾊｲ 2.ｲｲｴ

● 回線チェック中に「ピピピ」という警告音が鳴り、右のメッセージが表示されたときは、自動的に回線種別を設定できていません。手動で回線種別を設定してください。手動回線種別の設定についてはP.34を参照してください。

ｾｯﾃｲ ﾃﾞｷﾏｾﾝﾃﾞｼﾀ
↓
ｶｲｾﾝｾｯﾃｲ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ

● 電話機コードを接続せずにコピーやスキャンなどの機能だけを利用される場合でも、右のメッセージが表示されます。メッセージを消去するには、同様に手動で回線種別を設定してください。どの回線種別を選択しても構いません。

手動で回線種別を設定する

自動で回線種別を設定できなかったときや、引越しなどで電話がかからなくなったときは、以下の手順で、利用中の電話回線に合わせて設定します。

1 Menu Set 0 4 を押す

```
ｼｮｷ ｾｯﾃｲ
4.ｶｲｾﾝｼｭﾍﾞﾂ ｾｯﾃｲ
```

2 で回線種別を選択する

回線種別の表示を以下に示します。

- プッシュ回線のとき　　　　：ﾌﾟｯｼｭ　ｶｲｾﾝ
- ダイヤル回線10PPSのとき　：ﾀﾞｲﾔﾙ　10PPS
- ダイヤル回線20PPSのとき　：ﾀﾞｲﾔﾙ　20PPS
- 自動設定を行うとき　　　　：ｼﾞﾄﾞｳ　ｾｯﾃｲ

```
ｶｲｾﾝｼｭﾍﾞﾂ ｾｯﾃｲ
ﾌﾟｯｼｭ ｶｲｾﾝ
```

3 Menu Set を押す

```
ｶｲｾﾝｼｭﾍﾞﾂ ｾｯﾃｲ
ｳｹﾂｹﾏｼﾀ
```

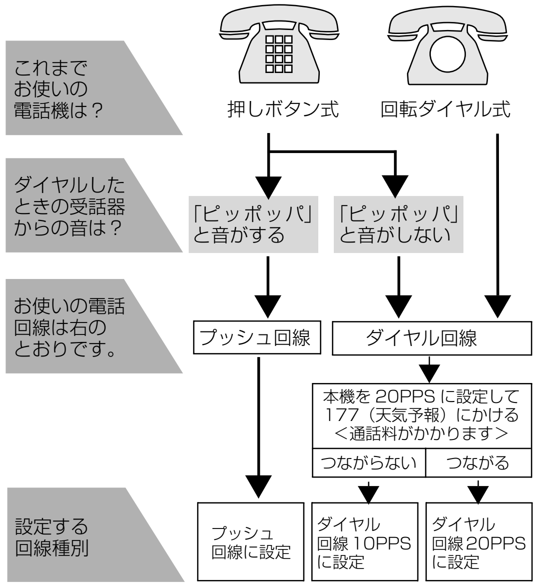
4 停止/終了 を押す

補足

- プッシュ回線またはISDN回線をお使いの場合は、「ﾌﾟｯｼｭ　ｶｲｾﾝ」を選択してください。
- 設定を間違えると、間違った相手にかかったり、ファクスが送信できないことがありますのでご注意ください。
- IP電話対応機器（ADSLモデム、ルータ、IPフォンアダプタなど）に本機を接続する場合
  本機の回線種別設定は、NTT と契約している回線種別に手動で設定してください。回線種別を自動で設定した場合、「110」、「119」やフリーダイヤルなどに電話をかけられなかったり、ファクスの送信ができなくなる場合があります。

利用中の電話回線の種別を調べる

回線種別は、次の手順で調べることができます。もし、分からないときは、最寄りのNTTの支店・営業所またはNTT窓口（116：無料）にお問い合わせください。



補足

- 構内交換機など一般と異なる回線につないでいる場合は、自動設定できないときがあります。
- いったん、自動設定すると電源を入れ直しても再度、回線種別の自動設定は行われません。設定し直したいときは、手動で設定を変更してください。

《かならずお読みください》

ご使用前の設定をする

日付･時刻を合わせる〔時計セット〕

現在の日付と時刻を合わせます。この日付と時刻は液晶ディスプレイに表示されます。また、ファクス送信したとき、発信元登録がしてあれば相手側の記録紙にも印刷されます。

1 Menu/Set 0 2 を押す

```
ショキ セッテイ
2.トケイ セット
```

2 年号（西暦の下2桁）を入力して Menu/Set を押す

例：2006年の場合は「06」

```
トケイ セット
ネン:2006
```

3 月を2桁で入力して Menu/Set を押す

例：1月の場合は「01」

```
トケイ セット
ツキ:01
```

4 日付を2桁で入力して Menu/Set を押す

例：21日の場合は「21」

```
トケイ セット
ヒヅケ:21
```

5 時刻を入力する

例：午後3時25分の場合は「1525」

```
トケイ セット
ジコク:15:25
```

6 Menu/Set を押す

```
トケイ セット
ウケツケマシタ
```

7 停止/終了 を押す

補足

- 設定終了後、液晶ディスプレイには次のように日付と時刻と受信モードが表示されます。

```
01/21 15:25 Fax
ガシツ:ヒョウジュン
```

- 間違って入力した場合は、停止/終了 を押し、再度初めから入力し直してください。
- 時刻はあくまで目安ですので、気になるときは 1ヶ月おきに合わせてください。
- 60時間以上停電した場合、また電源を切ってから 60時間以上経過後に電源を入れた場合は日付と時刻の再設定をしてください。

名前とファクス番号を登録する〔発信元登録〕

発信元登録を行うと、ファクスを送信したとき、登録した情報（お客様の名前とファクス番号）が相手側の記録紙に印刷されます。

1 Menu/Set 0 3 を押す

```
ｼｮｷ ｾｯﾃｲ
3.ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾄｳﾛｸ
```

2 ファクス番号を入力して Menu/Set を押す

20桁まで登録できます。（カッコは登録できません。）

```
ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾄｳﾛｸ
ﾌｧｸｽ:03XXXXXXXX
```

3 電話番号を入力して Menu/Set を押す

20桁まで登録できます。（カッコは登録できません。）

```
ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾄｳﾛｸ
ﾃﾞﾝﾜ:03XXXXXXXX
```

4 名前を入力する

20文字まで登録できます。

```
ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾄｳﾛｸ
ﾅﾏｴ:ｽｽﾞｷ ｹｲｺ
```

5 Menu/Set を押す

```
ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾄｳﾛｸ
ｳｹﾂｹﾏｼﾀ
```

6 停止/終了 を押す

補足

- ファクス番号、電話番号に「-」（ハイフン）は入力できません。スペースを入力する際は ▶ を押してください。
- 入力を間違えたときは、◀ ▶ を使って修正する文字にカーソルを移動し、停止/終了 を押して削除後、正しい文字を入力し直します。
  途中の文字を間違えたときは、間違えた箇所までカーソルを移動して入力し直してください。
- 停止/終了 を押すと、カーソル位置の文字から最後の文字まで削除します。
- 発信元データ（ファクス番号、電話番号、名前）を登録しないと、送付書を送信することはできません。送付書については P.68 を参照してください。

発信元登録を消去する

1 Menu/Set 0 3 を押す

```
ｼｮｷ ｾｯﾃｲ
3.ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾄｳﾛｸ
```

2 1 で「ﾍﾝｺｳ」を選択する

```
ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾄｳﾛｸ
ﾍﾝｺｳ 1.ｽﾙ 2.ｼﾅｲ
```

3 停止/終了 を押して、登録されている文字をすべて消去する

```
ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾄｳﾛｸ
ﾌｧｸｽ:
```

4 Menu/Set を押す

```
ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾄｳﾛｸ
ｳｹﾂｹﾏｼﾀ
```

5 停止/終了 を押す

《かならずお読みください》

受信モードについて

受信モードの種類

本機の受信モードには以下の種類があります。

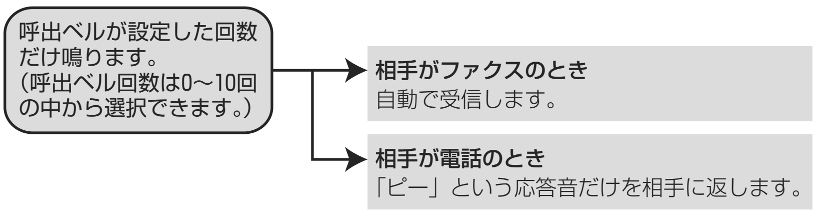
■お使いの電話機を本機と接続しない場合
- ファクス専用モード

■お使いの電話機を本機と接続する場合
- 自動切替モード
- 外付留守電モード
- 電話モード

お使いの電話機を本機と接続しない場合

ファクス専用モード

本機をファクス専用として使用するときに設定すると便利なモードです。お買い上げ時はこのモードに設定されています。



補足

- ファクス専用モードは、電話を受けても「ピー」という応答音を相手に返すだけです。電話機を本機に接続してお使いになるときは、ファクス専用モードに設定しないでください。
- 呼出回数は、0～10回の中から選択できます。0回に設定すると呼出ベルを鳴らさずに自動受信することができます。ファクスを早く受信したいときは呼出回数を0回か1回に設定してください。呼出回数の設定のしかたは P.42 を参照してください。

お使いの電話機を本機と接続する場合

自動切替モード

ファクスが送られてきたときは自動受信し、電話のときは本機に接続されている電話機を続けて呼び出す便利なモードです。

呼出ベルが設定した回数だけ鳴ります。（呼出ベル回数は0～10回の中から選択できます。）

→ 呼出ベルが鳴っている間に本機に接続されている電話機に出なかったとき

→ **相手がファクスのとき**
自動で受信します。

→ **相手が電話のとき**
呼出ベルが鳴り終わったあと、短く「トゥルットゥルッ」と本機が鳴り、本機に接続されている電話機も鳴りますので、受話器をとってお話しください。

→ 呼出ベルが鳴っている間に本機に接続されている電話機に出たとき

→ **相手がファクスのとき**
受話器から「ポーポー」という音が聞こえたら相手がファクスですので、Fax を押してファクスモードにしてから モノクロスタート または カラースタート を押し、2を押してファクスを受信します。
親切受信を「On」に設定している場合は、そのまま7秒待つと自動でファクスを受信します。

→ **相手が電話のとき**
そのまま通話します。
通話後にファクスを送信したいとき P.60 を参照してください。
通話後にファクスを受信したいとき P.79 を参照してください。

補足

- 呼出回数の設定のしかたは P.42 を参照してください。
- 自動切替モードでは、本機が着信すると本機に接続されている電話機に出なかったときでも相手に通話料金がかかります。
- 回線状態により「ポーポー」という音が聞こえてもファクスに切り替わらない場合があります。そのときは モノクロスタート を押し、2 を押してから受話器を戻してください。
- 通話中に突然ファクス受信に切り替わってしまうときは、親切受信の設定を「Off」にしてください。
- 相手が手動送信ファクスのときは受話器を取っても無音のときがあります。相手が電話でないことを口頭で確認して モノクロスタート を押し、2 を押してください。
- 呼出回数を 7 回以上に設定すると、特定の相手からのファクスが受信できない場合があります。呼出回数を 6 回以下に設定することをお勧めします。
- 本機と接続している電話機によって電話機から呼出ベルが鳴らない場合があります。このときは、呼出回数の設定を長めにしてください。
- 本機に複数台の電話機を接続したときは、お使いの電話機のベルが鳴らない場合があります。

外付留守電モード

ファクスを自動で受けたい場合、また、本機に接続されている留守番電話機で電話やメッセージを受けたい場合に適したモードです。

本機に接続されている留守番電話機に設定されている回数だけ呼出ベルが鳴ります

→ 本機に接続されている留守番電話機に出たとき

→ **相手がファクスのとき**
受話器から「ポーポー」という音が聞こえたら相手がファクスですので、[Fax]を押してファクスモードにしてから[モノクロスタート]または[カラースタート]を押し、②を押してファクスを受信します。
親切受信を「On」に設定している場合は、そのまま7秒待つと自動でファクスを受信します。

→ **相手が電話のとき**
そのまま通話します。
通話後にファクスを送信したいとき P.60 を参照してください。
通話後にファクスを受信したいとき P.79 を参照してください。

→ 本機に接続されている留守番電話機が起動したとき

→ **相手がファクスのとき**
自動で受信します。

→ **相手が電話のとき**
留守番電話機から応答メッセージが流れたあと、相手のメッセージを録音します。

注意

本機に接続されている留守番電話機の設定に関する留意点を以下に示します。

- 留守番電話機の設定は「留守」にしておいてください。
- 応答するまでのベル回数は短め（1〜2回）に設定してください。
- 応答メッセージは、最初に4、5秒くらい無音状態を入れ、できるだけ短め（20秒以内）に録音してください。
- 応答メッセージには、BGMを録音しないでください。
- 録音用のテープがある場合は、テープが留守番電話機に入っていることを確認してください。

補足

- ● メッセージがいっぱいで留守番電話機が応答しない場合は、ファクスも自動的には応答しません。
- ● 留守番電話機が持っている機能のうち、使えない機能（転送機能など）が生じる場合があります。

電話モード

本機に接続されている電話に出たあと、手動でファクスが受けられます。主に、本機に接続した電話を使い、ファクスはあまり受けない場合に適したモードです。

呼出ベルが鳴ります。

→ 本機に接続されている電話機に出なかったとき

→ 回線がつながりませんので電話もファクスも受けられません。

→ 本機に接続されている電話機に出たとき

→ **相手がファクスのとき**
受話器から「ポーポー」という音が聞こえたら相手がファクスですので、（Fax）を押してファクスモードにしてから（モノクロスタート）または（カラースタート）を押し、2を押してファクスを受信します。
親切受信を「On」に設定している場合は、そのまま7秒待つと自動でファクスを受信します。

→ **相手が電話のとき**
そのまま通話します。
通話後にファクスを送信したいとき P.60 を参照してください。
通話後にファクスを受信したいとき P.79 を参照してください。

補足

ファクス受信について

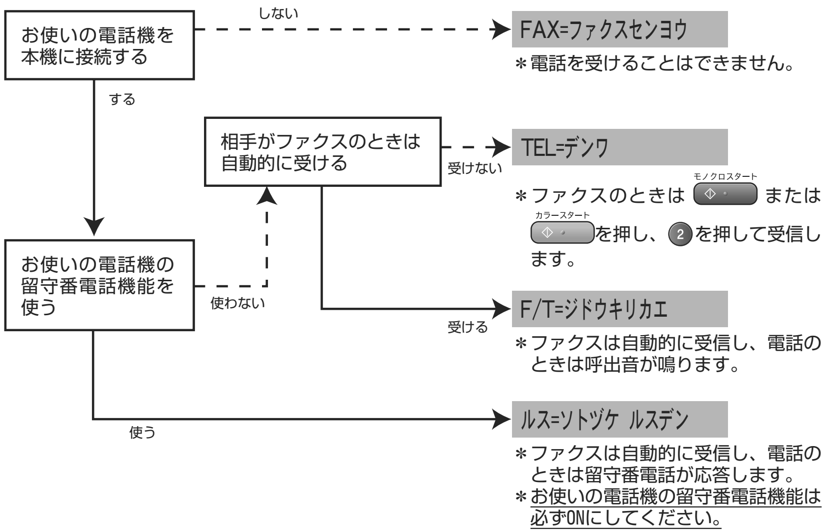
- 本機に接続されている電話機で電話に出たときもファクス受信できます。P.80 を参照してください。
- タイマー送信や、ポーリング送信の設定をしていない原稿がADF（自動原稿送り装置）にセットされていると、ファクス受信できません。原稿を取り除いて（モノクロスタート）を押し、2を押してください。親切受信が「On」に設定されていると原稿をセットした状態で受信できます。
- 相手が手動送信ファクスのときは受話器を取っても無音のときがあります。相手が電話でないことを口頭で確認して（モノクロスタート）を押し、2を押してください。

キャッチホン契約をされているとき

- NTTとキャッチホンまたはキャッチホンIIの契約をされている方は、キャッチホン / キャッチホンIIサービスを利用することができます（局番なしの116番にお問い合わせください）。
- キャッチホンの具体的な操作方法については、お使いの電話機の操作方法に従ってください。
- ファクスの送信や受信中にキャッチホンの電話がかかると、画像が乱れたり、通信が中断することがあります。画像が乱れることが気になる方は、キャッチホンIIのご利用をお勧めします。
- キャッチホンでファクス受信するときに、ファクスを何枚も受信し、時間がかかる場合がありますので、最初の相手との通話が終わってからファクス受信することをお勧めします。

受信モードを選ぶ

本機の使用目的に応じて、受信モードを選択します。



受信モードを設定する

1 Menu/Set 0 1 を押す

```
ショキ セッテイ
1.ジュシン モード
```

2 ▲▼で受信モードを選択する

「FAX=ファクスセンヨウ」「F/T=ジドウキリカエ」「ルス=ソトヅケ　ルスデン」「TEL=デンワ」の中から選択します。

```
ジュシン モード
FAX=ファクスセンヨウ
```

3 Menu/Set を押す

```
ジュシン モード
ウケツケマシタ
```

4 停止/終了 を押す

設定後、待機状態表示になります。

補足

- 選択した受信モードは、液晶ディスプレイに日付、時刻とともに表示されます。お買い上げ時は「FAX=ファクスセンヨウ」モードに設定してあります。
- 「FAX=ファクスセンヨウ」モード以外を設定した場合は、必ず電話機を本機に接続してください。

呼出回数を設定する

「ファクス専用モード」と「自動切替モード」のときに、自動受信するまでの呼び出し回数を設定します。

1 Menu Set 2 1 1 **を押す**

```
ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲ
1.ﾖﾋﾞﾀﾞｼ ｶｲｽｳ
```

2 ▲▼ **で呼出回数を選択する**

0～10回から選択します。

```
ﾖﾋﾞﾀﾞｼ ｶｲｽｳ
04
```

3 Menu Set **を押す**

```
ﾖﾋﾞﾀﾞｼ ｶｲｽｳ
ｳｹﾂｹﾏｼﾀ
```

4 停止/終了 **を押す**

補足

- お買い上げ時は4回に設定されています。
- 呼出回数は、0回に設定すると呼出ベルを鳴らさずに自動受信することができます。ファクスを早く着信したいときは呼出回数を0回か1回に設定してください。
- 本機に電話機を接続している場合、本機の呼出回数を0回に設定しても本機に接続されている電話機のベルが1～2回鳴ることがあります。
- 呼出回数を7～10回に設定すると、特定の相手からのファクスが自動で受信できない場合があります。呼出回数を６回以下に設定されることをお勧めします。
- 「ファクス専用モード」や「自動切替モード」のとき、本機に接続されている電話機の呼出ベルも、ここで設定された回数だけ呼出ベルが鳴ります。
- ベルの音量を設定するには P.48 を参照してください。

再呼出回数を設定する

「自動切替モード」のときに電話がかかってくると、呼出ベルのあとに、「トゥルットゥルッ」と呼出ベルが鳴ります。このベルの鳴る回数を設定します。

1 Menu Set 2 1 2 **を押す**

```
ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲ
2.ｻｲ ﾖﾋﾞﾀﾞｼ ｶｲｽｳ
```

2 ▲▼ **で再呼出回数を選択する**

「08」「15」「20」の中から選択します。

```
ｻｲ ﾖﾋﾞﾀﾞｼ ｶｲｽｳ
08
```

3 Menu Set **を押す**

```
ｻｲ ﾖﾋﾞﾀﾞｼ ｶｲｽｳ
ｳｹﾂｹﾏｼﾀ
```

4 停止/終了 **を押す**

補足

- お買い上げ時は8回に設定されています。
- 本機は、設定した回数だけ呼出ベルを鳴らしたあと、自動的に電話を切ります。

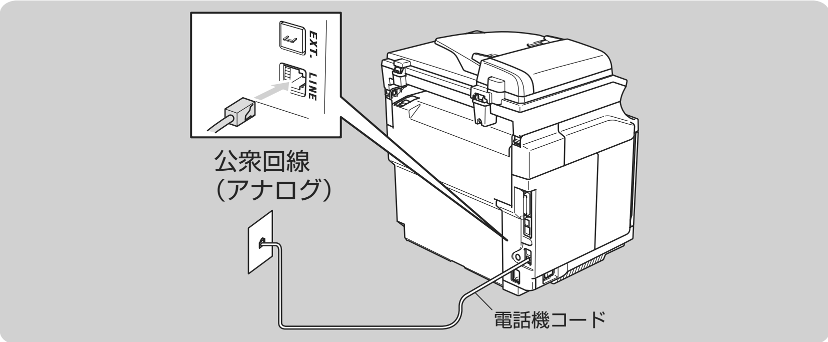
《かならずお読みください》

本機の接続イメージ

本機ではいろいろな接続の方法があります。以下は代表的な例です。間違った接続は他の機器に影響を与える場合がありますので、正しく接続してください。
外付電話端子にはキャップが取り付けてあります。外付電話端子に接続するときはキャップを取り外してください。
本書に記載されているイメージとは違う接続をしたいときは販売店にご相談ください。

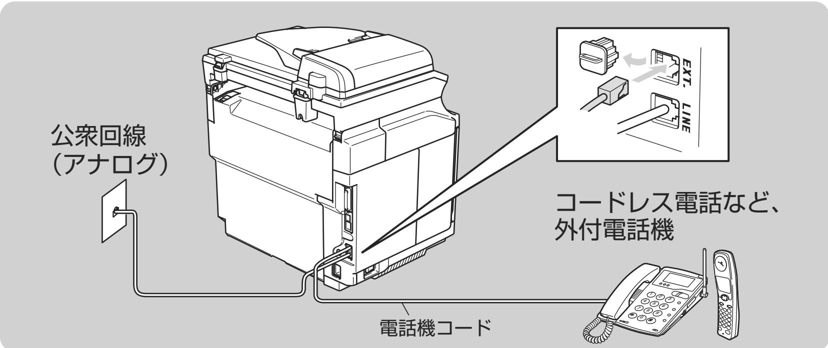
公衆回線に接続する場合（ファクス専用として使う場合）

受信モードをファクス専用に設定します。



公衆回線に接続する場合（本機に電話機を接続する場合）

本機に電話機を接続し、電話番号1つで電話とファクスを兼用する場合の接続方法です。受信モードを自動切替えに設定することをお勧めします。

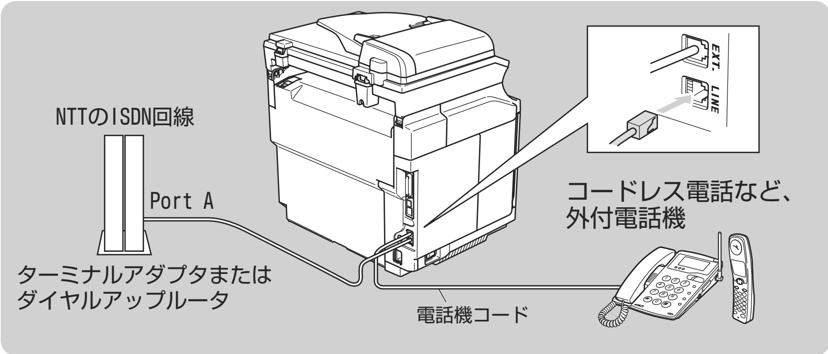


補足

- お使いの電話回線に、すでに何台かの電話機が接続されている場合は、本機または本機に接続されている電話機がご使用になれない場合があります。この場合、配線工事が必要です。工事には「電話工事担任者」の資格が必要となりますので、取付工事を行った販売店か、ご利用の電話会社にご相談ください。
- ナンバー・ディスプレイ対応の電話機を本機に接続する場合は、本機のナンバー・ディスプレイの設定を「ｿﾄﾂﾞｹﾃﾞﾝﾜ ﾕｳｾﾝ」に設定してください。P.53 を参照してください。
- 外付電話端子（EXT.)に接続できる端末（電話機など）台数は1台です。

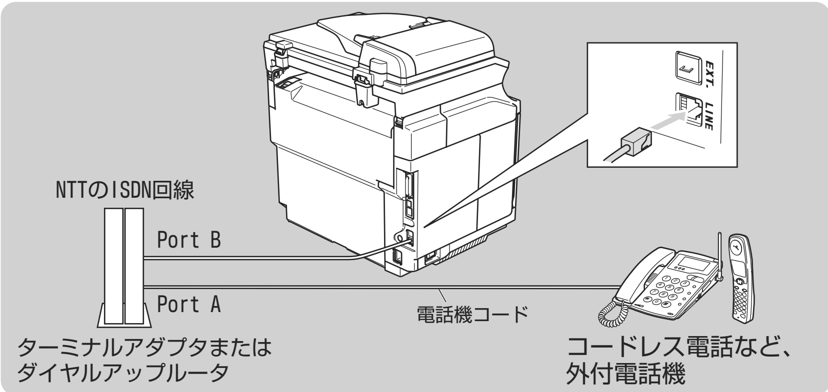
ISDN回線に接続する場合（電話番号が1つの場合）

電話とファクスの同時使用はできません。



ISDN回線に接続する場合（電話番号が2つの場合）

2回線分の使用が可能ですから、ファクス送受信中でも通話が可能です。
受信モードをファクス専用に設定します。

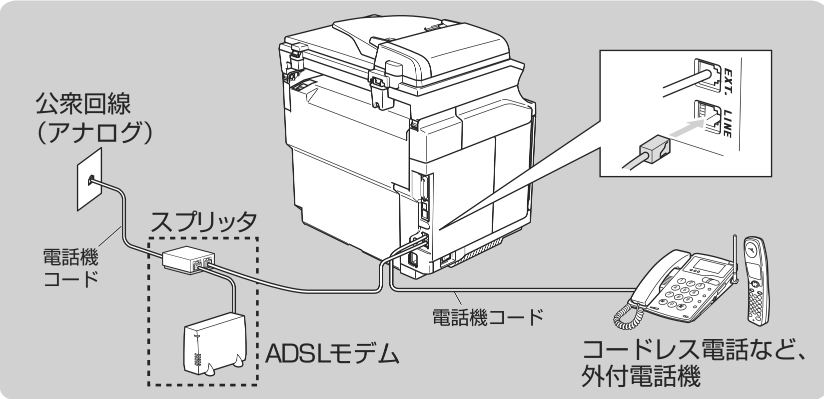


補足

- 各種接続を正常に動作させるためには正しい設定が必要です。特に、ISDN回線に接続する場合は、以下の点に留意してください。
  - 電話番号が1つの場合、ターミナルアダプタまたはダイヤルアップルータの空きポートは「使用しない」に設定してください。また、電話番号が1つの場合で、Port Aに電話機を接続しPort Bに本機を接続した場合Port A/B両方の端末で呼出ベルが鳴ります。電話機でファクスを受けてしまった場合は、Port AからBへ内線転送してください。
  - 電話番号が 2 つの場合（ダイヤルインサービスまたは i・ナンバー加入時）は、ターミナルアダプタまたはダイヤルアップルータの各アナログポートの着信電話番号を設定すると、電話番号とファクス番号を鳴り分けすることができます。
  - 本機の回線種別は「ﾌﾟｯｼｭ　ｶｲｾﾝ」に設定してください。　お買い上げ時の設定は、「ﾌﾟｯｼｭ　ｶｲｾﾝ」になっています。電話回線の設定の詳細については P.34 を参照してください。
- ターミナルアダプタまたはダイヤルアップルータ側は本機を接続して電話がかけられること、また電話が受けられることを確認してください。万一、本機が使えないときは、ターミナルアダプタまたはダイヤルアップルータの設定を確認してください。設定に関する詳細は、ターミナルアダプタまたはダイヤルアップルータの取扱説明書をご覧いただくか、販売メーカーにお問い合わせください。
- ファクスの送受信がうまくいかない場合は P.55 を参照してください。

ADSL環境に接続する場合

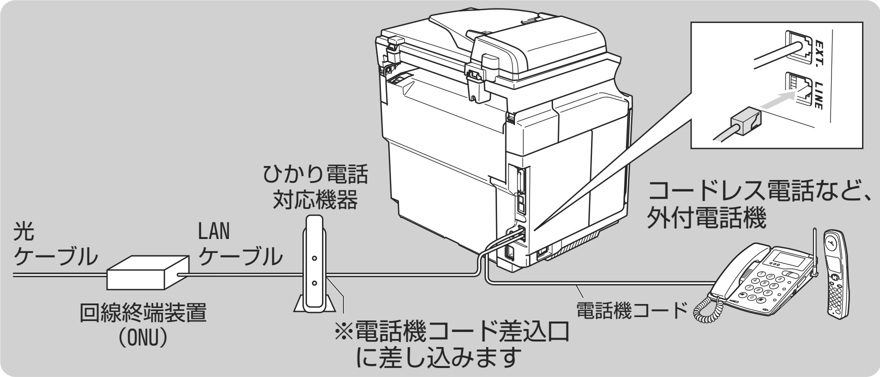
受信モードを自動切替えに設定します。



補足

- 正しい接続をしないと、ノイズや通信エラーの原因になります。
- 並列（ブランチ）接続はおやめください。通話音質の低下、ノイズの発生、通信エラーなどの原因になります。
- ADSL環境で自分の声が響く、または相手の声が聞きづらいときは、ADSLのスプリッタが影響している可能性があります。スプリッタを交換すると改善する場合があります。
- IPフォンを使用してファクス通信を行う場合は、お客様が契約されているプロバイダの通信品質が保証されていることを確認してください。
  IP 網で通信品質が保証されている場合でも、通信がうまくいかない場合は、安心通信モードに設定を変えてください。
  P.56 を参照してください。
- [点線枠]の部分は、ご利用される機器によって一体型のADSLモデムの場合もあります。

ひかり電話に接続する場合

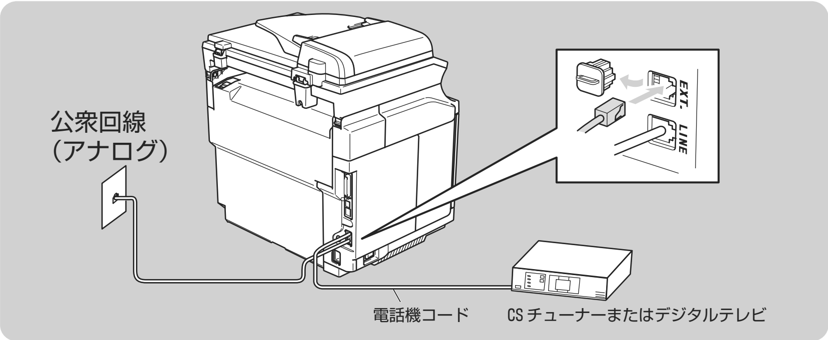


補足

- ひかり電話の詳しいサービス内容はNTTにお問い合わせください。
- ひかり電話対応機器へ設定するデータは、NTTから郵送される書面をご覧ください。
- ひかり電話対応機器の設定方法や不具合は、NTTにお問い合わせください。

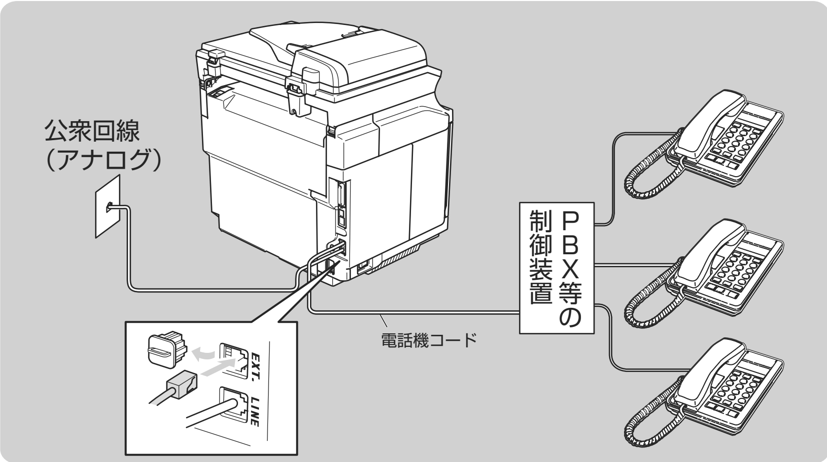
CSチューナーやデジタルテレビを接続する場合

受信モードを自動切換えに設定します。CS チューナーやデジタルテレビは、本機の外付電話端子（EXT.）に接続します。



構内交換機（PBX）、ホームテレホン、ビジネスホンを接続する場合

回線数が1つの場合の例を以下に示します。
受信モードを自動切り替えに設定します。PBXなどの制御装置は、本機の外付電話端子（EXT.）に接続します。

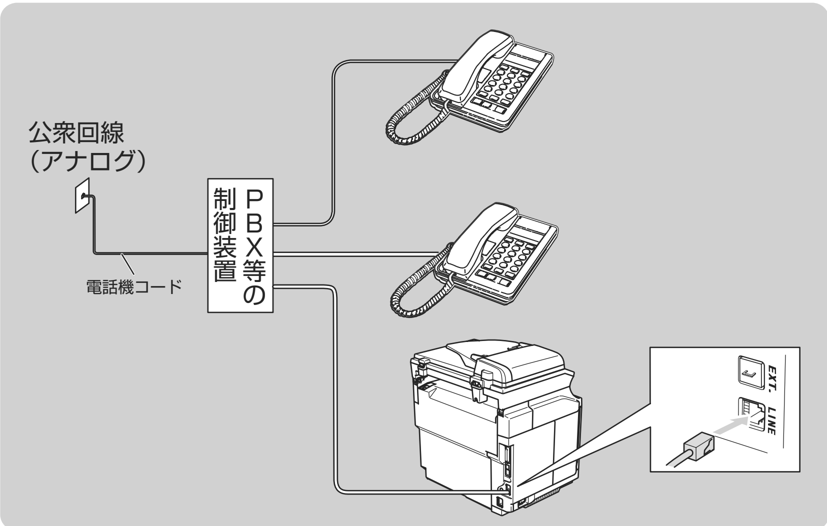


補足

- ビジネスホンとは
  電話回線を３本以上収容可能で、その回線を多くの電話機で共有できる、内線通話なども可能な簡易交換機の機能を持った電話システムです。
- ホームテレホンとは
  電話回線１～２本で複数の電話機を接続して、内線通話やドアホンなども接続可能な家庭用の簡易交換機の機能を持った電話システムです。

内線電話として接続する場合

構内交換機（PBX）またはビジネスホンを使用しているところに本機を内線接続する場合、構内交換機（PBX）またはビジネスホン主装置の設定をアナログ2芯用に変更してください。設定変更を行わないと、本機をお使いいただくことはできません。詳しくは、配線工事を行った販売店にご相談ください。
本機の特別回線の設定を「PBX」にしてください。P.55 を参照してください。



《必要に応じて設定してください》

基本設定を変更する

記録紙のタイプを選ぶ

それぞれの記録紙トレイにセットする記録紙のタイプを選択します。

1 Menu/Set 1 2 を押す

```
ｷﾎﾝ ｾｯﾃｲ
2.ｷﾛｸｼ ﾀｲﾌﾟ
```

オプションの「記録紙トレイ2」を装着したときは、▲▼で設定するトレイを選択してください。

2 ▲▼で記録紙のタイプを選択する

「ﾌﾂｳｼ」「ﾌﾂｳｼ（ｱﾂﾒ）」「ｱﾂｶﾞﾐ（ﾊｶﾞｷ）」「ﾁｮｳｱﾂｶﾞﾐ」「ｻｲｾｲｼ」の中から選択します。

3 Menu/Set を押す

```
ｷﾛｸｼ ﾀｲﾌﾟ
ｳｹﾂｹﾏｼﾀ
```

4 停止/終了 を押す

補足

- お買い上げ時は「ﾌﾂｳｼ」に設定されています。
- 記録紙トレイによって、セットできる記録紙が異なります。P.24 を参照してください。

着信音量を設定する

着信ベルの音量を調節します。

1 Menu/Set 1 3 1 を押す

```
ｵﾝﾘｮｳ
1.ﾁｬｸｼﾝ ｵﾝﾘｮｳ
```

2 ▲▼で音量を選択する

「Off」「ｼｮｳ」「ﾁｭｳ」「ﾀﾞｲ」の中から選択します。

```
ﾁｬｸｼﾝ ｵﾝﾘｮｳ
ﾁｭｳ
```

3 Menu/Set を押す

```
ﾁｬｸｼﾝ ｵﾝﾘｮｳ
ｳｹﾂｹﾏｼﾀ
```

4 停止/終了 を押す

補足

- お買い上げ時は「ﾁｭｳ」に設定されています。
- Fax ボタンが青色に点灯しているときは着信音量を ◀▶ で調整できます。

ボタン確認音量を設定する〔ボタン確認音量＆ブザー音量〕

ダイヤルボタンなどを押したとき「ピッ」と確認音が鳴ります。また、間違った操作をしたときや、紙づまりなどファクスに異常が起きたとき、またファクス送受信終了時に「ピー」というブザー音が鳴ります。そのときの音量を調節します。

1 Menu/Set 1 3 2 を押す

```
オンリョウ
2.ボタンカクニン オンリョウ
```

2 ▲▼で音量を選択する

「Off」「ショウ」「チュウ」「ダイ」の中から選択します。

```
ボタンカクニン オンリョウ
チュウ
```

3 Menu/Set を押す

```
ボタンカクニン オンリョウ
ウケツケマシタ
```

4 停止/終了 を押す

補足

- お買い上げ時は「チュウ」に設定されています。
- 「Off」（ボタン確認音なし）を選んでも、エラーのときはブザー音が鳴ります。

スピーカー音量を設定する

手動でファクスを送信するとき、相手から「ピー」という音が聞こえることがあります。そのときの音量を調節します。

1 Menu/Set 1 3 3 を押す

```
オンリョウ
3.スピーカー オンリョウ
```

2 ▲▼で音量を選択する

「Off」「ショウ」「チュウ」「ダイ」の中から選択します。

```
スピーカー オンリョウ
チュウ
```

3 Menu/Set を押す

```
スピーカー オンリョウ
ウケツケマシタ
```

4 停止/終了 を押す

補足

- お買い上げ時は「チュウ」に設定されています。
- スピーカー音量は、オンフック を押してスピーカーから「ツー」という音が聞こえているときに ◀ ▶ を押して調節することもできます。

トナーを節約する

トナーを節約したいときは、「トナーセーブ」を「On」に設定します。「On」に設定すると印字が薄くなります。

1 Menu/Set 1 4 1 を押す

ｼｮｳｴﾈ ﾓｰﾄﾞ
1.ﾄﾅｰ ｾｰﾌﾞ

2 ▲▼で「On」を選択する

ﾄﾅｰ ｾｰﾌﾞ
On

3 Menu/Set を押す

ﾄﾅｰ ｾｰﾌﾞ
ｳｹﾂｹﾏｼﾀ

4 停止/終了 を押す

補足

お買い上げ時は「Off」に設定されています。

スリープモードに入る時間を設定する〔スリープモード〕

本機は、受信したファクスの出力や印刷、コピーがすぐに開始できるよう常に一定の電気を供給しています。スリープモードは、設定した時間内にファクスの受信や印刷、コピーが行われなかったときにスリープ状態にして消費電力を減らします。ただし、電話機としての通話には影響ありません。

1 Menu/Set 1 4 2 を押す

ｼｮｳｴﾈ ﾓｰﾄﾞ
2.ｽﾘｰﾌﾟ ﾓｰﾄﾞ

2 ダイヤルボタンでスリープモードになるまでの時間を設定する

分単位で設定します。（最大99分）

ｽﾘｰﾌﾟ ﾓｰﾄﾞ
ｽﾘｰﾌﾟ ｶｲｼ:30ﾌﾝ

3 Menu/Set を押す

ｽﾘｰﾌﾟ ﾓｰﾄﾞ
ｳｹﾂｹﾏｼﾀ

4 停止/終了 を押す

補足

- スリープモードのときに、コピーや印刷をしようとすると、ウォーミングアップのために約45秒時間がかかります。
- お買い上げ時は「30フン」に設定されています。
- 手順２で モノクロスタート と オプション を同時に押すと「On」「Off」が選択できるようになります。「Off」を選択すると、スリープモードにはなりません。

液晶ディスプレイのコントラストを調整する

液晶ディスプレイが見にくいときは、コントラストを調整します。

1 Menu/Set 1 5 を押す

```
キホン セッテイ
5.ガ゛メンノ コントラスト
```

2 ▲▼でコントラストを調整する

```
ガ゛メンノ コントラスト
  ▼ −□□■□□+ ▲
```

3 Menu/Set を押す

```
ガ゛メンノ コントラスト
ウケツケマシタ
```

4 停止/終了 を押す

設定ロックのしかた

パスワードにより下記の機能の設定変更をロックします。

- 日付／時刻
- 発信元登録
- 電話帳設定（ワンタッチ·短縮·グループダイヤル）
- モードタイマー
- 記録紙（タイプ・トレイ選択）
- 音量（着信·ボタン確認·スピーカー）
- 省エネモード（トナー節約·スリープモード）
- 液晶ディスプレイのコントラスト
- 設定ロック

パスワードを登録する

補足
パスワードが既に登録済みの場合、再登録は不要です。

1 Menu/Set 1 6 を押す

```
キホン セッテイ
6.セッテイロック
```

2 ダイヤルボタンで4桁のパスワードを入力して Menu/Set を押す

初めてパスワードを入力した場合には「パスワード カクニン:」と液晶ディスプレイに表示されます。

3 パスワードを再度入力して Menu/Set を押す

4 停止/終了 を押す

パスワードを変更する

1 Menu Set 1 6 を押す

```
キホン セッテイ
6.セッテイロック
```

2 を押して「パスワード セッテイ」を選択して Menu Set を押す

3 登録済みの4桁のパスワードを入力して Menu Set を押す

4 変更したい4桁の新しいパスワードを入力して Menu Set を押す

液晶ディスプレイに「パスワードカクニン：」と表示されます。

5 新しいパスワードを再度入力して Menu Set を押す

6 停止/終了 を押す

設定ロックをOnにする

1 Menu Set 1 6 を押す

```
キホン セッテイ
6.セッテイロック
```

2 を押して「On」を選択して Menu Set を押す

3 登録済みの4桁のパスワードを入力して Menu Set を押す

4 停止/終了 を押す

設定ロックをOffにする

1 Menu Set 1 6 を押す

```
キホン セッテイ
6.セッテイロック
```

2 登録済みの4桁のパスワードを入力して Menu Set を押す

3 もう一度 Menu Set を押す

4 停止/終了 を押す

補足

- パスワードを間違えて入力した場合は液晶ディスプレイに「パスワードガ チガイマス」と表示されます。正しいパスワードが入力されるまで設定はOnのままとなります。
- 登録したパスワードを忘れてしまったときは、サービス実施店へご連絡ください。

《必要に応じて設定してください》

ナンバー・ディスプレイサービスを利用する

本機では、ご利用の電話会社との契約によって「ナンバー・ディスプレイサービス」をご利用いただくことができます。

ナンバー・ディスプレイサービスとは

電話やファクスがかかってきたときに相手の電話番号が、電話に出る前に液晶ディスプレイに表示されるサービスです。サービスの詳細については、ご利用されている電話会社にお問い合わせください。
本機ではナンバー・ディスプレイサービスで以下の機能が利用できます。

- 電話番号表示機能
  電話がかかってくると、相手の電話番号が液晶ディスプレイに表示されます。
- 名前表示機能
  電話帳に登録してある相手から電話がかかってくると、相手の名前が液晶ディスプレイに表示されます。
- 着信履歴機能
  電話がかかってくると、相手の電話番号を記録します。（30件まで記録できます。31件以上になると、古い順に削除されます。）
  操作方法については P.92 を参照してください。

補足

- 本機はネーム・ディスプレイ、およびキャッチホン・ディスプレイサービスには対応していません。
- ISDN回線を利用されているときは、ターミナルアダプタまたはダイヤルアップルータの設定が必要です。
- IP 電話を利用されているときは、VoIP アダプタ（IP 電話対応機器）の設定が必要です。
- 構内交換機（PBX）に接続しているときは、構内交換機（PBX）がナンバー・ディスプレイサービスに対応していなければ利用できません。
- ブランチ接続（並列接続）をしているとナンバー・ディスプレイは正常に動作しません。
- 電話回線にガス検針器などが接続されている場合は、誤動作することがあります。

ナンバー・ディスプレイを設定する

ナンバー・ディスプレイを設定します。

1 Menu Set 0 7 を押す

```
ショキ セッテイ
7.ナンバー ディスプレイ
```

2 ▲▼で電話番号の表示方法を選択する

「On」「Off」「ソトヅケデンワ　ユウセン」の中から選択します。

- 「On」を選択した場合、本体の液晶ディスプレイに相手の電話番号または名前が表示されます。
- 「Off」を選択した場合、相手の電話番号または名前が表示されません。
- 「ソトヅケデンワ　ユウセン」を選択した場合、本機に接続されている電話機に相手の電話番号または名前が表示されます。

```
ナンバー ディスプレイ
On
```

3 Menu Set を押す

```
ナンバー ディスプレイ
ウケツケマシタ
```

4 停止/終了 を押す

注意

「ソトヅケデンワ　ユウセン」で使用する場合に本機を「自動切替モード」に設定すると、本機と接続されている電話機の仕様により、ナンバー・ディスプレイの表示時間が短くなる電話機があります。

☞ 次ページへ続く

補足

- お買い上げ時は「Off」に設定されています。
- ナンバー・ディスプレイサービスを利用するには、電話会社への契約が必要です。契約していない場合は「Off」にしてください。
- ナンバー・ディスプレイサービスを本機で利用したいときは、本機のナンバー・ディスプレイの設定を「On」、本機と接続されている電話機のナンバー・ディスプレイの設定を「Off」にしてください。
- 着信履歴リストを表示したり着信履歴リストを印刷するには、本機のナンバー・ディスプレイの設定を「On」にする必要があります。
- ナンバー・ディスプレイサービスを本機と接続されている電話機で利用したいときは、本機のナンバー・ディスプレイの設定を「ｿﾄﾂﾞｹﾃﾞﾝﾜ　ﾕｳｾﾝ」、本機と接続されている電話機のナンバー・ディスプレイの設定を「On」にしてください。
- 「ｿﾄﾂﾞｹﾃﾞﾝﾜ　ﾕｳｾﾝ」の場合、着信履歴は本機に残りません。

《必要に応じて設定してください》

特別設定について

使用状況に応じて設定をしてください。

特別回線対応を設定する

ファクスがうまく送受信できないときなどに使用している回線を特定し、設定します。

1 Menu Set 0 6 を押す

```
ショキ セッテイ
6.トクベツカイセン タイオウ
```

2 ▲▼で回線を選択する

「イッパン」「ISDN」「PBX」の中から選択します。

```
トクベツカイセン タイオウ
イッパン          *
```

3 Menu Set を押す

```
トクベツカイセン タイオウ
ウケツケマシタ
```

4 停止/終了 を押す

補足

- お買い上げ時は「イッパン」に設定されています。
- 「PBX」に設定すると、自動的にナンバー・ディスプレイの設定が「Off」になります。ナンバー・ディスプレイの設定を再度「On」にするときは、特別回線対応の設定を「イッパン」にしてください。

ダイヤルトーン検出の設定をする

ファクス送信時に、「おかけになった番号は現在使われておりません」などのメッセージが流れて正しく自動送信できない場合は、ダイヤルトーンを「ケンチ スル」に設定してください。
お買い上げ時は［ケンチ シナイ］に設定されています。

注意

本機をPBXやIP電話アダプタに接続している環境で「ケンチ スル」に設定すると発信できなくなる場合があります。その場合は「ケンチ シナイ」のままお使いください。

1 Menu Set 0 5 を押す

```
ショキ セッテイ
5.ダイヤルトーン セッテイ
```

2 ▲▼で設定を選択する

「ケンチ スル」「ケンチ シナイ」の中から選択します。

```
ダイヤルトーン セッテイ
ケンチ スル
```

3 Menu Set を押す

```
ダイヤルトーン セッテイ
ウケツケマシタ
```

4 停止/終了 を押す

安心通信モードを設定する

通信エラーが発生しやすい相手や回線でファクスをより確実に送受信したいときに設定します。「コウソク」→「ヒョウジュン」→「アンシン」の順で送受信時間は遅くなりますが、「ヒョウジュン」または「アンシン」に設定することによって送受信できる可能性が高くなります。「ヒョウジュン」→「アンシン」の順にお試しください。

1 Menu Set　2　7 を押す

```
ファクス
7.アンシン ツウシン モード
```

2 ▲▼ で回線を選択する

「コウソク」「ヒョウジュン」「アンシン」の中から選択します。

```
アンシン ツウシン モード
ヒョウジュン
```

3 Menu Set を押す

```
アンシン ツウシン モード
ウケツケマシタ
```

4 停止/終了 を押す

補足

- お買い上げ時は「コウソク」に設定されています。
- IP フォンで送信エラーが発生する場合は、電話番号の前に「0000」（ゼロを４つ）付けておかけください。この場合、通信料金はNTTなどのお客様がご利用になっている電話会社からの請求となります。
- ファクスの送信エラーには、次のような多くの要素があります。
  - 通信回線の品質
  - 信号レベル
  - 通信相手機の影響
  - 屋内線の配線や接続している機器の影響

  本機側だけで通信エラーを解消できるものではありません。

2章

ファクス

ファクス送信

ファクス受信

《ファクス送信》

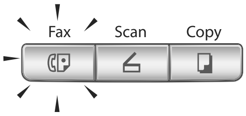
ファクスを送る

ファクスを送ります。原稿に合わせて、画質を変更することができます。

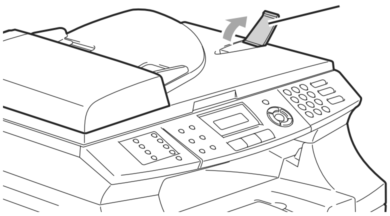
ADF（自動原稿送り装置）から送信する〔自動送信〕

ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットして送信します。

1 Fax ボタンが青色に点灯していないときは Fax ボタンを押す



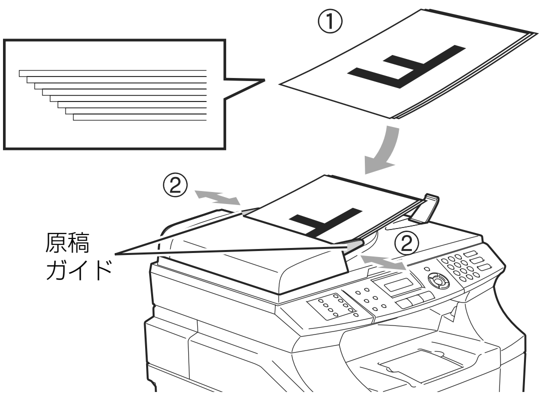
2 原稿ストッパーを起こす



3 原稿の送信する面を上にして図のようにそろえ、原稿の先が軽く当たるまで差し込む（①）

原稿は一度に35枚までセットできます。

原稿ガイドを原稿の幅に合わせる（②）



4 相手先のファクス番号を入力する

5 モノクロスタート を押す

補足

- 送信を途中で止めたいときは 停止/終了 を押し、① を押してください。
- ダイヤルのしかたは P.62 を参照してください。
- 「ﾒﾓﾘｰｶﾞ ｲｯﾊﾟｲﾃﾞｽ」と表示されたときは、本機のメモリーがいっぱいです。メモリーに蓄積したファクスを出力してメモリーを消去してください。P.99 を参照してください。
- メモリーに読み込み可能な原稿の枚数は原稿の内容に影響されます。
- 本機はカラー FAX送信には対応していません。

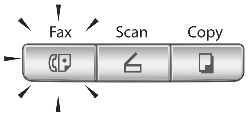
注意

ADF（自動原稿送り装置）では、キャリアシートはお使いになれません。原稿台ガラスから送信してください。

原稿台ガラスから送信する〔自動送信〕

原稿台ガラスから原稿や本のページをファクスで送信できます。原稿台ガラスを使うときは、ADF（自動原稿送り装置）に原稿がないことを確認してください。

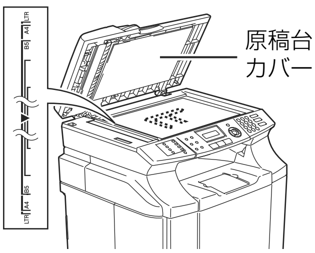
1 Fax ボタンが青色に点灯していないときは Fax ボタンを押す



2 原稿台カバーを持ち上げる

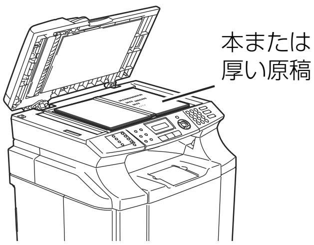
3 原稿台ガラスに原稿の送信する面を下にセットする

左右方向は左端に、前後方向は左側の原稿ガイドを利用して中央にセットします。



4 原稿台カバーを閉じる

原稿が本や厚い場合は、原稿台カバーは無理に閉じずに軽く押してください。



5 相手先のファクス番号を入力する

6 モノクロスタート を押す

7 1枚の原稿を送信するときは、2 または モノクロスタート を押す

送信を開始します。

原稿が複数枚のときは、1 を押す

手順8に進みます。

8 原稿台ガラスに次の原稿をセットして、Menu Set を押す

送信する原稿枚数分、手順7〜8を繰り返します。

9 最後の原稿を読み取ったら、2 または モノクロスタート を押す

送信を開始します。

注意

■リアルタイム送信が「On」に設定されているときは、原稿は1枚しか送信することができません。P.71 を参照してください。

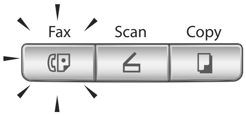
■原稿台カバーは必ず閉じてから送信してください。開いたまま送信すると画像が黒くなることがあります。

■原稿が本や厚さがあるときには、原稿台カバーをていねいに閉じてください。また上からあまり強く押さないでください。

ファクスを手動で送信する

ファクスを手動で送信する場合は、オンフックを押して相手先の受信音を確認してから送信します。

1 Faxボタンが青色に点灯していないときはFaxボタンを押す



2 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

3 オンフックを押して、相手先のファクス番号を入力する

4 相手先の受信音（ピー）を確認する

5 モノクロスタートを押す

6 原稿台ガラスに原稿をセットした場合は、選択画面で1を押す

ファクスが送信されます。

```
1.ｿｳｼﾝ 2.ｼﾞｭｼﾝ
```

補足

ファクス送信が終了すると自動的に回線は切れます。

ファクス送信を途中で止める

自動送信のとき

1 停止/終了を押す

```
ｶｲｼﾞｮ 1.ｽﾙ 2.ｼﾅｲ
```

2 1を押す

手動送信のとき

1 停止/終了を押す

通話後にファクスを送信する

相手と通話した後にファクスを送信します。

1 相手先のファクシミリのスタートを押してもらう

2 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

3 モノクロスタートを押す

4 原稿台ガラスに原稿をセットした場合は、選択画面で1を押す

ファクスが送信されます。

```
1.ｿｳｼﾝ 2.ｼﾞｭｼﾝ
```

5 本機に接続されている電話機の受話器を戻す

他の動作中にファクス原稿を読み込む〔デュアルアクセス〕

ファクスの送受信中や印刷中でも、次に送りたいファクス原稿の読み込みができます。そのときもファクス画質などの設定ができます。ファクス原稿の読み込み中、液晶ディスプレイには新しいジョブ番号が表示されます。

補足

ファクスを手動で送信しているときは、次に送りたいファクス原稿の読み込みができません。

《ファクス送信》

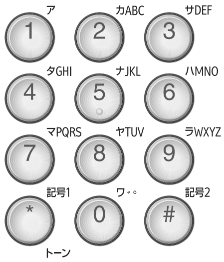
便利にダイヤルする

ダイヤルのしかた

送信するときのダイヤル方法は4つあります。

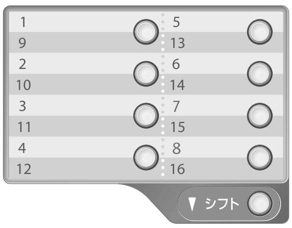
ダイヤルボタンを使用する

ダイヤルボタンで相手のファクス番号を直接ダイヤルします。



ワンタッチダイヤルを使用する

ワンタッチボタンを押すだけで、登録されているファクス番号にダイヤルします。ワンタッチダイヤルは16件登録できます。9～16に登録されているファクス番号にダイヤルするときは、シフト を押しながらワンタッチボタンを押します。



補足

ワンタッチダイヤルの登録のしかたは P.86 を参照してください。

短縮ダイヤルを使用する

電話帳/短縮 を押し、* を押した後、登録されている短縮番号（001～200）を押してダイヤルします。短縮ダイヤルには最大200件登録できます。

補足

短縮ダイヤルの登録のしかたは P.88 を参照してください。

電話帳を使用する

電話帳/短縮 を押し、▶ を押すと五十音順に登録されている名前が表示されます。◀ ▶ で検索してダイヤルします。

補足

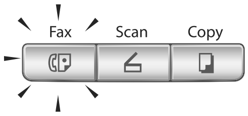
- グループダイヤルの登録のしかたは P.90 を参照してください。
- 電話帳の作成のしかたは P.86 を参照してください。

電話帳から送信する

あらかじめ電話帳に登録されている相手先にファクスを送信することができます。

ワンタッチダイヤルを使って送信する

1 ボタンが青色に点灯していないときはボタンを押す

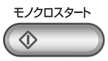


2 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

3 相手先の登録されているワンタッチボタンを押す



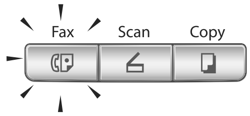
4 相手先の表示を確認する

5 

を押す

短縮ダイヤルを使って送信する

1 ボタンが青色に点灯していないときはボタンを押す



2 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

3 

を押す



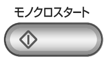
4 を押して相手先の登録されている短縮番号（001～200）を押す

5 

を押す



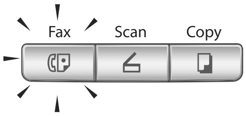
6 相手先の表示を確認する

7 

を押す

電話帳を検索して送信する

1 Fax ボタンが青色に点灯していないときは Fax ボタンを押す



2 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

3 電話帳/短縮 を押す

```
◀▶デ゛ デ゛ンワチョウケンサク
※デ゛ タンシュク
```

4 探したい名前の最初の１文字を入力する

5 ◀ ▶ で目的の名前を検索し、Menu Set を押して確定する

```
03XXXXXXXX
エイギ゛ョウ ダ゛イ1
```

6 相手先の表示を確認する

7 モノクロスタート を押す

補足

- 入力した最初の 1 文字を含む 50 音順、アルファベット順で最初の相手先名称が表示されます。

「エ」から始まる名前が登録されていた場合

```
03XXXXXXXX
エイギ゛ョウ ダ゛イ1 ▶
```

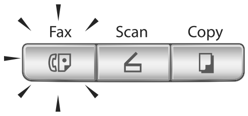
「エ」から始まる名前が登録されていなかった場合

```
03XXXXXXXX
オXXX ▶
```

- 原稿台ガラス使用時に モノクロスタート を押したときは、読み取り終了後、2 を押してください。
- 登録されている名前は ▲▼ で登録番号順に表示させることもできます。
- 登録されている相手先名称の一覧（電話帳リスト）を印刷することができます。印刷のしかたは P.107 を参照してください。
- 文字入力のしかたについては P.170 を参照してください。
- ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤルの登録のしかたについては P.86 P.88 P.90 を参照してください。

同じ相手にもう一度送信する〔再ダイヤル〕

1 Fax ボタンが青色に点灯していないときは Fax ボタンを押す



2 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

3 再ダイヤル/ポーズ を押す

最後にかけた番号が表示されます。

4 モノクロスタート を押す

補足

自動再ダイヤルについて

- 自動送信でファクス送信しようとして、相手が通話中などで送信できなかったときは自動的に再ダイヤルして送信します。自動再ダイヤルは５分間隔で3回繰り返します。
- 自動送信で再送信を繰り返す場合は相手先の電話番号を確認してください。
- 自動再ダイヤルを3回繰り返しても送信できなかったときは、送信を中止し、送信レポートが印刷されます。「ｹｯｶ」の欄が「ｵｳﾄｳﾅｼ」もしくは「ﾊﾅｼﾁｭｳ」であることを確認し、再度送信してください。
- 自動再ダイヤルは、自動送信時のみ有効な機能です。
- 原稿台ガラスからリアルタイム送信する場合は、自動再ダイヤルはされません。
- 送信した内容が相手先に届いても、本機が相手先ファクスからの受信が正しく行われたメッセージ信号を受信できなかった場合、通信エラーと処理され、自動的に再ダイヤルします。

《ファクス送信》

ファクスの便利な送りかた

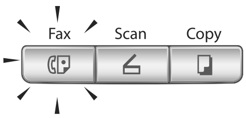
画質を設定する

原稿の文字の大きさや写真の有無に合わせて、画質モードを設定して、ファクスを送信することができます。

一時的に変更する

ここで設定した画質モードは、ファクス送信が終わると元に戻ります。

1 **[Fax] ボタンが青色に点灯していないときは [Fax] ボタンを押す**



2 **ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする**

3 **[ファクス画質] を押す**

4 **[▲▼] で画質を選択して [Menu Set] を押す**

「ヒョウジュン」「ファイン」「スーパーファイン」「シャシン」の中から選択します。

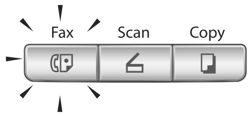
5 **相手先のファクス番号を入力する**

6 **[モノクロスタート] を押す**

設定内容を保持する

ここで設定した画質モードは、次に変更するまで有効です。

1 **[Fax] ボタンが青色に点灯していないときは [Fax] ボタンを押す**



2 **ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする**

3 **[Menu Set] [2] [2] [2] を押す**

```
ｿｳｼﾝ ｾｯﾃｲ
2.ﾌｧｸｽ ｶﾞｼﾂ
```

4 **[▲▼] で画質を選択する**

「ヒョウジュン」「ファイン」「スーパーファイン」「シャシン」の中から選択します。

```
ﾌｧｸｽ ｶﾞｼﾂ
ﾋｮｳｼﾞｭﾝ        ＊
```

5 **[Menu Set] を押す**

```
ﾌｧｸｽ ｶﾞｼﾂ
ｳｹﾂｹﾏｼﾀ
```

6 **他の設定を続けるときは [1] を、終了するには [2] を押す**

```
ﾎｶﾉ ｾｯﾃｲ
1.ｽﾙ 2.ｼﾅｲ
```

7 **相手先のファクス番号を入力する**

8 モノクロスタート を押す

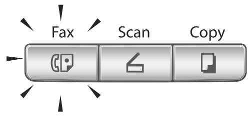
補足

- お買い上げ時は「ﾋｮｳｼﾞｭﾝ」に設定されています。
  - ヒョウジュン（標準モード）：大きくはっきり見える文字のとき
  - ファイン（ファインモード）：小さい文字のとき
  - スーパーファイン（スーパーファインモード）：新聞のように細かい文字のとき
  - シャシン（写真モード）：写真を含む原稿のとき
- ファイン、スーパーファインまたは写真モードで送ると、標準モードに比べて送信時間が長くなります。
- 写真モードの送信で相手機が標準モードしかない場合は、画質が劣化します。

原稿濃度を設定する

原稿に合わせ濃度を変更しファクスを送信します。ファクスの送信が終わると「ｼﾞﾄﾞｳ」に戻ります。
この設定は標準、ファイン、スーパーファインモードでのみ有効です。

1 Fax ボタンが青色に点灯していないときは Fax ボタンを押す



2 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

3 Menu/Set 2 2 1 を押す

```
ｿｳｼﾝ ｾｯﾃｲ
1.ｹﾞﾝｺｳ ﾉｳﾄﾞ
```

4 ▲▼で原稿濃度を選択する

「ｼﾞﾄﾞｳ」「ｳｽｸ」「ｺｸ」の中から選択します。

```
ｹﾞﾝｺｳ ﾉｳﾄﾞ
ｼﾞﾄﾞｳ            ＊
```

5 Menu/Set を押す

```
ｹﾞﾝｺｳ ﾉｳﾄﾞ
ｳｹﾂｹﾏｼﾀ
```

6 他の設定を続けるときは 1 を、終了するには 2 を押す

```
ﾎｶﾉ ｾｯﾃｲ
1.ｽﾙ 2.ｼﾅｲ
```

☞次ページへ続く

7　相手先のファクス番号を入力する

8　【モノクロスタート】をを押す

補足

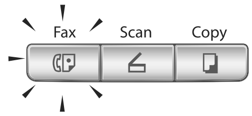
原稿濃度は、以下の3種類の中から選択します。お買い上げ時は「ジドウ」に設定されています。

- ジドウ：普通の文字の原稿が多いときに設定します。
- ウスク：濃い色の原稿が多い場合に設定します。
- コク　：えんぴつ書きなどの薄い文字を使った原稿が多い場合に設定します。

送付書を付けて送信する

ファクスを送るとき、ファクスに送付書をつけて送信することができます。送付書には相手先名、こちらの名前、電話番号、ファクス番号、コメントなどが印刷されます。

1　【Fax】ボタンが青色に点灯していないときは【Fax】ボタンを押す



2　ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

3　【Menu/Set】【2】【2】【7】を押す

```
ソウシン セッテイ
7.ソウフショ
```

4　【▲▼】で送付書の設定を選択して【Menu/Set】を押す

- 「コンカイノミ:On」「コンカイノミ:Off」「On」「Off」「プリント　サンプル」の中から選択します。
- 「プリント　サンプル」を選んだ場合：【Menu/Set】を押して【モノクロスタート】を押します。
- 「On」「コンカイノミ：On」を選んだ場合：手順5へ進んでください。
- 「Off」「コンカイノミ：Off」を選んだ場合：手順8へ進んでください。

```
ソウフショ
On
```

5　【▲▼】でコメントを選択して【Menu/Set】を押す

```
ソウフショ
1.コメント ナシ
```

6 送信枚数を入力する

送信枚数は、「ｺﾝｶｲﾉﾐ：On」を選択した場合のみです。

```
ｿｳﾌｼｮ
ﾏｲｽｳ?  :00
```

7 (Menu Set) を押す

```
ｿｳﾌｼｮ
ｳｹﾂｹﾏｼﾀ
```

8 他の設定を続けるときは (1) を、終了するには (2) を押す

```
ﾎｶﾉ ｾｯﾃｲ
1.ｽﾙ 2.ｼﾅｲ
```

9 相手先のファクス番号を入力する

10 (モノクロスタート) を押す

補足

- お買い上げ時は「Off」に設定されています。
- 手順4では以下の5つの中から選んでください。
  - 「On」：毎回送付書をつける
  - 「Off」：毎回送付書をつけない
  - 「ｺﾝｶｲﾉﾐ：On」：今回のみ送付書をつける
  - 「ｺﾝｶｲﾉﾐ：Off」：今回のみ送付書をつけない
  - 「ﾌﾟﾘﾝﾄ ｻﾝﾌﾟﾙ」：プリントサンプルを出力する
- 手順５での送付書のコメントは下記の６種類の中から選べます。
  - 1.コメント ナシ
  - 2.オデンワ クダサイ
  - 3.シキュウ
  - 4.シンテン
  - 5.（オリジナル コメント）
  - 6.（オリジナル コメント）

  2種類のオリジナル コメントが登録できます。オリジナル コメントの登録のしかたはP.70 を参照してください。
- 送付書送信を「On」に設定したときには、送信枚数は送付書に印刷されません。また、選んだコメントは、すべての送付書に印刷されます。
- 送付書の、「TO: 」の名前はあらかじめ電話帳に登録されていないと表示されません。P.86 を参照してください。

注意

発信元データ(ファクス番号、電話番号、名前)を登録しないと「送付書送信の設定」ができません。P.36 を参照してください。

送付書のオリジナルコメントを登録する

送付書のコメント欄に記載するオリジナルコメントを作成し、登録することができます。

1 Menu Set 2 2 8 を押す

```
ｿｳｼﾝ ｾｯﾃｲ
8.ｿｳﾌｼｮ ｺﾒﾝﾄ
```

2 ▲▼でコメントを登録する箇所を選び、Menu Set を押す

コメントは5か6に登録できます。

```
ｿｳﾌｼｮ ｺﾒﾝﾄ
5.
```

3 コメントを入力して Menu Set を押す

```
ｿｳﾌｼｮ ｺﾒﾝﾄ
ｳｹﾂｹﾏｼﾀ
```

4 他の設定を続けるときは 1 を、終了するには 2 を押す

```
ﾎｶﾉ ｾｯﾃｲ
1.ｽﾙ 2.ｼﾅｲ
```

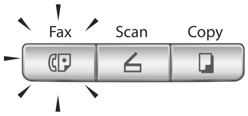
補足

コメントは27文字まで入力できます。文字の入力のしかたについては P.170 を参照してください。

同じ原稿を数ヶ所に送信する〔同報送信〕

指定した複数の相手に同じ原稿を送信します。最大266ヶ所まで指定できます。

1 Fax ボタンが青色に点灯していないときは Fax ボタンを押す



2 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

3 相手先のファクス番号を入力して Menu Set を押す

このとき、電話帳に登録されている電話番号を選択することもできます。

例：短縮ダイヤルから指定する（001番を指定するとき）

▼（電話帳/短縮） ＊ 0 0 1 Menu Set を押します。

4 手順3と同様に2件目以降の相手先を入力して Menu Set を押す

1件登録するごとに下の画面が表示されます。

```
ﾀﾞｲﾔﾙ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄﾎﾞﾀﾝｦ ｵｽ
```

5 すべての相手先を入力する

6 モノクロスタート を押す

- 原稿の読み込みが開始され、指定した送信先に送信が開始されます。すべての送信が終了すると、自動的に同報送信レポートが印刷され、待機状態に戻ります。
- 同報送信レポートを確認し、「ｴﾗｰ」などで送られていない送信先にもう一度送信してください。

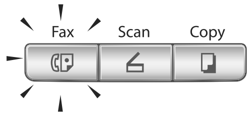
補足

- 送信途中でキャンセルするには 停止/終了 を押してください。液晶ディスプレイに送信先をキャンセルするかどうかを確認する画面が表示されるので、液晶ディスプレイの表示に従ってください。すべての送信先をキャンセルしたい場合は Menu Set 2 6 で送信待ち確認に移行してからジョブを解除してください。P.76 を参照してください。
- 送信先を間違えたときは、停止/終了 を押して最初から入力し直してください。
- 送信できる枚数はメモリーの残量によっても制限されます。
- 送信先を重複して指定したときは、自動的に重複している部分が削除されます。
- 原稿読込み中に「ﾒﾓﾘｰｶﾞ ｲｯﾊﾟｲﾃﾞｽ」と表示されたら 停止/終了 を押して中止するか モノクロスタート を押して、読み込まれた分だけ送信してください。

原稿を直接送信する〔リアルタイム送信〕

原稿を読み取りながら送信します。送信状況を確認しながら送信できます。

1 Fax ボタンが青色に点灯していないときは Fax ボタンを押す



2 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

3 Menu Set 2 2 5 を押す

ｿｳｼﾝ ｾｯﾃｲ
5.ﾘｱﾙﾀｲﾑ ｿｳｼﾝ

4 でリアルタイム送信の設定を選択する

「ｺﾝｶｲﾉﾐ：On」「ｺﾝｶｲﾉﾐ：Off」「On」「Off」の中から選択します。

ﾘｱﾙﾀｲﾑ ｿｳｼﾝ
On

5 Menu Set を押す

ﾘｱﾙﾀｲﾑ ｿｳｼﾝ
ｳｹﾂｹﾏｼﾀ

6 他の設定を続けるときは 1 を、終了するには 2 を押す

ﾎｶﾉ ｾｯﾃｲ
1.ｽﾙ 2.ｼﾅｲ

☞次ページへ続く

補足

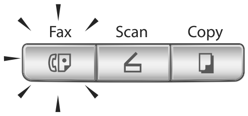
- お買い上げ時は「Off」に設定されています。
- リアルタイム送信を「On」に設定すると、原稿はメモリーに蓄積されません。
- リアルタイム送信で指定できる相手先は1件です。
- 原稿台ガラスからの送信の場合、原稿は１枚しか送信できません。
- リアルタイム送信が「On」に設定されている場合、ポーリング送信とタイマー送信は設定することができません。
- 原稿台ガラスから送信する場合は、自動再ダイヤルはされません。

相手の操作で原稿を送信する

相手側のファクシミリからの操作で、本機にセットした原稿を自動的に送信します。
これを「ポーリング送信」といいます。

標準ポーリング送信をする

1 Fax ボタンが青色に点灯していないときは Fax ボタンを押す



2 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

3 Menu/Set 2 2 6 を押す

```
ｿｳｼﾝ ｾｯﾃｲ
6.ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ｿｳｼﾝ
```

4 ▲▼で「ﾋｮｳｼﾞｭﾝ」を選択する

```
ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ｿｳｼﾝ
ﾋｮｳｼﾞｭﾝ
```

5 Menu/Set を押す

```
ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ｿｳｼﾝ
ｳｹﾂｹﾏｼﾀ
```

6 他の設定を続けるときは 1 を、終了するには 2 を押す

```
ﾎｶﾉ ｾｯﾃｲ
1.ｽﾙ 2.ｼﾅｲ
```

7 モノクロスタート を押す

原稿がメモリーに読み込まれます。

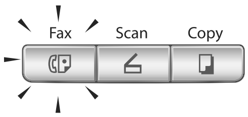
補足

- 相手先のファクシミリにポーリング機能がないときなどは、この機能が利用できないことがあります。
- ポーリング送信が終了すると、自動的にポーリングレポートが印刷され、送信結果を知らせてくれます。
- ポーリング送信の場合、通話料は相手側の負担となります。
- ポーリング送信を解除したいときはP.76 を参照してください。
- リアルタイム送信が「On」に設定されている場合、ポーリング送信は設定することができません。リアルタイム送信を「Off」に設定してください。P.71 を参照してください。

機密ポーリング送信をする

受信側と送信側が同じ４桁のパスワードを使用して、パスワードを知っている人だけが原稿を受け取れることができます。
機密ポーリング送信の設定をする前に、受信側と４桁のパスワードを決めておく必要があります。受信側とパスワードが一致したときだけ送信することができます。

1 [Fax] ボタンが青色に点灯していないときは [Fax] ボタンを押す



2 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

3 [Menu/Set] [2] [2] [6] を押す

```
ｿｳｼﾝ ｾｯﾃｲ
6.ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ｿｳｼﾝ
```

4 [▲▼] で「ｷﾐﾂ」を選択して [Menu/Set] を押す

```
ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ｿｳｼﾝ
ｷﾐﾂ
```

5 ダイヤルボタンで４桁のパスワードを入力する

```
ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ｿｳｼﾝ
ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ:XXXX
```

6 [Menu/Set] を押す

```
ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ｿｳｼﾝ
ｳｹﾂｹﾏｼﾀ
```

7 他の設定を続けるときは [1] を、終了するには [2] を押す

```
ﾎｶﾉ ｾｯﾃｲ
1.ｽﾙ 2.ｼﾅｲ
```

8 [モノクロスタート] を押す

原稿がメモリーに読み込まれます。

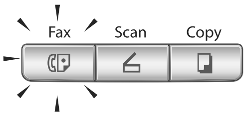
補足

相手が本機と同じファクシミリを使用している場合に、機密ポーリング通信が行えます。ただし、相手先のファクシミリにポーリング機能がないときなどは、この機能が利用できないことがあります。

海外へ送信する〔海外送信モード〕

海外へ送信するときは、回線の状況などによって正常に送信できないことがあります。このようなときには海外送信モードを「On」に設定してから送信を行うと、通信エラーが少なくなります。

1 Fax ボタンが青色に点灯していないときは Fax ボタンを押す



2 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

3 Menu Set　2　2　9 を押す

```
ｿｳｼﾝ ｾｯﾃｲ
9.ｶｲｶﾞｲｿｳｼﾝ ﾓｰﾄﾞ
```

4 ▲▼で「On」を選択する

```
ｶｲｶﾞｲｿｳｼﾝ ﾓｰﾄﾞ
On
```

5 Menu Set を押す

```
ｶｲｶﾞｲｿｳｼﾝ ﾓｰﾄﾞ
ｳｹﾂｹﾏｼﾀ
```

6 他の設定を続けるときは 1 を、終了するには 2 を押す

```
ﾎｶﾉ ｾｯﾃｲ
1.ｽﾙ 2.ｼﾅｲ
```

7 相手先のファクス番号を入力する

8 モノクロスタート を押す

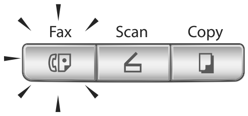
補足

- お買い上げ時は「Off」に設定されています。
- 海外へ送信するとき、相手のファクシミリとつながるまでに時間がかかるために送信できないことがあります。その場合は手動送信で相手の「ピー」という信号音を聞いてから モノクロスタート を押して送信してください。
- 1回の送信が終了すると、海外送信モードの設定は、自動的に「Off」に戻ります。
- 海外送信モードを「On」にしたときは、通信速度が遅くなって送信時間がかかり、電話料金が高くなることがあります。

指定時刻に送信する〔タイマー送信〕

24時間以内の指定した時刻に、原稿を自動的に送信します。

1 Fax ボタンが青色に点灯していないときは Fax ボタンを押す



2 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

3 Menu Set 2 2 3 を押す

```
ソウシン セッテイ
3.タイマー ソウシン
```

4 送信する時刻を入力する

例：午後3時5分の場合は「1505」

```
タイマー ソウシン
シテイ ジコク=15:05
```

5 Menu Set を押す

```
タイマー ソウシン
ウケツケマシタ
```

6 他の設定を続けるときは 1 を、終了するには 2 を押す

```
ホカノ セッテイ
1.スル 2.シナイ
```

7 相手先のファクス番号を入力する

8 モノクロスタート を押す

補足

- タイマー送信が終了すると、自動的にタイマー通信レポートが印刷され、送信結果を知らせてくれます。
- メモリーに読み込める原稿枚数は原稿の内容によって異なります。
- 相手が話し中などで送信できなかったときは、５分おきに３回まで再ダイヤルします。
- リアルタイム送信が「On」に設定されている場合、タイマー送信は設定することができません。リアルタイム送信を「Off」に設定してください。P.71 を参照してください。

メモリー内の文書を同じ相手に一括送信する〔取りまとめ送信〕

メモリーに読み込まれているタイマー送信用のメッセージの中に、相手先と送信する時間が同じものがある場合、1 回の通信で設定された時間に送信することができます。

1 Menu Set 2 2 4 **を押す**

```
ｿｳｼﾝ ｾｯﾃｲ
4.ﾄﾘﾏﾄﾒ ｿｳｼﾝ
```

2 **で「On」を選択する**

```
ﾄﾘﾏﾄﾒ ｿｳｼﾝ
On
```

3 Menu Set **を押す**

```
ﾄﾘﾏﾄﾒ ｿｳｼﾝ
ｳｹﾂｹﾏｼﾀ
```

4 停止/終了 **を押す**

補足

お買い上げ時は「Off」に設定されています。

ファクス送信待ちを確認または解除する

メモリー送信の待ち状況を確認できます。
メモリー送信、タイマー送信などのジョブを解除します。

1 Menu Set 2 6 **を押す**

```
ﾌｧｸｽ
6.ﾂｳｼﾝ ﾏﾁ ｶｸﾆﾝ
```

2 **で解除する内容を選択する**

確認のみのときは 停止/終了 を押します。

```
ﾂｳｼﾝ ﾏﾁ ｶｸﾆﾝ
#001 12:34 ｽｽﾞｷ
```

3 Menu Set **を押す**

```
#001 12:34 ｽｽﾞｷ
ｶｲｼﾞｮ 1.ｽﾙ 2.ｼﾅｲ
```

4 **解除するときは** 1 **を押す**

解除を中止するときは 2 を押します。

```
#001 12:34 ｽｽﾞｷ
ｳｹﾂｹﾏｼﾀ
```

5 停止/終了 **を押す**

補足

送信待ちのファクスがないときには「ｾｯﾃｲｶﾞ ｻﾚﾃｲﾏｾﾝ」と表示されます。

《ファクス受信》

ファクスを受信する

ファクス受信の記録紙トレイを選択する

オプションの記録紙トレイ２を取り付けると、ファクスを印刷するときに使用するトレイを選択することができます。記録紙トレイ２を取り付けていないときは、設定することができません。

1 Menu/Set 1 8 を押す

```
ｷﾎﾝ ｾｯﾃｲ
8.ﾄﾚｲ ｾﾝﾀｸ:ﾌｧｸｽ
```

2 ▲▼で使用する記録紙トレイを選択する

「ｷﾛｸｼ ﾄﾚｲ #1 ﾉﾐ」「ｷﾛｸｼ ﾄﾚｲ #2 ﾉﾐ」「ｼﾞﾄﾞｳ」の中から選択します。

```
ﾄﾚｲ ｾﾝﾀｸ:ﾌｧｸｽ
ｼﾞﾄﾞｳ
```

3 Menu/Set を押す

```
ﾄﾚｲ ｾﾝﾀｸ:ﾌｧｸｽ
ｳｹﾂｹﾏｼﾀ
```

4 停止/終了 を押す

補足

- お買い上げ時は「ｼﾞﾄﾞｳ」に設定されています。
- 「ｼﾞﾄﾞｳ」に設定したあと記録紙トレイ1に記録紙がなくなったときは、記録紙トレイ2に同じサイズの記録紙がセットされていると、自動で記録紙トレイ2から給紙させることができます。

自動的に縮小して印刷する

A4サイズの長さを超える原稿が送信されてきたときに、自動的に記録紙に収まるように縮小して印刷する機能です。

1 Menu/Set 2 1 5 を押す

```
ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲ
5.ｼﾞﾄﾞｳ ｼｭｸｼｮｳ
```

2 ▲▼で「On」を選択する

3 Menu/Set を押す

```
ｼﾞﾄﾞｳ ｼｭｸｼｮｳ
ｳｹﾂｹﾏｼﾀ
```

4 停止/終了 を押す

補足

- お買い上げ時は「On」に設定されています。
- 受信した原稿の長さに応じて自動的に縮小率を決め、約355mmまでの原稿をA4サイズに収まるように縮小して印刷します。約355mmを超えた原稿は縮小せずに2枚以上に分けて印刷します。
- 自動縮小を「Off」に設定したときに、受信のたびに白紙がもう１枚排出されることがあります。そのときは、自動縮小を「On」に設定してください。
- 原稿の長さは目安です。回線の状況によって変わります。
- 送信側の原稿サイズがA3やB4などの場合は、送信側で縮小しますので、この機能を「Off」にしても縮小して受信されます。

印刷の濃さを設定する

受信したファクスの印刷の濃さを調節できます。印刷濃度は5段階で設定できます。

1 【Menu/Set】 ② ① ⑥ **を押す**

```
ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲ
6.ｲﾝｻﾂ ﾉｳﾄﾞ
```

2 【▲/▼】 **で印刷濃度を設定する**

【▲】を押すと濃くなり、【▼】を押すと薄くなります。

```
ｲﾝｻﾂ ﾉｳﾄﾞ
   ▼ -□□■□□+ ▲
```

3 【Menu/Set】 **を押す**

```
ｲﾝｻﾂ ﾉｳﾄﾞ
ｳｹﾂｹﾏｼﾀ
```

4 【停止/終了】 **を押す**

メモリー代行受信について

以下の状況になった場合、本機は、送られてきたファクスを自動的にメモリーに蓄積します（メモリー代行受信）。

- 記録紙がなくなったとき（ｷﾛｸｼｦ　ｵｸﾚﾏｾﾝ）
- トナーがなくなったとき（ﾄﾅｰｷﾞﾚ）
- 記録紙がつまったとき（ｷﾛｸｼｶﾞﾂﾏｯﾃｲﾏｽ）
- 記録紙のサイズを間違ってセットしたとき（ｷﾛｸｼｻｲｽﾞ　ﾏﾁｶﾞｲ）

液晶ディスプレイの指示に従って処置をすると、メモリーが代行受信したファクスを自動的に印刷します。印刷されたファクスはメモリーから消去されます。

注意

メモリーがいっぱいになると、それ以降はメモリー代行受信はできません。

手動でファクスを受信する

呼出ベルが鳴っている間に本機に接続されている電話の受話器を取り、ファクスを受信したいときの操作です。

1 **呼出ベルが鳴ったら、本機に接続されている電話の受話器を取る**

2 **「ポーポー」と音がしていたら【モノクロスタート】を押す**

3 ② **を押す**

相手と通話したあとファクスを受信したいときは、【Fax】を押してファクスモードにしてから【モノクロスタート】を押し、②を押してファクスを受信します。

4 **受話器を戻す**

補足

- 電話に出なかったときの動作は、受信モードの設定によって異なります。受信モードについてはP.37を参照し、用途に合ったモードを設定してください。
- 親切受信を「On」に設定している場合は、そのまま約7秒間待つと自動でファクスを受信できます。P.79を参照してください。
- 呼出回数を7～10回に設定すると、特定の相手からのファクスが自動で受信できない場合があります。呼出回数を6回以下に設定されることをお勧めします。
- 相手が手動送信のファクスのときは受話器を取っても無音のときがありますので、相手が電話でないことを口頭で確認して【モノクロスタート】を押し、②を押してください。
- ADF（自動原稿送り装置）に原稿がセットしてあると送信されてしまうため、ADF（自動原稿送り装置）に原稿がセットされていないことを確認してください。

通話後にファクスを受信する

相手と通話した後にファクスを受信します。

リモート受信するとき

1 相手先のファクシミリに原稿をセットし、スタートを押してもらう

補足

親切受信を「On」に設定していると、本機はファクスを自動的に受信します。
親切受信を「On」に設定していない場合は、手順2を行います。
リモート受信については P.81 を参照してください。

2 「ポーポー」という音が受話器から聞こえたら、本機に接続されている電話機でリモート起動番号「#51」を押す

注意

ダイヤル回線（20PPS、10PPS）に設定してある場合でリモート受信を行うときは、本機に接続されている電話機のトーンボタンを押してトーン（PB）信号に切り替えてから、リモート起動番号を入力します。

手動受信するとき

1 相手先のファクシミリに原稿をセットし、スタートを押してもらう

補足

親切受信を「On」に設定していると、本機はファクスを自動的に受信します。
親切受信を「On」に設定していない場合は、手順2を行います。

2 「ポーポー」という音が受話器から聞こえたら、本機に接続されている電話機の受話器を持ったまま［オンフック］を押して受話器を戻す

3 ［モノクロスタート］を押す

4 ［2］を押す

```
1.ｿｳｼﾝ 2.ｼﾞｭｼﾝ
```

親切受信で受信する

本機に接続されている電話機の受話器をとったときに相手がファクスだった場合、受話器を上げたまま7秒待つと、自動的にファクスを受信することができます。

1 ［Menu Set］［2］［1］［3］を押す

```
ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲ
3.ｼﾝｾﾂ ｼﾞｭｼﾝ
```

2 ［▲▼］で「On」を選択する

```
ｼﾝｾﾂ ｼﾞｭｼﾝ
On              *
```

3 ［Menu Set］を押す

```
ｼﾝｾﾂ ｼﾞｭｼﾝ
ｳｹﾂｹﾏｼﾀ
```

4 ［停止/終了］を押す

☞次ページへ続く

補足

受信時の操作

- お買い上げ時は「Off」に設定されています。
- 親切受信を「On」に設定している場合は、本機に接続されている電話機の受話器を上げて、「ポー、ポー」という音が聞こえた場合に約7秒間待つと自動的にファクス受信を始めます。液晶ディスプレイに「ジュシン　チュウ」と表示されたら受話器を戻します。
- 親切受信を「Off」に設定している場合は、本機に接続されている電話機の受話器を上げて、「ポーポー」という音が聞こえたら相手がファクスですので、モノクロスタートを押し、2を押して受信します。この時、ADF（自動原稿送り装置）に原稿がセットしてあると送信されてしまうため、ADF（自動原稿送り装置）に原稿がセットされていないことを確認してください。
- 回線の状態により「ポーポー」という音が聞こえても、ファクスに切り替わらないときがあります。そのときはモノクロスタートを押し、2を押してください。
- 通話中の声や外部からの音をファクスの「ポーポー」という音と間違えて、突然ファクスに切り替わってしまうことがあるときは、親切受信の設定を「Off」に設定してください。
- 親切受信の設定が「Off」に設定してある場合でも、本機に接続されている電話機から操作をしてリモート受信を開始させることができます。P.80を参照してください。
- 親切受信機能は、本機に接続されている電話機を上げてから40秒有効です。40秒経過してからファクス信号が送られてきても親切受信しません。

本機に接続されている電話機からファクスを受信させる〔リモート受信〕

親切受信機能をOnに設定しているときは、本機に接続されている電話機の受話器をとって「ポーポー」という音が聞こえた後、そのまま待てばファクスを受信します。P.79を参照してください。
親切受信がうまくはたらかないとき、または親切受信の設定が「Off」になっている場合は、本機に接続されている電話機を操作してファクスを受信させることができます。

1 本機に接続されている電話機の受話器を持ったまま、ダイヤルボタンでリモート起動番号「＃51」を入力する

受話器は約5秒後に戻します。本機がファクス受信を始めます。

補足

リモート起動番号は「#51」に設定されています。自分の好きな番号に変更することもできます。

注意

- ■ダイヤル回線（20PPS、10PPS）に設定してある場合でリモート受信を行うときは、本機に接続されている電話機のトーンボタンを押してトーン（PB）信号に切り替えてから、リモート起動番号を入力します。
- ■リモート受信するには、Menu/Set 2 1 4 で「リモート　ジュシン」を「On」に設定しておく必要があります。P.81を参照してください。

リモート受信を設定する

リモート起動番号を自分の好きな番号に変更することができます。下記の手順で設定してください。

1 Menu Set ② ① ④ **を押す**

```
ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲ
4.ﾘﾓｰﾄ ｼﾞｭｼﾝ
```

2 ▲▼ **で「On」を選択する**

```
ﾘﾓｰﾄ ｼﾞｭｼﾝ
On
```

3 Menu Set **を押す**

リモート起動番号が表示されます。
リモート起動番号（3桁）を変更するときは、ダイヤルボタンで上書きします。

```
ﾘﾓｰﾄ ｼﾞｭｼﾝ
ｷﾄﾞｳ ﾊﾞﾝｺﾞｳ:#51
```

4 Menu Set **を押す**

```
ﾘﾓｰﾄ ｼﾞｭｼﾝ
ｳｹﾂｹﾏｼﾀ
```

5 停止/終了 **を押す**

補足

- お買い上げ時は「Off」に設定されています。
- リモート起動番号とは、本機に接続されている電話機から、本機をリモート受信させるときに使用するものです。お買い上げ時は「#51」に設定されています。

本機の操作で相手の原稿を受信する

本機からの操作で、相手側ファクシミリにセットされた原稿を受信します。
これを「ポーリング受信」といいます。

標準ポーリング受信をする

1 Menu Set ② ① ⑦ **を押す**

```
ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲ
7.ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ｼﾞｭｼﾝ
```

2 ▲▼ **で「ﾋｮｳｼﾞｭﾝ」を選択して** Menu Set **を押す**

```
ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ｼﾞｭｼﾝ
ﾋｮｳｼﾞｭﾝ          ⁎
```

3 相手先のファクス番号を入力する

```
ﾀﾞｲﾔﾙ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄﾎﾞﾀﾝｦ ｵｽ
```

4 モノクロスタート **を押す**

ダイヤルを開始します。

補足

- 相手先のファクシミリがポーリング送信の準備ができていないと受信できません。
- ポーリング受信の場合、通話料はこちらの負担となります。

順次ポーリング受信をする

1 回の操作で、最大 266ヶ所の相手先からファクシミリにセットされた原稿を順次に受信します。これを「順次ポーリング受信」といいます。

1 Menu Set 2 1 7 を押す

```
ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲ
7.ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ｼﾞｭｼﾝ
```

2 で「ﾋｮｳｼﾞｭﾝ」を選択して Menu Set を押す

```
ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ｼﾞｭｼﾝ
ﾋｮｳｼﾞｭﾝ          *
```

3 ポーリング受信する相手先のファクス番号を入力して Menu Set を押す

電話帳に登録されている番号を選択することもできます。

例：短縮ダイヤルから指定する（001番を指定するとき）

電話帳/短縮 記号1 * トーン 0 0 1 Menu Set を押します。

4 ２件目以降の相手先を手順３のように選択する

5 すべての相手先を入力する

6 モノクロスタート を押す

ダイヤルを開始します。

機密ポーリング受信をする

受信側と送信側が同じ4桁のパスワードを使用してパスワードを知っている人だけが原稿を受け取ることができます。
機密ポーリング受信の設定をする前に、送信側と 4 桁のパスワードを決めておく必要があります。送信側とパスワードが一致したときだけ受信することができます。

1 Menu Set 2 1 7 を押す

```
ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲ
7.ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ｼﾞｭｼﾝ
```

2 で「ｷﾐﾂ」を選択して Menu Set を押す

```
ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ｼﾞｭｼﾝ
ｷﾐﾂ
```

3 ダイヤルボタンで４桁のパスワードを入力する

```
ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ｼﾞｭｼﾝ
ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ:XXXX
```

4 Menu Set を押す

```
ﾀﾞｲﾔﾙ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄﾎﾞﾀﾝｦ ｵｽ
```

5 相手先のファクス番号を入力する

6 モノクロスタート を押す

ダイヤルを開始します。

補足

相手が本機と同じファクシミリを使用している場合に、機密ポーリング通信が行えます。ただし、相手先のファクシミリがポーリング送信の準備ができていないと受信できません。

時刻指定ポーリングの設定をする〔タイマーポーリング受信〕

ポーリング受信する時刻を設定して、相手側のファクシミリにセットされた原稿を自動的に受信することができます。

1 (Menu Set) (2) (1) (7) を押す

```
ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲ
7.ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ｼﾞｭｼﾝ
```

2 (▲▼) で「ﾀｲﾏｰ」を選択して (Menu Set) を押す

```
ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ｼﾞｭｼﾝ
ﾀｲﾏｰ
```

3 指定時刻を入力する

例：午後3時15分の場合は「1515」

```
ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ｼﾞｭｼﾝ
ｼﾃｲ ｼﾞｺｸ=15:15
```

4 (Menu Set) を押す

```
ﾀﾞｲﾔﾙ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄﾎﾞﾀﾝｦ ｵｽ
```

5 相手先のファクス番号を入力する

6 モノクロスタート を押す

指定時刻になると、自動的にポーリング受信を開始します。

```
ｳｹﾂｹﾏｼﾀ
ｶﾞｼﾂ:ﾋｮｳｼﾞｭﾝ
```

補足

時刻指定ポーリング（タイマーポーリング受信）を解除したいときは P.76 を参照してください。

Memo

3章

電話帳

電話帳

ナンバー・ディスプレイ

《電話帳》

電話帳を作成する

ワンタッチダイヤルを登録する

20桁までの電話番号と15文字までの相手先の名称を、1～16（最大16件）に登録することができます。

1 Menu Set 2 3 1 を押す

```
ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ ﾄｳﾛｸ
1.ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ/ﾜﾝﾀｯﾁ
```

2 登録するワンタッチボタンを押す



- 9～16に登録するときは、シフト を押しながらワンタッチボタンを押します。
- すでにワンタッチダイヤルが登録されている場合、登録内容が表示されます。

3 で「ﾌｧｸｽ/ﾃﾞﾝﾜ」を選択して Menu Set を押す

```
▲▼ﾃﾞｾﾝﾀｸ/ｾｯﾄﾎﾞﾀﾝ
ﾌｧｸｽ/ﾃﾞﾝﾜ
```

4 相手先の電話番号を入力して Menu Set を押す

電話番号は20桁まで入力できます。（カッコは登録できません。）

```
ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ/ﾜﾝﾀｯﾁ
#001:
```

5 相手先の名前を入力する

名前は15文字まで登録できます。

```
ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ/ﾜﾝﾀｯﾁ
ﾅﾏｴ:
```

6 Menu Set を押す

続けて登録する場合は、手順2～4を繰り返しします。

```
ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ/ﾜﾝﾀｯﾁ
ｳｹﾂｹﾏｼﾀ
```

7 停止/終了 を押す

補足

- ワンタッチダイヤルにファクス情報サービスの情報番号を登録する場合で、ダイヤル回線をお使いのときは、情報番号の前に 記号 トーン を押してください。
- 電話番号にスペースを入れるときは、 を押してカーソルを右に移動させます。（文字のときは (2回押）でスペースを入れることができます）
- 文字入力のしかたについては P.170 を参照してください。
- ワンタッチダイヤルはリモートセットアップからでも登録できます。
- ポーズを入力するには、再ダイヤル/ポーズ を押します。液晶ディスプレイに「－」が表示されます。
- ワンタッチダイヤルを忘れてしまったときは、電話帳リストを印刷します。P.107 を参照してください。

注意

■ここで登録した内容は送付書に記述されますので、他人に知らせたくない場合は送付書を付けずに送信してください。P.68 を参照してください。

■電話番号を間違って登録しないよう注意してください。電話番号を登録した後、電話帳リストを印刷して確認してください。

ワンタッチダイヤルを変更する

1 Menu/Set 2 3 1 **を押す**

```
ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ ﾄｳﾛｸ
1.ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ/ﾜﾝﾀｯﾁ
```

2 **変更するワンタッチボタンを押す**

登録されている内容が表示されます。

```
#005:ｽｽﾞｷ ｹｲｺ
ﾍﾝｺｳ 1.ｽﾙ 2.ｼﾅｲ
```

3 1 **を押す**

変更しないときは、2 を押します。

```
ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ/ﾜﾝﾀｯﾁ
#005:03XXXXXXXX
```

補足

ワンタッチダイヤルを削除するには

1 を押した後、停止/終了 を押すと電話番号が消去されます。確定する場合は Menu/Set を押します。

4 **新しい相手先の電話番号を入力して Menu/Set を押す**

- 電話番号は 20 桁まで入力できます。（カッコは登録できません。）
- 変更しないときは、そのまま Menu/Set を押します。

5 **新しい相手先の名前を入力する**

- 名前は15文字まで登録できます。
- 変更しないときは、そのまま Menu/Set を押します。

6 Menu/Set **を押す**

```
ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ/ﾜﾝﾀｯﾁ
ｳｹﾂｹﾏｼﾀ
```

7 停止/終了 **を押す**

短縮ダイヤルを登録する

ワンタッチダイヤルとは別に電話番号と相手先の名称を、001～200（最大200件）に登録することができます。

1 Menu/Set 2 3 2 を押す

```
デ゛ンワチョウ トウロク
2.デ゛ンワチョウ/タンシュク
```

2 登録する短縮番号をダイヤルボタンで入力して Menu/Set を押す

- 001～200の間で入力します。（例：005）
- すでに短縮ダイヤルが登録されている場合、登録されている内容が表示されます。

3 ▲▼で「ファクス/デンワ」を選択して Menu/Set を押す

```
▲▼デ゛センタク/セットボ゛タン
ファクス/デ゛ンワ
```

4 相手先の電話番号を入力して Menu/Set を押す

電話番号は20桁まで入力できます。（カッコは登録できません。）

```
デ゛ンワチョウ/タンシュク
＊005：
```

5 相手先の名前を入力する

名前は15文字まで登録できます。

```
デ゛ンワチョウ/タンシュク
ナマエ：
```

6 Menu/Set を押す

続けて登録する場合は、手順2～4を繰り返します。

```
デ゛ンワチョウ/タンシュク
ウケツケマシタ
```

7 停止/終了 を押す

補足

- 短縮ダイヤルにファクス情報サービスの情報番号を登録する場合で、ダイヤル回線をお使いのときは、情報番号の前に ＊（記号/トーン）を押してください。
- 電話番号にスペースを入れるときは、▶を押してカーソルを右に移動させます。（文字のときは▶（2回押）でスペースを入れることができます）
- 文字入力のしかたについては P.170 を参照してください。
- 短縮ダイヤルはリモートセットアップからでも登録できます。
- ポーズを入力するには、再ダイヤル/ポーズ を押します。液晶ディスプレイに「－」が表示されます。
- 短縮ダイヤルを忘れてしまったときは、電話帳リストを印刷します。P.107 を参照してください。

注意

- ここで登録した内容は送付書に記述されますので、他人に知らせたくない場合は送付書を付けずに送信してください。P.68 を参照してください。
- 電話番号を間違って登録しないよう注意してください。電話番号を登録した後、電話帳リストを印刷して確認してください。

短縮ダイヤルを変更する

1 Menu/Set 2 3 2 を押す

```
デ゛ンワチョウ トウロク
2.デ゛ンワチョウ/タンシュク
```

2 変更する短縮番号をダイヤルボタンで入力して Menu/Set を押す

登録されている内容が表示されます。

```
※005:エイキ゛ョウ ダ゛イ1
ヘンコウ 1.スル 2.シナイ
```

3 1 を押す

変更しないときは、2 を押します。

```
デ゛ンワチョウ/タンシュク
※005:03XXXXXXXX
```

補足

短縮ダイヤルを削除するには

1 を押した後、停止/終了 を押すと電話番号が消去されます。確定する場合は Menu/Set を押します。

4 新しい相手先の電話番号を入力して Menu/Set を押す

- 電話番号は20桁まで入力できます。（カッコは登録できません。）
- 変更しないときは、そのまま Menu/Set を押します。

5 新しい相手先の名前を入力する

- 名前は15文字まで登録できます。
- 変更しないときは、そのまま Menu/Set を押します。

6 Menu/Set を押す

```
デ゛ンワチョウ/タンシュク
ウケツケマシタ
```

7 停止/終了 を押す

グループダイヤルを登録する

ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルに登録した複数の相手先を、1グループとしてまとめて登録することができます。
グループダイヤルとして登録し、同報送信や順次ポーリング受信をするときに使うと便利です。
P.70、P.82 を参照してください。

注意

グループダイヤルに登録するためには、あらかじめワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルを登録しておく必要があります。ダイヤル番号をそのままグループダイヤルに登録することはできません。

1 Menu/Set 2 3 3 を押す

```
ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ ﾄｳﾛｸ
3.ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ/ｸﾞﾙｰﾌﾟ
```

2 グループダイヤルとして使用するワンタッチまたは短縮ダイヤルを選択する

- **ワンタッチボタンに登録するとき**
  ワンタッチボタンを押します。
- **短縮ダイヤルに登録するとき**
  電話帳/短縮 を押して短縮番号（001～200）を入力し、Menu/Set を押します。

3 グループ番号をダイヤルボタンで1～8を入力して Menu/Set を押す

すでに登録しているグループ番号を入力したときは「ﾔﾘﾅｵｼﾃ　ｸﾀﾞｻｲ」と表示されます。未登録のグループ番号を選んでください。

```
ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ/ｸﾞﾙｰﾌﾟ
ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲﾔﾙ:G01
```

4 グループに登録するワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルを入力する

例：ワンタッチダイヤル［5］、短縮ダイヤルを 電話帳/短縮 0 0 9 と入力した場合

```
ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ/ｸﾞﾙｰﾌﾟ
G01:#005*009
```

5 登録したいワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルをすべて入力して Menu/Set を押す

6 グループ名を入力する

グループ名は15文字まで登録できます。

7 Menu/Set を押す

```
ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ/ｸﾞﾙｰﾌﾟ
ｳｹﾂｹﾏｼﾀ
```

8 停止/終了 を押す

補足

- 1つのグループダイヤルには、最大215件まで登録できます。
- グループダイヤルは8グループまで作ることができます。グループダイヤルを使用すると、複数の送信先を一度に指定することができます。
- ワンタッチダイヤルの9～16を登録するときは、シフト を押しながらワンタッチボタンを押します。
- 文字入力のしかたについては P.170 を参照してください。
- グループダイヤルはリモートセットアップからでも登録できます。
- 登録したグループが分からなくなったときは電話帳リストを印刷します。P.107 を参照してください。

注意

グループダイヤルとして使用されているワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルを、さらに別のグループダイヤルの中に登録することはできません。

グループダイヤルを変更する

1 Menu Set 2 3 3 を押す

```
デ゛ンワチョウ トウロク
3.デ゛ンワチョウ/グ゛ループ゜
```

2 変更するグループダイヤル番号を入力する

- **ワンタッチボタンに登録されているとき**
  ワンタッチボタンを押します。
- **短縮ダイヤルに登録されているとき**
  電話帳/短縮 を押して短縮番号（001 ～ 200）を入力し、Menu Set を押します。

```
G01:エイギ゛ョウ
ヘンコウ 1.スル 2.シナイ
```

3 1 を押す

変更しないときは、2 を押します。

補足

グループダイヤルを削除するには

1 を押した後、グループに登録されているワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤル番号の前で 停止/終了 を押すとその番号がグループダイヤルから消去されます。確定する場合は Menu Set を押します。

4 変更するワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルを入力して Menu Set を押す

変更しないときは、そのまま Menu Set を押します。

```
デ゛ンワチョウ/グ゛ループ゜
G01:#005*009
```

5 新しいグループ名を入力する

- 名前は15文字まで登録できます。
- 変更しないときは、そのまま Menu Set を押します。

6 Menu Set を押す

```
デ゛ンワチョウ/グ゛ループ゜
ウケツケマシタ
```

7 停止/終了 を押す

《ナンバー・ディスプレイ》

ナンバー・ディスプレイの着信履歴を利用する

ナンバー・ディスプレイの着信履歴を利用して以下の機能が利用できます。
- 着信履歴を検索する
- 電話番号をワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに登録する
- 着信履歴リストを印刷する P.108

着信履歴を確認する

1 シフト を押しながら 電話帳/短縮 を押す

```
ﾅﾝﾊﾞｰﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ
01)052XXXXXXX
```

2 ▲▼ で確認する

```
ﾅﾝﾊﾞｰﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ
02)03XXXXXXXX
```

3 Menu/Set を押す

詳細情報が表示されます。

```
02)03XXXXXXXX
    02/24 15:01
```

4 停止/終了 を押す

着信履歴をワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに登録する

1 シフト を押しながら 電話帳/短縮 を押す

```
ﾅﾝﾊﾞｰﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ
01)052XXXXXXX
```

2 ▲▼ で電話番号を選択して Menu/Set を押す

```
02)03XXXXXXXX
    02/24 15:01
```

3 もう一度 Menu/Set を押す

4 ▲▼ で「ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ/ﾜﾝﾀｯﾁ」または「ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ/ﾀﾝｼｭｸ」を選択して Menu/Set を押す

5 相手先の名前を入力して Menu/Set を押す

- 名前は15文字まで入力できます。
- 登録は未登録番号の一番若い番号にされます。
- 番号に空きがないときは「ﾄｳﾛｸｶﾞ ｲｯﾊﾟｲﾃﾞｽ」と表示されたあと、手順4に戻ります。

```
ﾅﾝﾊﾞｰﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ
ﾅﾏｴ:ｽｽﾞｷ ｹｲｺ
```

補足

「ｿﾄﾂﾞｹﾃﾞﾝﾜ ﾕｳｾﾝ」でご使用の場合は、着信履歴が本機に接続されている電話機に残りますので、本機で着信履歴を利用することはできません。

4章

転送・リモコン機能

《転送機能》

電話呼び出し機能とファクス転送

電話呼び出し機能とファクス転送について

ファクスがメモリーに蓄積されると、外出先の電話に知らせたり（電話呼び出し機能）、外出先のファクスへ転送（ファクス転送）することができます。

ファクス転送の流れ

受信したファクスを、他の場所のファクシミリに転送することができます。

1. 留守中にファクスを受信
2. ファクスをメモリーに蓄積
3. 登録したファクス転送番号にダイヤル
4. メモリーに蓄積したファクスを転送先のファクシミリに送信

注意

電話呼び出し機能とファクス転送を同時に使用することはできません。

ファクス転送を設定する

ファクスを受信すると転送先のファクシミリへ自動的に転送する機能です。

1 [Menu Set] [2] [5] [1] を押す

```
オウヨウ キノウ
1.テンソウ/メモリージ゛ュシン
```

2 [▲▼] で「ファクス　テンソウ」を選択して [Menu Set] を押す

```
テンソウ/メモリージ゛ュシン
ファクス テンソウ
```

3 転送先番号（転送先の電話番号）を入力して [Menu Set] を押す

4 [▲▼] で、設定を選択する

- 「ホンタイデモ　インサツ　スル」：
  受信したファクスを転送すると同時に、本機で印刷します。
- 「ホンタイデハ　インサツ　シナイ」：
  受信したファクスを転送するだけで、本機で印刷しません。

```
ファクス テンソウ
ホンタイデ゛モ インサツ スル※
```

5 [Menu Set] を押す

```
ファクス テンソウ
ウケツケマシタ
```

6 [停止/終了] を押す

補足

- お買い上げ時は「Off」に設定されています。
- ファクス転送番号は外出先から変更することができます。P.103 を参照してください。
- 転送先番号は最大 20 桁まで入力できます。（カッコは入力できません。）
- ファクスが転送されると、メモリーに蓄積されたファクスは自動的に消去されます。
- ファクス転送を設定する前に受信したファクスは転送されません。

電話呼び出し機能の流れ

1. 留守中にファクスを受信
   ↓
2. ファクスをメモリーに蓄積
   ↓
3. 登録した呼び出し先の電話番号にダイヤル
   ↓
4. 電話に出ると、「ポッポッ」という音でファクスを受信したことを知らせます。

電話呼び出し機能を設定する

ファクスを受信すると自動的に電話呼び出しをする機能です。

1 Menu/Set 2 5 1 を押す

```
ｵｳﾖｳ ｷﾉｳ
1.ﾃﾝｿｳ/ﾒﾓﾘｰｼﾞｭｼﾝ
```

2 で「デンワ　ヨビダシ」を選択して Menu/Set を押す

```
ﾃﾝｿｳ/ﾒﾓﾘｰｼﾞｭｼﾝ
ﾃﾞﾝﾜ ﾖﾋﾞﾀﾞｼ
```

3 呼び出し先番号を入力する

```
ﾃﾞﾝﾜ ﾖﾋﾞﾀﾞｼ
#:
```

4 Menu/Set を押す

```
ﾃﾞﾝﾜ ﾖﾋﾞﾀﾞｼ
ｳｹﾂｹﾏｼﾀ
```

5 停止/終了 を押す

補足

- お買い上げ時は「Off」に設定されています。
- 電話呼び出し機能を設定したときは、登録しておいた電話番号にダイヤルしてファクスを受信したことを知らせます。外出先のファクシミリから受信したファクスを取り出すこともできます。P.103 を参照してください。

注意

電話呼び出し機能の呼び出し先電話番号は、外出先から変更することはできません。

《転送機能》

ファクスをメモリーやパソコンで受信する

受信したファクスを本機のメモリーに蓄積したり、本機と接続しているパソコンに転送することができます。

メモリー受信を設定する

メモリー受信を設定すると、受信したファクスをメモリーに蓄積して外出先から取り出すことができます。

1 Menu/Set 2 5 1 を押す

```
オウヨウ キノウ
1.テンソウ/メモリージ゛ュシン
```

2 ▲▼で「メモリー　ジュシン」を選択する

```
テンソウ/メモリージ゛ュシン
メモリー ジ゛ュシン
```

3 Menu/Set を押す

```
テンソウ/メモリージ゛ュシン
ウケツケマシタ
```

4 停止/終了 を押す

補足

- お買い上げ時は「Off」に設定されています。
- メモリー受信は最大500ページまでできます。（ただしメモリーの残量や原稿の内容によって変化します。）
- 記録紙がないとき、メモリー受信の設定が「Off」に設定されていても、メモリー代行受信を行います。
- メモリーに蓄積されたファクスを外出先から取り出さないまま、メモリー受信を「Off」にすると「ファクス ショウキョ？　1.スル　2.シナイ」が表示されます。設定を解除しないでファクスの内容をメモリーに残しておくときは、2 を押してください。1 を押すとメモリーから消去されます。

パソコンでファクスを受信する

受信したファクスメッセージを本機と接続しているパソコンに転送できます。パソコンと接続されていない場合は、受信したファクスを本機に蓄積してパソコンに接続したとき、まとめてパソコンに転送します。

1 Menu/Set 2 5 1 を押す

```
オウヨウ キノウ
1.テンソウ/メモリージ゛ュシン
```

2 ▲▼で、「PC ファクス　ジュシン」を選び、Menu/Set を押す

3 ▲▼で、設定を選択する

- 「ホンタイデモ　インサツ　スル」：
  受信したファクスをパソコンに転送したあとに、本機で印刷します。
- 「ホンタイデハ　インサツ　シナイ」：
  受信したファクスをパソコンに転送するだけで、本機で印刷しません。

```
PCファクス ジ゛ュシン
ホンタイテ゛モ インサツ スル
```

4 Menu/Set を押す

```
PCファクス ジ゛ュシン
ウケツケマシタ
```

5 停止/終了 を押す

注意

パソコンでファクスを受信したい場合は、本機の設定を必ず「PCファクス ジュシン」にしてください。

補足

- お買い上げ時は「Off」に設定されています。
- 手順３で「ホンタイデ ハ インサツ シナイ」を設定してパソコンからファクスを取り出さないまま、「Off」にすると「スベテノファクスプリント? 1.スル 2.シナイ」が表示されます。設定を解除しないでファクスの内容をメモリーに残しておくときは、②を押してください。①を押すとメモリーに蓄積されているファクスが印刷されます。
- パソコンで受信したファクスを確認・印刷する方法については、ユーザーズガイド パソコン活用編（PDF版）P.80 を参照してください。

メモリーに受信したファクスを印刷する

メモリー受信が設定されているときに、メモリー受信でメモリーに蓄積されたファクスを印刷するとともに、メモリーから消去します。

1 Menu Set ② ⑤ ③ を押す

```
オウヨウ キノウ
3.ファクス シュツリョク
```

2 モノクロスタート を押す

印刷を開始します。

```
ファクス シュツリョク
スタートボ゛タンヲ オス
```

3 印刷終了後 停止/終了 を押す

補足

- お買い上げ時は「Off」に設定されています。
- メモリーに何も蓄積されていないと液晶ディスプレイに「データガ アリマセン」と表示されますので 停止/終了 を押してください。

《リモコン機能》

外出先から本機を操作する:リモコンアクセス

リモコンアクセスを利用する場合は、暗証番号の設定が必要です。

暗証番号を設定する

外出先から本機を操作するための暗証番号（3 桁の数字と＊）を設定します。

1 Menu/Set 2 5 2 **を押す**

```
ｵｳﾖｳ ｷﾉｳ
2.ｱﾝｼｮｳ ﾊﾞﾝｺﾞｳ
```

2 **暗証番号を入力する**

ダイヤルボタンで3桁の番号を入力してください。
（暗証番号は最後に「＊」を加えた4桁の番号になります。）

```
ｱﾝｼｮｳ ﾊﾞﾝｺﾞｳ
ｱﾝｼｮｳﾊﾞﾝｺﾞｳ:___＊
```

3 Menu/Set **を押す**

```
ｱﾝｼｮｳ ﾊﾞﾝｺﾞｳ
ｳｹﾂｹﾏｼﾀ
```

4 停止/終了 **を押す**

補足

暗証番号は「3 桁の数字」を入力してください。4 桁目の「＊」は変えることができません。

外出先から本機を操作する

外出先のプッシュ（PB）回線に接続されているファクシミリ、またはトーン（PB）信号が送出できるファクシミリを使い、外出先から本機を操作して、ファクス転送などの操作を行うことができます。

1 **外出先のファクシミリから本機にダイヤルする**

2 **本機が応答し、無音状態の間に暗証番号（3桁の数字＋＊）を入力する**

「ポー」という応答音が聞こえたら、本機がメッセージを受信し、メモリーに蓄積していることを示しています。
ファクスがメモリーに蓄積されていない場合は、音がしません。

3 **次に短い「ピピッ」という応答音が続けて聞こえる。この間に、リモコンコードを入力する**

補足

リモコンコードは、外出先から本機に対する設定を変更するための番号です。P.102 を参照してください。

4 **リモコンアクセスを終了するときは、9 0 を入力する**

補足

- トーン信号を送出できない電話機からのリモコンアクセスはできません。
- リモコンアクセスする電話機がダイヤル回線の場合は、ダイヤル後、電話機のトーンボタンを押してから暗証番号を入力します。
- 暗証番号を入力するタイミングについて以下に示します。
  - **ファクス専用モードのとき**
    メモリー受信の場合、本機が応答すると、約４秒間無音になりますので、この間に入力してください。また、メモリー受信が設定されていないときは、ファクス信号（ピーヒョロヒョロ音）の間の無音状態の間に入力してください。P.98 を参照してください。
  - **自動切替モードのとき**
    本機が応答すると約4秒間無音状態になりますので、この間に入力してください。
  - **外付留守電モードのとき**
    本機に接続されている留守番電話が応答した後、応答メッセージが聞こえてくる前の無音状態のときに入力してください（本機に接続されている留守番電話に応答メッセージを録音する際はあらかじめ4〜5秒くらい無音状態を入れておいてください）。
  - **電話モードのとき**
    呼出ベルが約35回鳴るまで待った後、約30秒無音状態になりますので、この間に入力してください。
- 「ピピッ」という応答音が聞こえてこないときは、繰り返し暗証番号を入力してください。回線状態などにより、暗証番号を受けられないことがあります。
- 1 つのリモコンコードの入力が終了したら、短い「ピピッ」という応答音が続けて聞こえる間に、次のリモコンコードを入力することができます。
- 間違った操作を行ったときや正しい設定・変更ができなかったときには、短い「ピピピッ」という応答音が聞こえます。正しく設定できたときは少し長い「ピー」という応答音が1回聞こえます。
- 「ピピッ」という音が続けて聞こえているときに、何もコードを入力せずに30秒以上経過すると、リモコンアクセスが終了します。
- メモリー受信されたファクスメッセージをリモコンアクセスで取り出したいときは、転送の設定をファクス転送にしないでください。

リモコンコードで設定できる機能〔コード一覧〕

リモコンコードを入力することにより、本機を下記のように操作することができます。

機　　　能	コード
メモリー受信を解除します。（電話呼び出し、ファクス転送の設定も解除されます）	951
ファクス転送に設定します。（番号未登録時は設定できません）	952
電話呼び出しに設定します。（番号未登録時は設定できません）	953
ファクス転送番号の登録や変更をします。転送番号を登録した後、(#)を２回入力します。転送番号を登録すると、自動的にファクス転送の設定が「On」になります。	954
メモリー受信を設定します。	956
メモリーに蓄積したファクスメッセージを取り出します。	962
メモリーに蓄積したファクスメッセージを消去します。	963
ファクスメッセージを蓄積しているかを確認します。蓄積しているときは「ピー」という音が、蓄積していないときは「ピピピッ」という音が聞こえます。	971
受信モードを「外付留守電モード」に変更します。	981
受信モードを「自動切替モード」に変更します。	982
受信モードを「ファクス専用モード」に変更します。	983
リモコンアクセスを終了します。	90

上記の機能のうち、「外出先からファクスを取り出す方法（962）」と「外出先からファクス転送番号を変更する方法（954)」について手順を示します。

外出先からファクスを取り出す

1 **外出先のファクシミリから本機にダイヤルする**

2 **本機が応答し、無音状態の間に暗証番号（3桁の数字＋(＊)）を入力する**

「ポー」という応答音が聞こえたら、本機がファクスを受信し、メモリーに蓄積していることを示しています。
ファクスがメモリーに蓄積されていない場合は、音がしません。

3 **「ピピッ」という音が聞こえたら、(9)(6)(2)を押す**

4 **外出先の今使用しているファクシミリのファクス番号を入力して最後に(#)を2回押す**

ファクス番号は最大20桁まで入力できます。

外出先からファクス転送番号（転送先の電話番号）を変更する

1 **外出先のファクシミリから本機にダイヤルする**

2 **本機が応答し、無音状態の間に暗証番号（3桁の数字＋(＊)）を入力する**

3 **「ピピッ」という音が聞こえたら、(9)(5)(4)を押す**

4 **新しい転送番号をダイヤルボタンで入力して最後に(#)を2回押す**

転送番号は最大20桁まで入力できます。

5 **「ピー」という応答音が聞こえたら、(9)(0)を押して受話器を戻す**

正しく設定できなかったときは、「ピピピッ」という音が聞こえます。もう一度、操作をやり直してください。

補足

- 「＊」や「#」は転送番号として登録することはできません。転送番号の間にポーズを入れたいときには、(#)を1回押します。(#)を2回押すと転送番号の入力終了を表します。
- 受話器を持ったままにしていても、操作しているファクシミリによって回線が切れることがありますので、その場合はもう一度かけ直した後、手順2の操作を行ってください。

Memo

5章

レポート・リスト

レポート・リストの印刷

本機では、管理情報や設定内容に関するレポートおよびリストを印刷することができます。印刷できるレポートおよびリストは、以下のとおりです。

No	レポート・リスト	内容
1	送信レポート	送信後に、最後に送ったファクスの送信結果を印刷します。
2	機能案内リスト	機能の解説を印刷します。
3	電話帳リスト	ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤル、グループダイヤルに登録されている内容を印刷します。
4	通信管理レポート	送信・受信した最新の最大200通信分の結果を印刷します。
5	設定内容リスト	各種機能に登録・設定されている内容を印刷します。
6	LAN設定内容リスト	ネットワークの設定内容を印刷します。
7	着信履歴リスト	着信した履歴を印刷します。

以下のレポートについては、自動的に印刷されるため、設定は不要です。

- タイマー通信レポート
  タイマー通信が終了すると印刷されます。
- ポーリングレポート
  ポーリング送信が終了すると印刷されます。
- 同報送信レポート
  同報送信が終了すると印刷されます。

注意

電源スイッチをOffにしたまま60時間放置すると、通信管理レポートの内容が消去されてしまいます。ご注意ください。

送信レポートを印刷する

送信後に、最後に送ったファクスの送信結果を印刷します。

1 Menu/Set 5 1 を押す

```
ﾚﾎﾟｰﾄ ｲﾝｻﾂ
1.ｿｳｼﾝ ﾚﾎﾟｰﾄ
```

2 「ｽﾀｰﾄﾎﾞﾀﾝｦ　ｵｽ」と表示されたら、モノクロスタート を押す

通信管理レポートを印刷する

送信・受信した最新の最大200通信分の結果を印刷します。

1 Menu/Set 5 4 を押す

```
ﾚﾎﾟｰﾄ ｲﾝｻﾂ
4.ﾂｳｼﾝ ｶﾝﾘ ﾚﾎﾟｰﾄ
```

2 「ｽﾀｰﾄﾎﾞﾀﾝｦ　ｵｽ」と表示されたら、モノクロスタート を押す

機能案内リストを印刷する

機能の解説を印刷します。

1 Menu/Set 5 2 を押す

```
ﾚﾎﾟｰﾄ ｲﾝｻﾂ
2.ｷﾉｳｱﾝﾅｲ
```

2 「ｽﾀｰﾄﾎﾞﾀﾝｦ　ｵｽ」と表示されたら、モノクロスタート を押す

設定内容リストを印刷する

各種機能に登録･設定されている内容を印刷します。

1 Menu/Set 5 5 を押す

```
ﾚﾎﾟｰﾄ ｲﾝｻﾂ
5.ｾｯﾃｲﾅｲﾖｳ ﾘｽﾄ
```

2 「ｽﾀｰﾄﾎﾞﾀﾝｦ　ｵｽ」と表示されたら、モノクロスタート を押す

電話帳リストを印刷する

ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤル、グループダイヤルに登録されている内容を印刷します。

1 Menu/Set 5 3 を押す

```
ﾚﾎﾟｰﾄ ｲﾝｻﾂ
3.ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ ﾘｽﾄ
```

2 「ｽﾀｰﾄﾎﾞﾀﾝｦ　ｵｽ」と表示されたら、モノクロスタート を押す

LAN設定内容リストを印刷する

ネットワークの設定内容を印刷します。

1 Menu/Set 5 6 を押す

```
ﾚﾎﾟｰﾄ ｲﾝｻﾂ
6.LANｾｯﾃｲﾅｲﾖｳﾘｽﾄ
```

2 「ｽﾀｰﾄﾎﾞﾀﾝｦ　ｵｽ」と表示されたら、モノクロスタート を押す

着信履歴リストを印刷する

着信した履歴を印刷します。

1 Menu Set ⑤ ⑦ **を押す**

```
ﾚﾎﾟｰﾄ ｲﾝｻﾂ
7.ﾁｬｸｼﾝﾘﾚｷ ﾘｽﾄ
```

2 **「ｽﾀｰﾄﾎﾞﾀﾝｦ　ｵｽ」と表示されたら、**
モノクロスタート **を押す**

送信レポートの出力を設定する

ファクス送信後に送信結果を印刷するための設定をします。

1 Menu Set ② ④ ① **を押す**

```
ﾚﾎﾟｰﾄ ｾｯﾃｲ
1.ｿｳｼﾝ ﾚﾎﾟｰﾄ
```

2 **で印刷する送信レポートの出力設定を選択する**

「On」「On+イメージ」「Off」「Off +イメージ」の中から選択します。

```
ｿｳｼﾝ ﾚﾎﾟｰﾄ
Off+ｲﾒｰｼﾞ
```

3 Menu Set **を押す**

```
ｿｳｼﾝ ﾚﾎﾟｰﾄ
ｳｹﾂｹﾏｼﾀ
```

4 停止/終了 **を押す**

補足

- お買い上げ時は「Off +イメージ」に設定されています。
- 印刷する送信レポートの出力設定は、以下の４種類の中から選択します。
  On：送信後に毎回自動的に印刷します。
  On+イメージ：「On」の動作に加えて、ファクスの1ページ目の画像も印刷されます。
  Off：通信エラーが発生したときやうまく送信できなかったときに、自動的に印刷します。
  Off+イメージ：「Off」の動作に加えて、ファクスの1ページ目の画像も印刷されます。
- リアルタイム送信時には画像は印刷されません。

通信管理レポートの出力間隔を設定する

通信管理レポートの出力間隔を設定します。

1 Menu/Set 2 4 2 を押す

```
レポート セッテイ
2.ツウシン カンリ カンカク
```

2 ▲▼で間隔を設定して Menu/Set を押す

- 「レポートシュツリョク シナイ」「50 ケン ゴト」「6 ジカンゴト」「12 ジカンゴト」「24 ジカンゴト」「2 カ ゴト」(2日ごと)「7 カ ゴト」(7日ごと)の中から選択します。
- 「7 カ ゴト」を設定したときは、曜日を▲▼で選択して Menu/Set を押してください。

```
ツウシン カンリ カンカク
50 ケン ゴト       ✱
```

3 開始時間を入力する

開始時間は、「50 ケン ゴト」「レポートシュツリョク シナイ」以外を選択した場合のみです。

```
ツウシン カンリ カンカク
カイシ ジカン:00:00
```

補足

通信管理レポートの出力開始時間になる前に200件になったときは、通信管理レポートが自動で印刷されメモリーから消去されます。

4 Menu/Set を押す

```
ツウシン カンリ カンカク
ウケツケマシタ
```

5 停止/終了 を押す

補足

お買い上げ時は「50 ケン ゴト」に設定されています。

Memo

6章

コピー

《コピーをする》

コピーをする

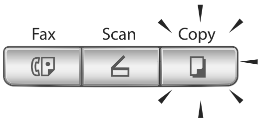
カラーまたはモノクロでコピーします。

補足

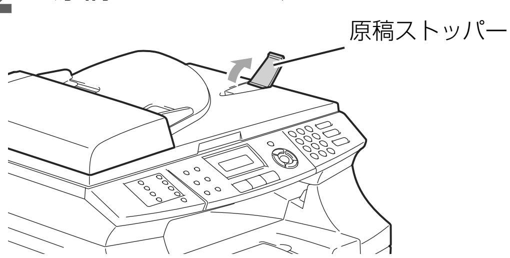
コピーを途中でキャンセルする場合は、停止/終了 を押してください。

ADF（自動原稿送り装置）を使ってコピーする

1　Copy ボタンが青色に点灯していないときは Copy ボタンを押す



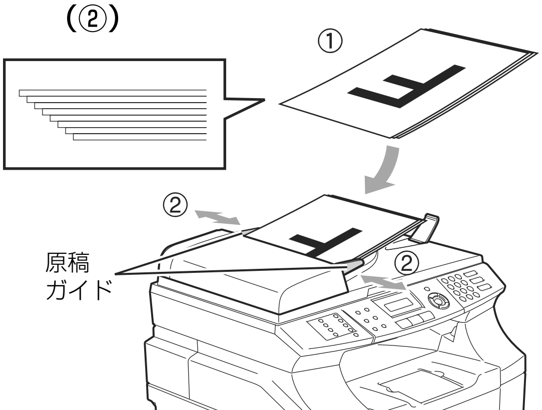
2　原稿ストッパーを起こす



3　原稿のコピーする面を上にして図のようにそろえ、原稿の先が軽く当たるまで差し込む（①）

原稿は一度に35枚までセットできます。

原稿ガイドを原稿の幅に合わせる（②）



4　コピーしたい部数（1 ～ 99）をダイヤルボタンで入力する

複数のコピーを仕分けしてコピー（ソートコピー）するときは P.116 を参照してください。

5　モノクロでコピーするときは モノクロスタート を、カラーでコピーするときは カラースタート を押す

補足

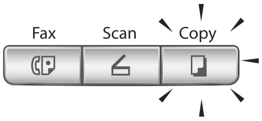
- ADF（自動原稿送り装置）に複数の原稿をセットすることで、連続してコピーすることができます。
- コピーの枚数は 99 部まで設定できます。100 部以上コピーする場合は、再度設定してください。
- ADF（自動原稿送り装置）に原稿がつまったときは P.125 を参照してください。
- コピー枚数の取り消しは 停止/終了 を押してください。

注意

ADF（自動原稿送り装置）では、キャリアシートはお使いになれません。原稿台ガラスからコピーしてください。

原稿台ガラスからコピーする

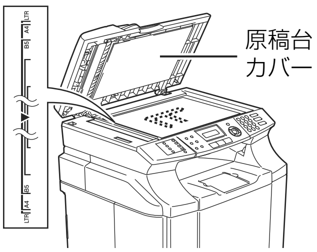
1 Copy ボタンが青色に点灯していないときは Copy ボタンを押す



2 原稿台カバーを持ち上げる

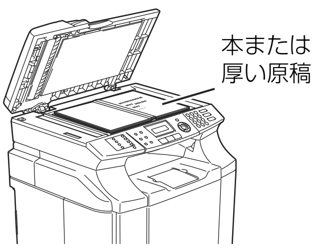
3 原稿台ガラスに原稿のコピーする面を下にセットする

左右方向は左端に、前後方向は左側の原稿ガイドを利用して中央にセットします。



4 原稿台カバーを閉じる

本などの厚みのある原稿のときは、原稿台カバーは無理に閉じずに軽く押してください。



5 コピーしたい部数（1 ～ 99）をダイヤルボタンで入力する

6 モノクロでコピーするときは モノクロスタート を、カラーでコピーするときは カラースタート を押す

補足

- コピー枚数は 99 部まで設定できます。100 部以上コピーする場合は、再度設定してください。
- 原稿台ガラスは常にきれいにしておきましょう。汚れていると､きれいなコピーができません。P.131 を参照してください。
- コピー枚数の取り消しは 停止/終了 を押してください。
- スタックコピーまたはソートコピーする場合は、ADF（自動原稿送り装置）を使ってコピーしてください。P.116 を参照してください。

「メモリーガ　イッパイデス」と表示されたときは

コピー中に本機内部のメモリーがいっぱいになると、液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。

ﾒﾓﾘｰｶﾞ　ｲｯﾊﾟｲﾃﾞｽ

停止/終了 を押すとコピーがキャンセルされます。

メモリーに受信したファクスを印刷して、コピー時に使用できるメモリーを確保してください。
P.99 を参照してください。

補足

「ﾒﾓﾘｰｶﾞ　ｲｯﾊﾟｲﾃﾞｽ」のメッセージが表示されたとき、メモリーを確保するためにまず受信したファクスを印刷すれば、コピーすることができます。

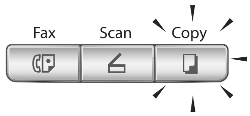
《コピー設定》

一時的に設定する

拡大･縮小コピーをする

一時的に倍率を変えてコピーすることができます。

1 Copy ボタンが青色に点灯していないときは Copy ボタンを押す



2 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

3 コピーしたい部数（1 ～ 99）をダイヤルボタンで入力する

4 拡大/縮小 を押した後、 で倍率を選択する

```
ｶｸﾀﾞｲ/ｼｭｸｼｮｳ
100%
```

倍率は以下の中から選択します。

- 100%
- 115%　B5→A4
- 141%　A5→A4
- 200%
- カスタム
  （25%～400%：ダイヤルボタンで入力）
- 50%
- 70%
- 87%　A4→B5
- 91%　フルページ
- 94%　A4→USレター
- 97%　USレター→A4

5 Menu Set を押す

「カスタム」を選択したときは、ダイヤルボタンで倍率（25%～400%）を入力して Menu Set を押してください。

6 モノクロでコピーするときは モノクロスタート を、カラーでコピーするときは カラースタート を押す

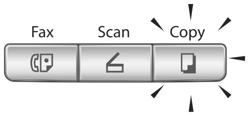
補足

- お買い上げ時は「100%」に設定されています。
- 原稿によっては画像が欠ける場合があります。
- JIS B5 サイズよりも小さい記録紙をセットした場合、出力サイズは、すべてはがきサイズとなります。

画質を設定する

一時的に画質を変えてコピーすることができます。

1 Copy ボタンが青色に点灯していないときは Copy ボタンを押す



2 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

3 コピーしたい部数（1 ～ 99）をダイヤルボタンで入力する

4 オプション を押し、 で「コピー　ガシツ」を選択して Menu Set を押す

```
コピ゜ー ガ゛シツ
シ゛ト゛ウ         ▲▼
```

5 で印刷するコピーの画質を選択する

「ジドウ」「テキスト」「シャシン」の中から選択します。

6 Menu Set を押す

```
ウケツケマシタ
シ゛ト゛ウ
```

7 モノクロでコピーするときは モノクロスタート を、カラーでコピーするときは カラースタート を押す

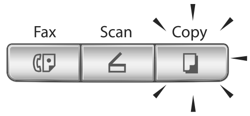
補足

- お買い上げ時は「ジドウ」に設定されています。
- コピー画質を「シャシン」に設定した場合、原稿の読み取りに時間がかかることがあります。

明るさを調整する

一時的に明るさを変えてコピーすることができます。

1 Copy ボタンが青色に点灯していないときは Copy ボタンを押す



2 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

3 コピーしたい部数（1 ～ 99）をダイヤルボタンで入力する

4 オプション を押し、 で「アカルサ」を選択して Menu Set を押す

```
アカルサ
   ▼ -□□■□□+ ▲
```

5 で印刷するコピーの明るさを調整する

明るさは5段階で調整できます。 を押すと明るくなり、 を押すと暗くなります。

6 Menu Set を押す

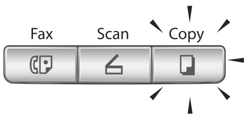
```
ウケツケマシタ
   ▼ -□□■□□+ ▲
```

7 モノクロでコピーするときは モノクロスタート を、カラーでコピーするときは カラースタート を押す

コントラストを調整する

一時的にコントラストを変えてコピーすることができます。

1 [Copy] ボタンが青色に点灯していないときは [Copy] ボタンを押す



2 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

3 コピーしたい部数（1 ～ 99）をダイヤルボタンで入力する

4 [オプション] を押し、[▲▼] で「コントラスト」を選択して [Menu Set] を押す

```
コントラスト
    ▼  -□□■□□+  ▲
```

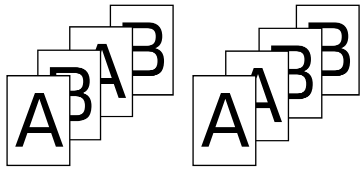
5 [▲▼] で印刷するコピーのコントラストを調整する

6 [Menu Set] を押す

```
ウケツケマシタ
    ▼  -□□■□□+  ▲
```

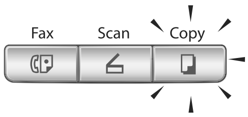
7 モノクロでコピーするときは [モノクロスタート] を、カラーでコピーするときは [カラースタート] を押す

ソートコピーまたはスタックコピーを設定する



ソートコピー　スタックコピー

1 [Copy] ボタンが青色に点灯していないときは [Copy] ボタンを押す



2 ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする

原稿台からソートコピーはできません。

3 コピーしたい部数（1 ～ 99）をダイヤルボタンで入力する

4 [オプション] を押し、[▲▼] で「スタック／ソート コピー」を選択して [Menu Set] を押す

```
オプション
スタック/ソート コピー   ♦
```

5 [▲▼] で「スタックコピー」または「ソートコピー」を選択する

```
スタック/ソート コピー
スタックコピー   ♦
```

6 [Menu Set] を押す

```
ウケツケマシタ
ソートコピー
```

7 モノクロでコピーするときは（モノクロスタート）を、カラーでコピーするときは（カラースタート）を押す

補足

- お買い上げ時は「スタックコピー」に設定されています。
- コピー枚数は 99 部まで設定できます。100 部以上コピーする場合は、再度設定してください。

注意

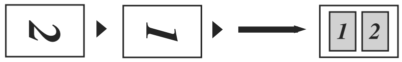
■原稿の読み込み中に「メモリーガ　イッパイデス」と表示されたときはP.113 を参照してください。

■メモリーの残量が少ないと機能しない場合があります。メモリーの残量に注意してください。

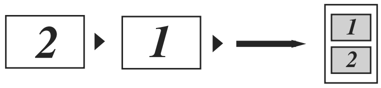
N in 1コピー

コピーのしかたを以下の種類から選択できます。

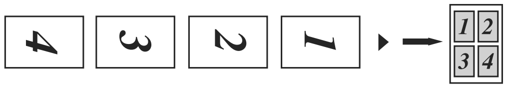
〈2 in 1（タテナガ）〉



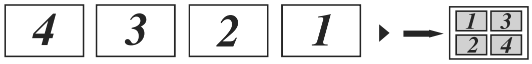
〈2 in 1（ヨコナガ）〉



〈4 in 1（タテナガ）〉



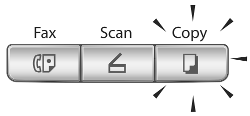
〈4 in 1（ヨコナガ）〉



N in 1コピーのしかた

2枚または4枚の原稿を1枚にコピーすることができます。

1 （Copy）ボタンが青色に点灯していないときは（Copy）ボタンを押す



2 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

3 コピーしたい部数（1 ～ 99）をダイヤルボタンで入力する

4 （オプション）を押し、（▲▼）で「レイアウト　コピー」を選択して（Menu Set）を押す

```
オプション
レイアウト コピー
```

☞次ページへ続く

本書の使い方・目次
ご使用の前に
ファクス
電話帳
転送・リモコン機能
レポート・リスト
コピー
こんなときは
付録

5 でレイアウトを選択して Menu Set を押す

「2in1（ﾀﾃﾅｶﾞ）」「2in1（ﾖｺﾅｶﾞ）」「4in1（ﾀﾃﾅｶﾞ）」「4in1（ﾖｺﾅｶﾞ）」の中から選択します。

```
ﾚｲｱｳﾄ ｺﾋﾟｰ
2in1 (ﾀﾃﾅｶﾞ)
```

6 モノクロでコピーするときは モノクロスタート を、カラーでコピーするときは カラースタート を押す

原稿を読み取ります。

- ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットしていたときは順次原稿を読み取り、コピーが開始されます。（これで操作は終了です。）
- 原稿台ガラスに原稿をセットしていたときは、手順７に進みます。

7 原稿台ガラスに次の原稿をセットして 1 を押す

原稿を読み取ります。
コピーするすべての原稿に対してこの操作を繰り返します。

8 すべての原稿を読み取った後、2 を押す

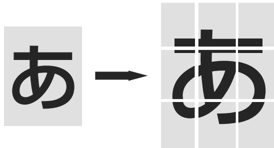
コピーが開始されます。

補足

N in 1コピーでは、拡大／縮小機能は使えません。

ポスターコピーのしかた

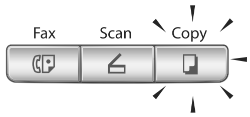
1枚の原稿を9枚の記録紙に分割拡大（ポスター）コピーすることができます。



注意

- ■記録紙サイズは「A4」を選択してください。
- ■ポスターコピーをする場合は、原稿台ガラスに原稿をセットしてください。

1 Copy ボタンが青色に点灯していないときは Copy ボタンを押す



2 原稿台ガラスに原稿をセットする

3 オプション を押し、で「ﾚｲｱｳﾄ　ｺﾋﾟｰ」を選択して Menu Set を押す

```
ｵﾌﾟｼｮﾝ
ﾚｲｱｳﾄ ｺﾋﾟｰ
```

4 で「ﾎﾟｽﾀｰ(3　X　3)」を選択する

5 Menu Set を押す

```
ｳｹﾂｹﾏｼﾀ
ﾎﾟｽﾀｰ(3 X 3)
```

6 モノクロでコピーするときは モノクロスタート を、カラーでコピーするときは カラースタート を押す

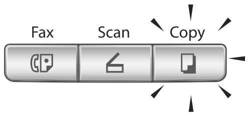
補足

- ポスターコピーでは、拡大／縮小機能は使えません。
- ポスターコピーは 1 部しかコピーをすることはできません。

コピーするときの記録紙トレイを選択する

オプションの記録紙トレイ2を取り付けると、コピーするときに使用するトレイを、一時的に変更することができます。記録紙トレイ 2 を取り付けていないときは、設定することができません。

1 Copy ボタンが青色に点灯していないときは Copy ボタンを押す



2 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

3 コピーしたい部数（1 ～ 99）をダイヤルボタンで入力する

4 オプション を押し、「ﾄﾚｲ　ｾﾝﾀｸ」を選択して Menu Set を押す

```
ｵﾌﾟｼｮﾝ
ﾄﾚｲ ｾﾝﾀｸ
```

5 ▲▼ で使用する記録紙トレイを選択する

「#1（XXX）」「#2 （XXX）」「ｼﾞﾄﾞｳ」の中から選択します。

```
ﾄﾚｲ ｾﾝﾀｸ
ｼﾞﾄﾞｳ
```

6 Menu Set を押す

```
ｳｹﾂｹﾏｼﾀ
ｼﾞﾄﾞｳ
```

7 モノクロでコピーするときは モノクロスタート を、カラーでコピーするときは カラースタート を押す

補足

「ｼﾞﾄﾞｳ」に設定したあと記録紙トレイ 1 に記録紙がなくなったときは、記録紙トレイ2に同じサイズの記録紙がセットされていると、自動で記録紙トレイ2から給紙させることができます。

《コピー設定》

設定内容を保持する

お買い上げ時の本機の設定を変更することができます。変更された内容は、次にコピーをするときにも有効です。一時的に設定内容を変更する場合は P.114 を参照してください。

画質の設定を変更する

「画質」の設定を変更します。
ここで設定した内容は、次に変更するまで有効です。

1 Menu/Set 3 1 を押す

```
ｺﾋﾟｰ
1.ｺﾋﾟｰ ｶﾞｼﾂ
```

2 で画質を選択する

「ﾃｷｽﾄ」「ｼｬｼﾝ」「ｼﾞﾄﾞｳ」の中から選択します。

```
ｺﾋﾟｰ ｶﾞｼﾂ
ｼﾞﾄﾞｳ          *
```

3 Menu/Set を押す

```
ｺﾋﾟｰ ｶﾞｼﾂ
ｳｹﾂｹﾏｼﾀ
```

4 停止/終了 を押す

補足
お買い上げ時は「ｼﾞﾄﾞｳ」に設定されています。

明るさの設定を変更する

「明るさ」の設定を変更します。
ここで設定した内容は、次に変更するまで有効です。

1 Menu/Set 3 2 を押す

```
ｺﾋﾟｰ
2.ｱｶﾙｻ
```

2 で明るさを調整する

明るさは5段階で調整できます。▲を押すと明るくなり、▼を押すと暗くなります。

```
ｱｶﾙｻ
   ▼ -□□■□□+ ▲
```

3 Menu/Set を押す

```
ｱｶﾙｻ
ｳｹﾂｹﾏｼﾀ
```

4 停止/終了 を押す

コントラストの設定を変更する

「コントラスト」の設定を変更します。
ここで設定した内容は、次に変更するまで有効です。

1 Menu/Set 3 3 を押す

```
コピ゜ー
3.コントラスト
```

2 ▲▼でコントラストを調整する

コントラストは5段階で調整できます。▲を押すと濃くなり、▼を押すと薄くなります。

```
コントラスト
    ▼ −□□■□□+ ▲
```

3 Menu/Set を押す

```
コントラスト
ウケツケマシタ
```

4 停止/終了 を押す

カラーバランスの設定を変更する

「カラーバランス」の設定を変更します。
ここで設定した内容は、次に変更するまで有効です。

1 Menu/Set 3 4 を押す

```
コピ゜ー
4.カラー チョウセイ
```

2 ▲▼で設定する色を選択して Menu/Set を押す

「1.レッド」「2.グリーン」「3.ブルー」の中から選択します。

3 ▲▼で色のバランスを調整する

各色ごとに5段階で調整できます。▲を押すと色味が増し、▼を押すと色味が減少します。

```
レッド
R: ▼ −□□■□□+ ▲
```

4 Menu/Set を押す

```
レッド
ウケツケマシタ
```

5 停止/終了 を押す

記録紙トレイの設定を変更する

オプションの記録紙トレイ2を取り付けると、コピーするときに使用するトレイを変更することができます。記録紙トレイ２を取り付けていないときは、設定することができません。

1 

を押す

```
キホン セッテイ
7.トレイ センタク:コピ゜ー
```

2 
で使用する記録紙トレイを選択する

「キロクシ　トレイ #1　ノミ」「キロクシ　トレイ #2　ノミ」「ジドウ」の中から選択します。

```
トレイ センタク:コピ゜ー
ジ゛ド゛ウ
```

3 

を押す

```
トレイ センタク:コピ゜ー
ウケツケマシタ
```

4 

を押す

補足

- お買い上げ時は「ジドウ」に設定されています。
- 「ジドウ」に設定したあと記録紙トレイ１に記録紙がなくなったときは、記録紙トレイ２に同じサイズの記録紙がセットされていると、自動で記録紙トレイ2から給紙させることができます。

7章

こんなときは

《日常のお手入れ》

紙づまりについて

紙づまりのときのメッセージ

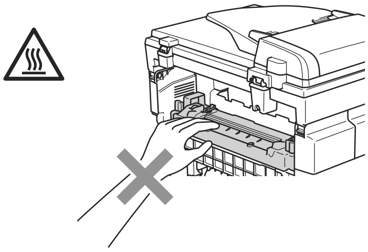
紙づまりのときは、液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。長いメッセージはスクロール表示します。

原稿がつまったとき P.125 を参照してください。	**ゲンコウカ゛　ツマッテイマス**
記録紙がつまったとき P.126 を参照してください。	**キロクシカ゛ツマッテイマス**

注意

■本機の内部を操作するときは、必ず電源スイッチをOffにしてから行ってください。

■本機の使用直後は、定着器とその周りが非常に高温になっています。本機のバックカバーを開けたときは、下図のグレーの部分には絶対に触れないでください。



■つまった記録紙を引き抜くときに無理な力をかけないでください。次に印刷されるページにトナーが飛び散ることがあります。

■つまった記録紙の表面には触れないでください。トナーで手や衣服が汚れるおそれがあります。

■トナーが飛び散って手や衣服が汚れた場合は、すぐに拭き取るか冷たい水で洗い流してください。

■転写ローラーは、触れないでください。

■記録紙の角に折り目がついているときは、紙づまりが起こる可能性がありますので、紙づまりを防ぐために折り目がついている部分を手前にして記録紙を入れなおしてください。

補足

次の記録紙は紙づまりを起こすおそれがあるため、使用しないでください。

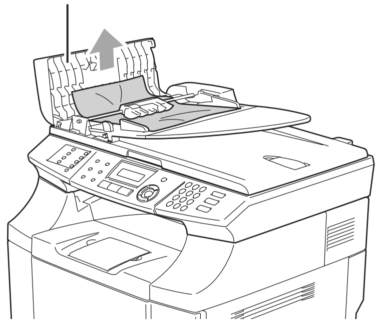
- 曲がっていたりカールしている記録紙
- 湿っている記録紙
- 本機の仕様に合わない記録紙

原稿がつまったときは

ADF（自動原稿送り装置）の入り口で原稿がつまったときは

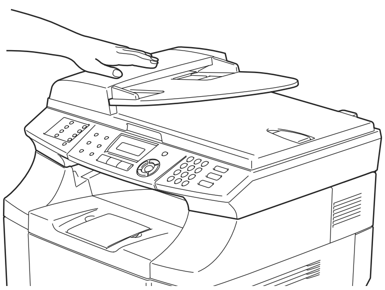
1 送り込まれていない原稿を取る

2 ADF（自動原稿送り装置）カバーを開き、つまった原稿をゆっくり上に引いて取り除く



3 ADF（自動原稿送り装置）カバーを閉じる

ADFカバーの中心を押して、左右が閉じていることを確認してください。

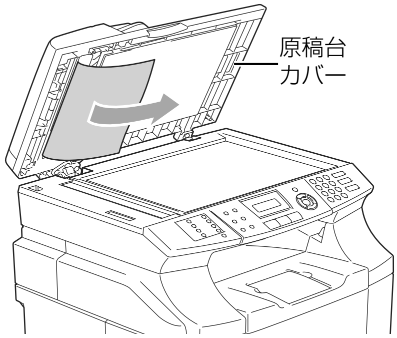


4 停止/終了 を押す

ADF（自動原稿送り装置）内で原稿がつまったときは

1 送り込まれていない原稿を取る

2 原稿台カバーを開き、つまった原稿をゆっくり引き出す



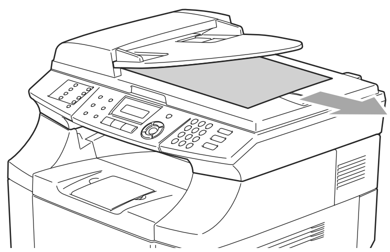
3 原稿台カバーを閉じる

4 停止/終了 を押す

ADF（自動原稿送り装置）の出口で原稿がつまったときは

1 送り込まれていない原稿を取る

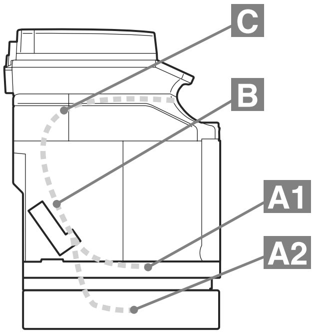
2 つまった原稿をゆっくり引き出す



3 停止/終了 を押す

記録紙がつまったときは

液晶ディスプレイに記録紙がつまっている場所が表示されます。液晶ディスプレイの表示からつまっている場所を確認して、つまった記録紙を取り除いてください。



記録紙トレイ１でつまったとき

```
ｷﾛｸｼｶﾞ ﾂﾏｯﾃｲﾏｽ A1
```

記録紙トレイ２でつまったとき

```
ｷﾛｸｼｶﾞ ﾂﾏｯﾃｲﾏｽ A2
```

本機の内部でつまったとき

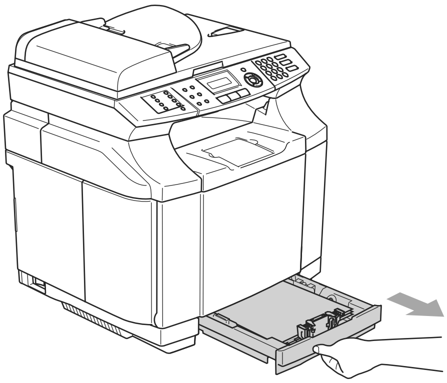
```
ｷﾛｸｼｶﾞ ﾂﾏｯﾃｲﾏｽ B
```

排紙トレイでつまったとき

```
ｷﾛｸｼｶﾞ ﾂﾏｯﾃｲﾏｽ C
```

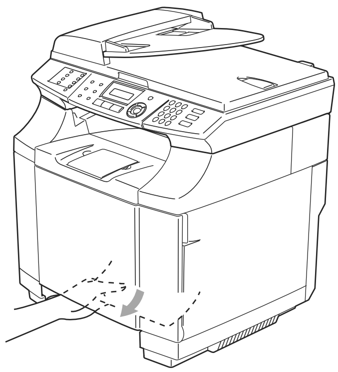
「キロクシガツマッテイマス　A1」または「キロクシガツマッテイマス　A2」と表示されたとき

1　**記録紙トレイを完全に引き出す**

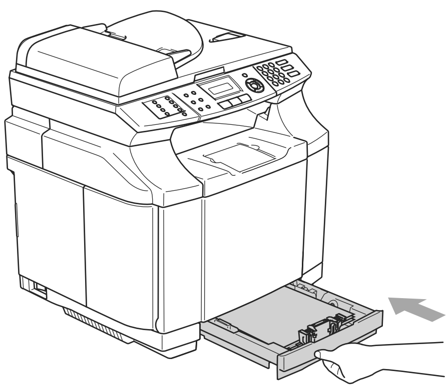


2　**つまった記録紙を取り除く**

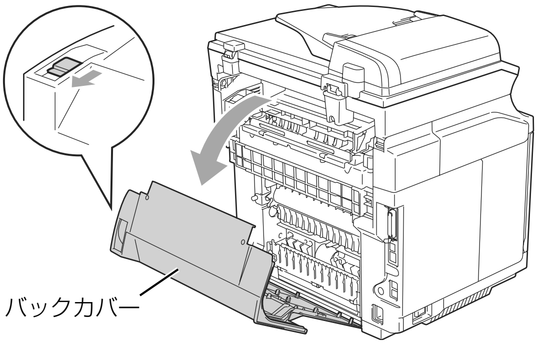
紙が破れないように、ゆっくりと図のように引き出してください。



3　**記録紙トレイを本機に戻す**

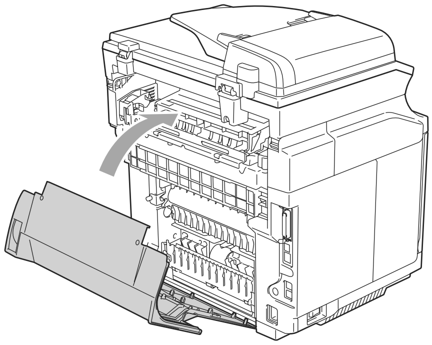


4 バックカバーを開く



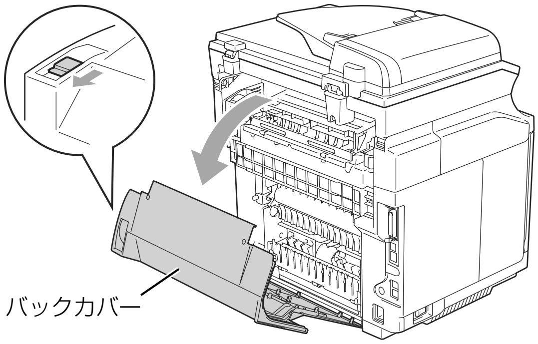
5 つまった記録紙があれば取り除く

6 バックカバーを閉じる



「キロクシガツマッテイマス　B」と表示されたとき

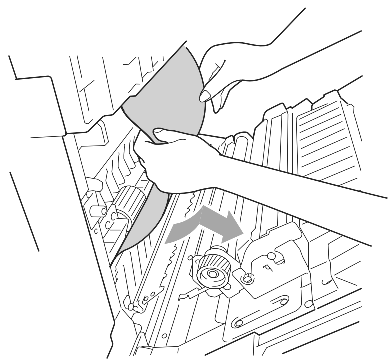
1 バックカバーを開く



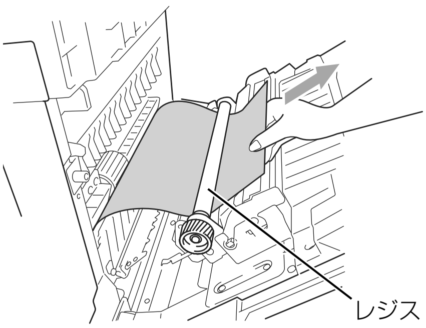
2 つまった記録紙を取り除く

紙が破れないように、ゆっくりと図のように引き出してください。

記録紙トレイから給紙された直前でつまっているとき



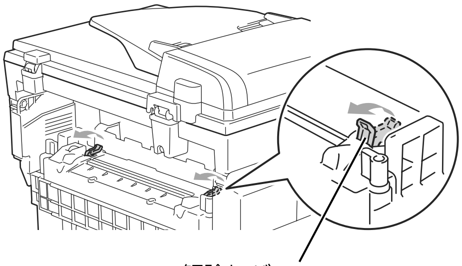
レジストレーションローラーでつまっているとき



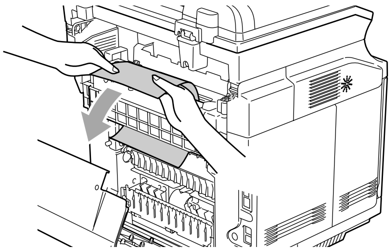
☞ 次ページへ続く

定着器でつまっているとき

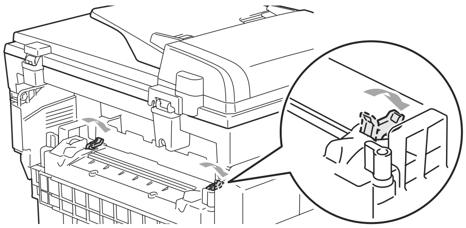
① 定着器の解除レバーを起こす



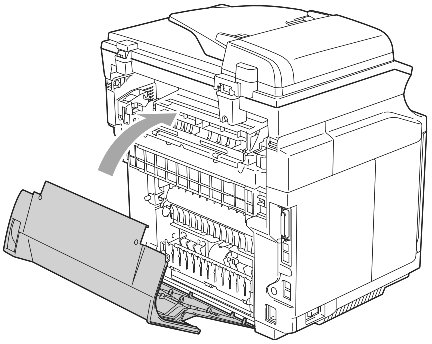
② 両手でゆっくりと記録紙を引き出す



③ 解除レバーを元に戻す

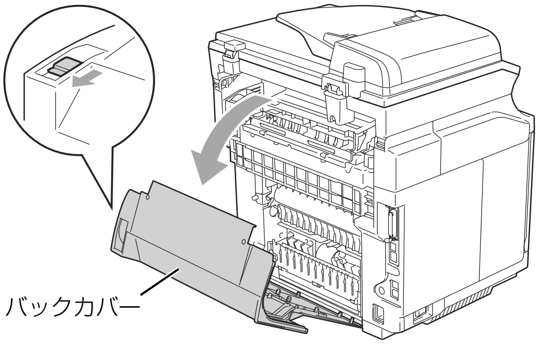


3 バックカバーを閉じる

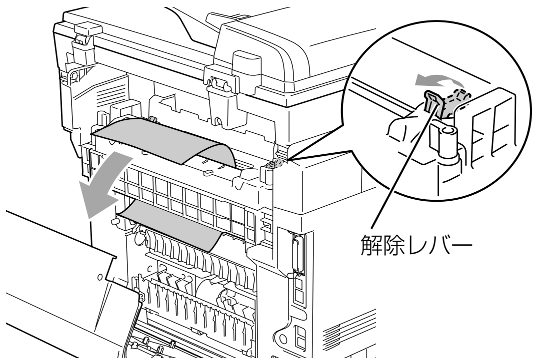


「キロクシガツマッテイマス　C」と表示されたとき

1 バックカバーを開く

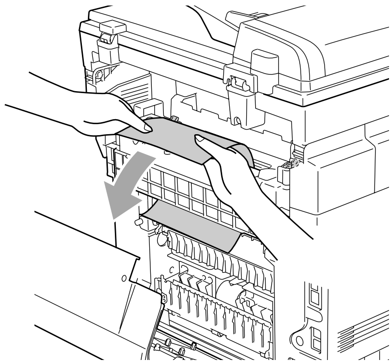


2 定着器の解除レバーを起こす

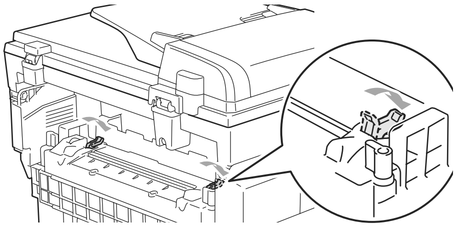


3 つまった記録紙を取り除く

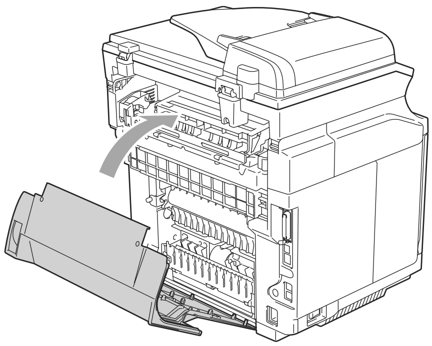
両手でゆっくりと図のように引き出してください。



4 解除レバーを元に戻す



5 バックカバーを閉じる



《日常のお手入れ》

定期メンテナンス

下記の部品を定期的（20,000枚印刷または12ヶ月ごと）に清掃することをお勧めします。

注意

トナーが飛び散って手や衣服が汚れた場合は、すぐに拭き取るか冷たい水で洗い流してください。

- 記録紙トレイと記録紙ガイド
- レジストレーションローラー
- 給紙ローラー
- 転写ローラーユニット
- 転写ローラーガイド
- 排紙ローラー
- レーザーガラス

本体外部を清掃する

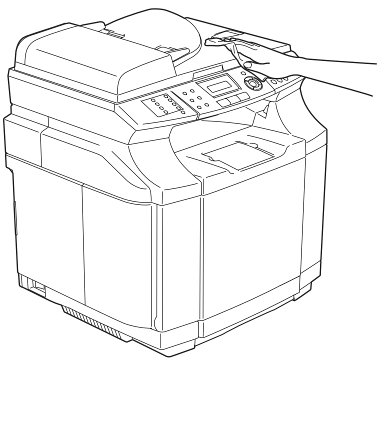
注意

■中性洗剤を使ってください。シンナーやベンジンを浸した布で拭かないでください。

■アンモニアの成分が含んでいる洗剤は使わないでください。

■操作パネルはアルコールを浸した布で拭かないでください。操作パネルにひびが入ったり、パネル上の印刷が消えたりすることがあります。

本機は柔らかい布で軽く拭いてください。



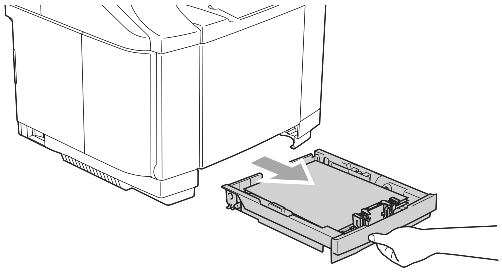
記録紙トレイを清掃する

注意

■中性洗剤を使ってください。シンナーやベンジンを浸した布で拭かないでください。

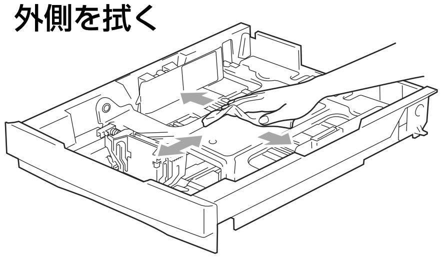
■アンモニアの成分が含んでいる洗剤は使わないでください。

1 記録紙トレイを完全に引き出す

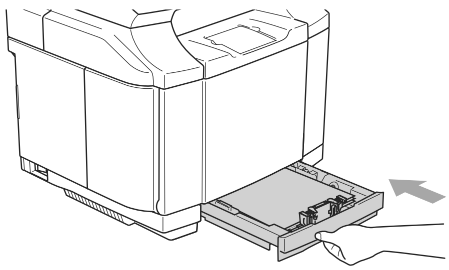


2 記録紙を取り出す

3 柔らかい布で記録紙トレイの内側と外側を拭く



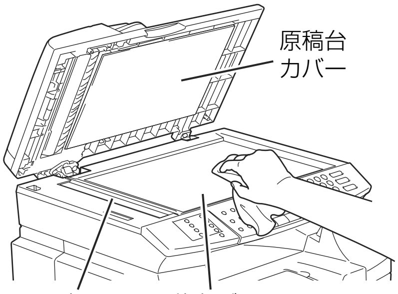
4 記録紙をセットして、記録紙トレイを本機に戻す



原稿台ガラスを清掃する

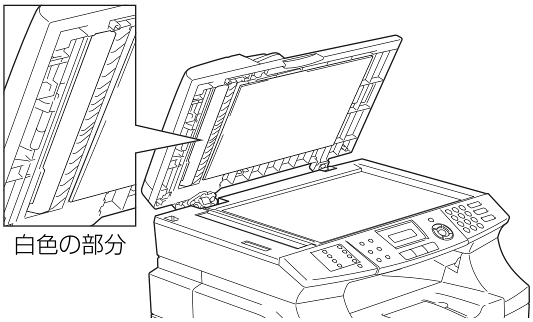
いつもきれいな画質を得るためにスキャナの清掃を行ってください。スキャナが汚れていると、そのまま画質の汚れとなって送信やコピーがされます。
送信やコピーで黒っぽくなったり、細い線が入るときには、スキャナを清掃してください。

1 原稿台カバーを開く



2 柔らかい布にOAクリーナーを浸して、以下の部分をきれいに拭く

- 原稿台ガラス
- 読み取り部
- 原稿台カバー（白色の部分　２箇所）



補足

無水エタノール、OAクリーナー、メガネクリーナー、カセット用ヘッドクリーナー、CD用レンズクリーナーなどをご使用ください。

3 原稿台カバーを閉じる

注意

操作パネルはアルコールを浸した布で拭かないでください。操作パネル上の印刷が消えることがあります。

本体内部を清掃する

⚠ 注 意

- 本体カバーを開閉するときは、手をはさまないように注意してください。

注意

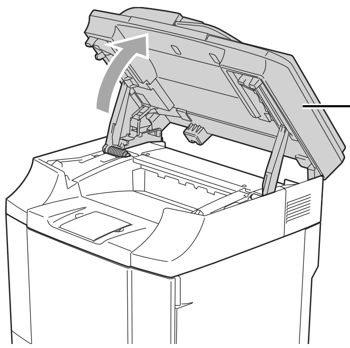
■内部のお手入れをするときは、必ず電源スイッチをOFFにしてから行ってください。

■トナーの粉末を吸い込まないようにしてください。

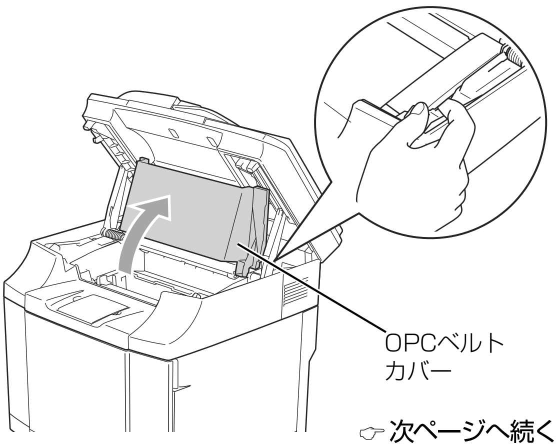
■レーザーガラスはアルコールを浸した布で拭かないでください。

1 本体カバーを開く

カチッと音がするまで、本体カバーを開いてください。



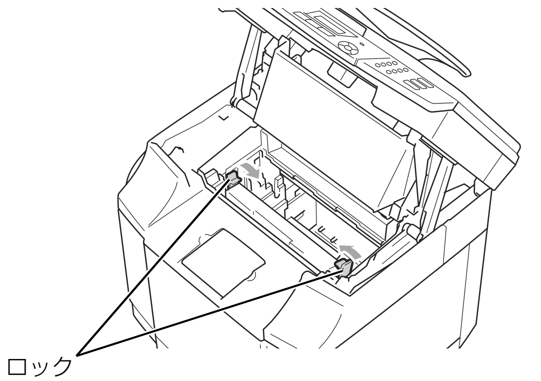
2 OPCベルトカバーを開く



☞次ページへ続く

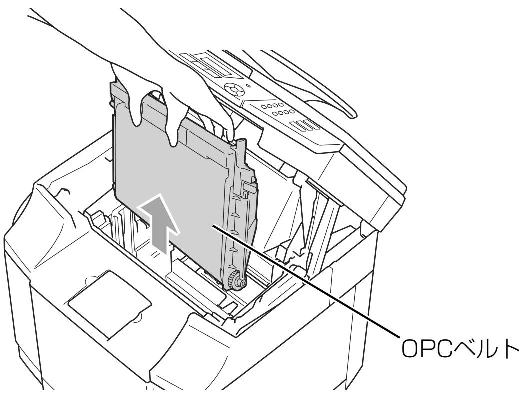
3 OPCベルトのロックを解除する

カチッと音がするまで内側に押してください。



4 OPCベルトを本機から取り出す

取り出したOPCベルトを平らな場所に置いて、ベルト部分（緑色）に光が当たらないように黒い布などで覆ってください。

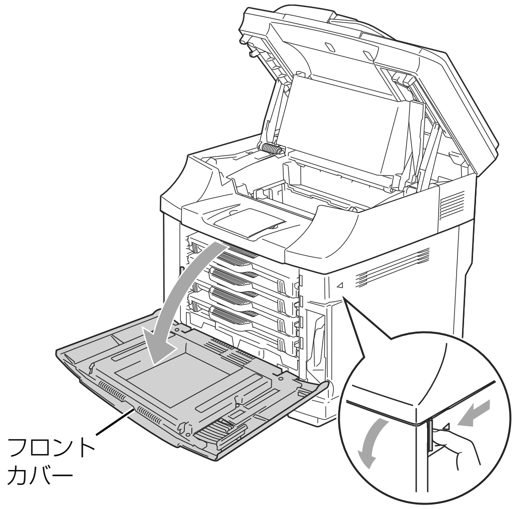


注意

■OPCベルトのベルト部分（緑色）は、手で触らないでください。

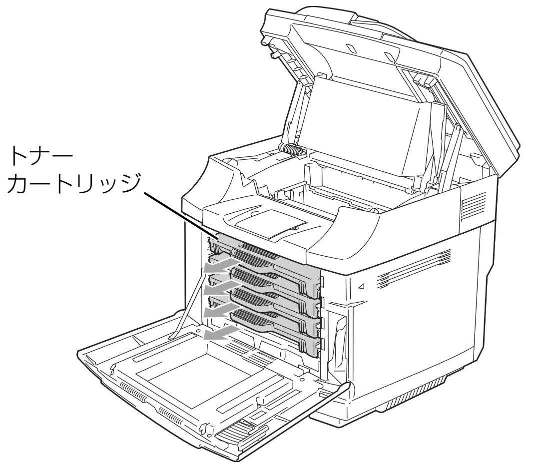
■OPCベルトのベルト部分（緑色）は、過度の直射日光や室内光（800ルクス以上の光で2分以上）にさらさないでください。ベルトが損傷する恐れがあります。

5 フロントカバーを開く

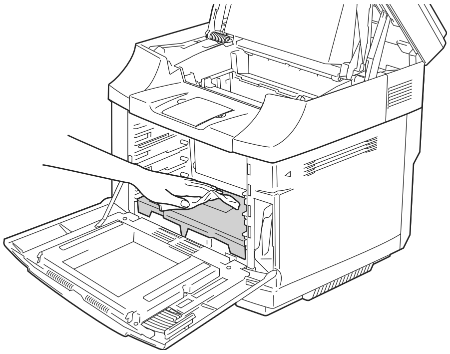


6 トナーカートリッジを引き出す

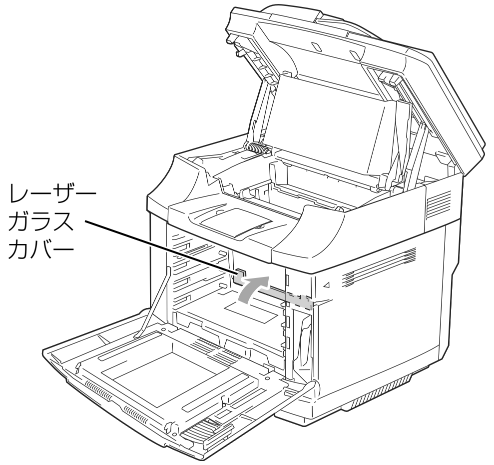
本機からすべてのトナーカートリッジを取り外してください。取り外したトナーカートリッジは、平らな場所で新聞紙など汚れてもよい紙の上に置いてください。



7　内部を柔らかい乾いた布で拭く

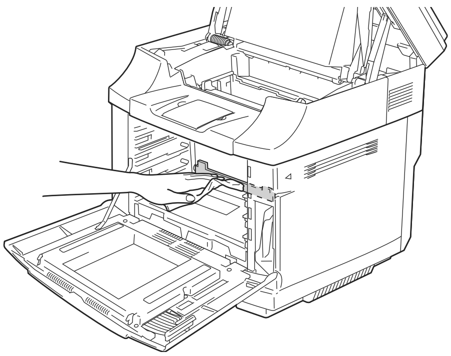


8　レーザーガラスカバーを開ける

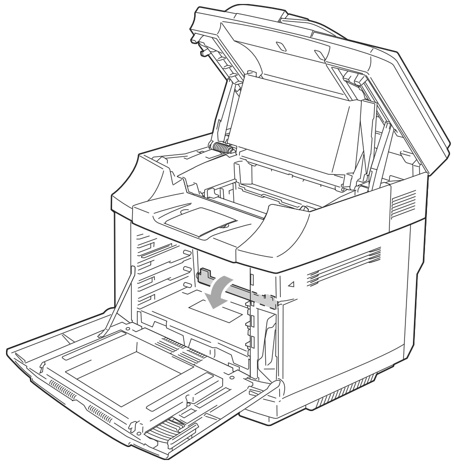


9　柔らかい乾いた布でレーザーガラスをきれいに拭く

レーザーガラスが汚れると、薄い印刷になります。

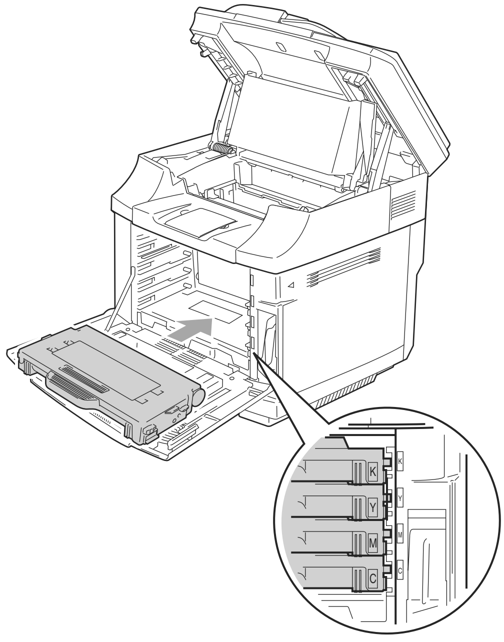


10　レーザーガラスカバーを閉じる



11　トナーカートリッジを本機に取り付ける

トナーカートリッジと本機のカラーラベルを確認して、ガイドレールに沿って同じ位置に差し込みます。軽く止まるところまで差し込んでください。

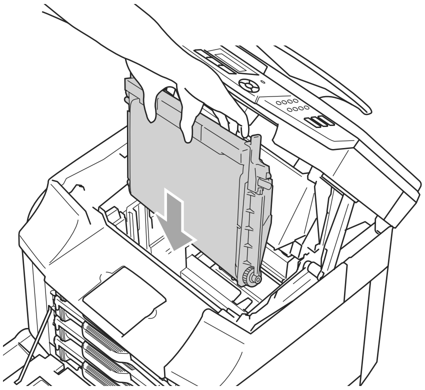


注意

トナーカートリッジを強く押し込まないでください。

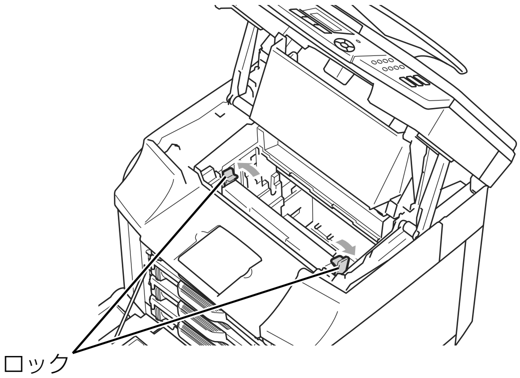
☞次ページへ続く

12 OPCベルトを本機に取り付ける

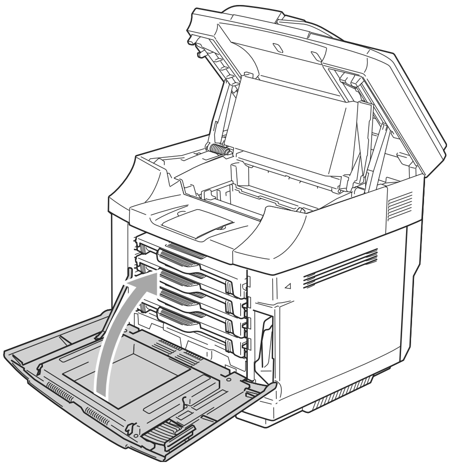


13 OPCベルトをロックする

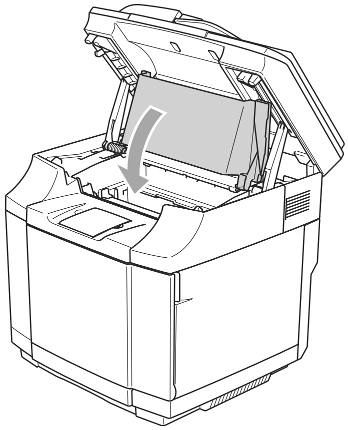
カチッと音がするまで外側に押してください。



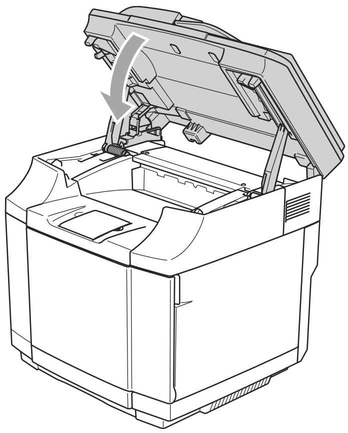
14 フロントカバーを閉じる



15 OPCベルトカバーを閉じる

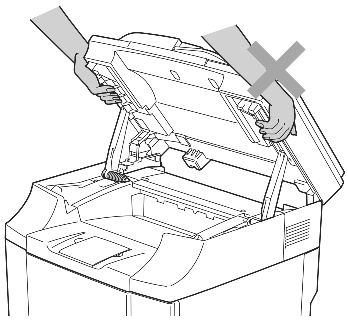


16 本体カバーを閉じる



注意

本体カバーを閉めるときに、図に示す場所を持たないでください。指をはさむ恐れがあります。



記録紙を送るローラーを清掃する

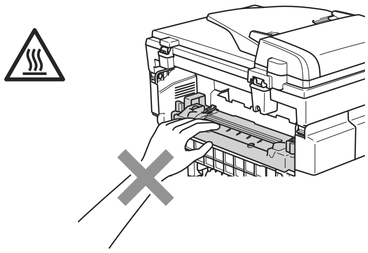
紙づまりを防ぐために清掃してください。

注意

■内部のお手入れをするときは、必ず電源をOFFにしてから行ってください。

■トナーの粉末を吸い込まないようにしてください。

■本機の使用直後は、定着器とその周りが非常に高温になっています。本機のバックカバーを開けたときは、下図のグレーの部分には絶対に触れないでください。



■転写ローラーは拭かないでください。

■ローラーはアルコールを浸した布で拭かないでください。

1 電源スイッチをOFFにする

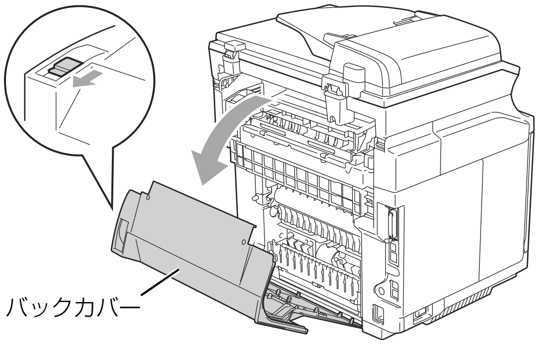
2 電話機コードを取り外す

本機の背面と壁側の電話機コンセント両方とも外してください。

3 電源コードをコンセントから抜いて、本機から電源コードを取り外す

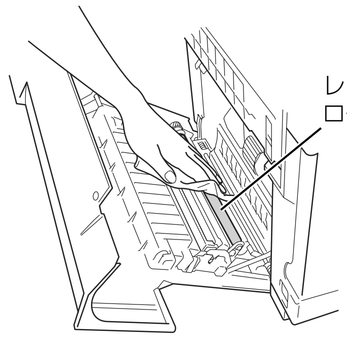
4 接続されているケーブルを取り外す

5 バックカバーを開く



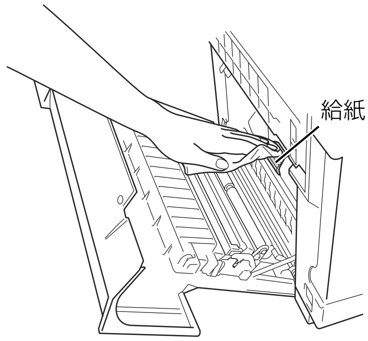
6 レジストレーションローラーを拭く

柔らかい乾いた布できれいに拭いてください。



7 給紙ローラーを拭く

柔らかい乾いた布できれいに拭いてください。

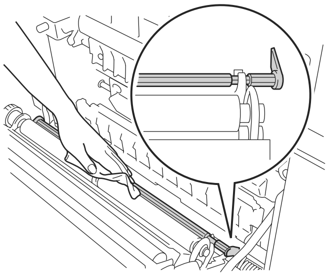


☞次ページへ続く

注意

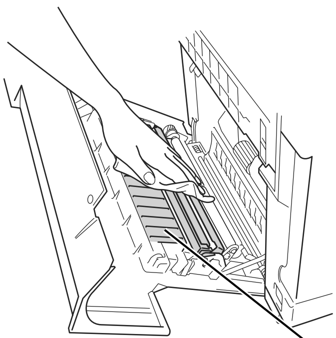
■レジストレーションローラー・給紙ローラーには無理な力をかけず、軽く汚れを拭く程度にしてください。

■レジストレーションローラー・給紙ローラーを清掃するときに、図に示す部品を傷つけないようご注意ください。

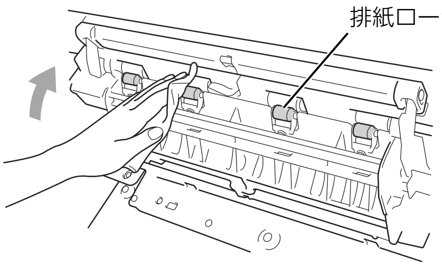


8 転写ローラーユニットと転写ローラーガイドを拭く

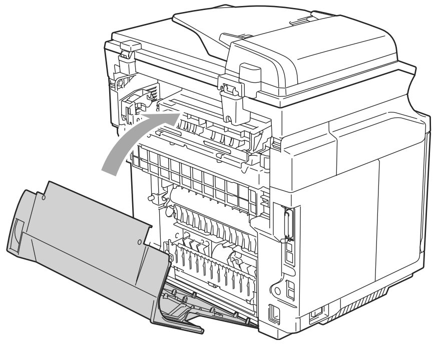
柔らかい乾いた布できれいに拭いてください。



9 排紙ローラーを拭く



10 バックカバーを閉じる



11 接続していたケーブルを取り付ける

12 電源スイッチがOFFになっていることを確認し、電源コードを本機に接続する

13 電話機コード取り付けて、電源プラグをコンセントに差し込み電源スイッチをONにする

トナーカートリッジの交換

トナーカートリッジ交換のメッセージ

本機は４色（シアン・マゼンタ・イエロー・ブラック）のトナーカートリッジを使用しています。
各色のトナーカートリッジの残量を検知し、残量が少なくなると液晶ディスプレイに表示して、お知らせします。
それぞれのトナーが残り少なくなると、液晶ディスプレイに次のメッセージが表示されます。

ﾄﾅｰ ﾉｺﾘｽｺｼ X

※ Xにはトナーカートリッジの色の名前が表示されます。

さらに使い続けると液晶ディスプレイに次のメッセージが表示されます。

ﾄﾅｰｷﾞﾚ X

※ Xにはトナーカートリッジの色の名前が表示されます。

この表示になるとトナーカートリッジを交換しないと印刷やコピーができなくなります。表示されている色を新しいトナーカートリッジに交換してください。

補足

- トナーが残り少なくなると文字のカスレ等が発生しやすくなります。「ﾄﾅｰ ﾉｺﾘｽｺｼ X」のメッセージが表示されてから約500ページ（シアン・マゼンタ・イエロー）、約300ページ（ブラック）を印刷した頃が交換の目安です。（A4サイズ／印刷密度５％の場合）
- トナーカートリッジを交換するタイミングに合わせて、本機も清掃することをお勧めします。P.130 を参照してください。

注意

- ■トナーカートリッジは、本機に取り付ける直前に開封してください。トナーカートリッジを開封したまま長期間放置すると、トナーの寿命が短くなります。
- ■トナーの粉末を吸い込まないようにしてください。
- ■トナーカートリッジは、印刷品質を保証するように特別に調整されたリコー純正品をご使用ください。純正品以外のトナーカートリッジやリサイクルトナーを使用した場合、本機の保証対象外となりますのでご注意ください。
- ■使用済みのトナーカートリッジを廃棄するときは、しっかりと封をして、トナーの粉末がカートリッジからこぼれないようにしてください。また、地域の規則に従って廃棄してください。
- ■使用済みのトナーカートリッジにはトナーの粉末が残っている場合があるので、取り扱いには注意してください。
- ■トナーが飛び散って手や衣服が汚れた場合は、すぐに拭き取るか冷たい水で洗い流してください。

トナーカートリッジを交換する

⚠ 警 告

- トナー（使用済みトナーを含む）または、トナーの入った容器を火中に投入しないでください。トナー粉がはねて、やけどの原因になります。

⚠ 警 告

- 使用済みのトナーは、トナー粉が飛び散らないように袋に入れて保管してください。
- 保管したトナーは、販売店またはサービス実施店にお渡しいただき、当社の回収・リサイクル活動にご協力ください。なお、お客様で処理される場合は、一般のプラスチック廃棄物と同様に処理してください。

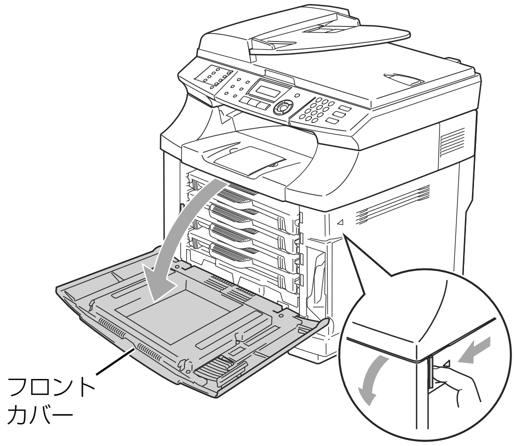
⚠ 注 意

- トナー（使用済みトナーを含む）または、トナーの入った容器は、子供の手に触れないようにしてください。

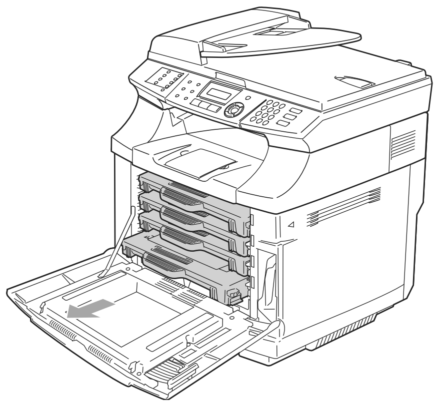
⚠ 注 意

- 前カバーを開くときは、給紙トレイが引き出されていないことを確認してください。手をはさんでけがをすることがあります。

1 フロントカバーを開く

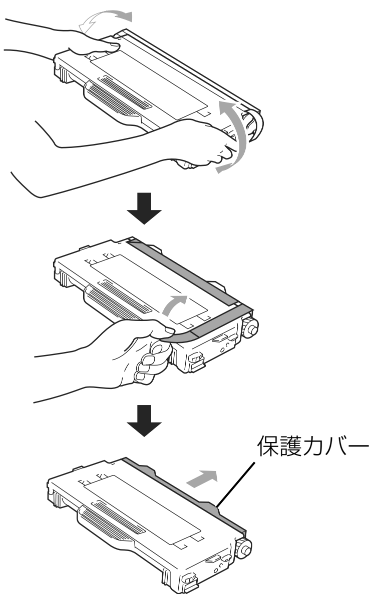


2 トナーがなくなったトナーカートリッジを引き出す



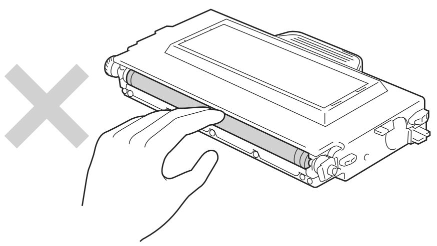
3 新しいトナーカートリッジを開封して取り出す

4 トナーカートリッジを左右に３、４回ゆっくりと振り、保護カバーを固定しているテープを取り外してオレンジ色の保護カバーを取り外す



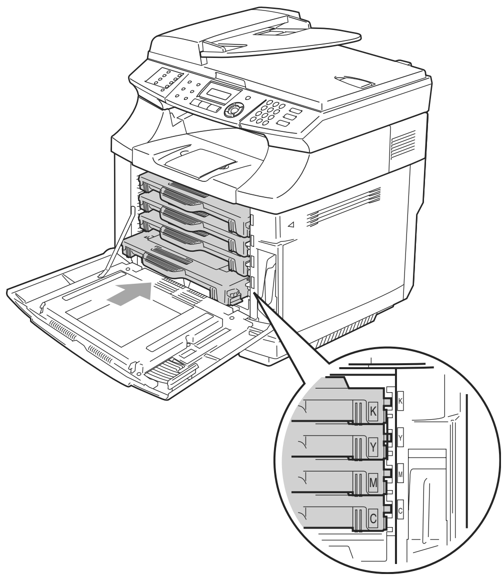
注意

保護カバーを取り除いたあとに、下図のグレーの部分には触れないでください。



5 新しいトナーカートリッジを取り付ける

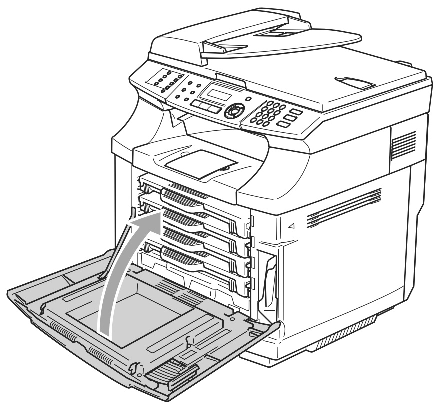
トナーカートリッジと本機のカラーラベルを確認して、ガイドレールに沿って同じ位置に差し込みます。軽く止まるところまで差し込んでください。



注意

トナーカートリッジを強く押し込まないでください。

6 フロントカバーを閉じる



《消耗品の交換》

廃トナーパックの交換

廃トナーパック交換のメッセージ

本機は廃トナーの量を検知し、廃トナーパックにトナーを入れることができる量が少なくなると液晶ディスプレイに次のメッセージが表示されます。

ﾊｲﾄﾅｰﾊﾟｯｸ　ｺｳｶﾝ

さらに少なくなると次のメッセージが表示されます。

ﾊｲﾄﾅｰﾊﾟｯｸ　ｲｯﾊﾟｲ

この表示になると廃トナーパックを交換しないと印刷やコピーができなくなります。新しい廃トナーパックに交換してください。

⚠ 警 告

- トナー（使用済みトナーを含む）または、トナーの入った容器を火中に投入しないでください。トナー粉がはねて、やけどの原因になります。

⚠ 警 告

- 使用済みのトナーは、トナー粉が飛び散らないように袋に入れて保管してください。
- 保管したトナーは、販売店またはサービス実施店にお渡しいただき、当社の回収・リサイクル活動にご協力ください。なお、お客様で処理される場合は、一般のプラスチック廃棄物と同様に処理してください。

⚠ 注 意

- トナー（使用済みトナーを含む）または、トナーの入った容器は、子供の手に触れないようにしてください。

注 意

■トナーの粉末を吸い込まないよう注意してください。

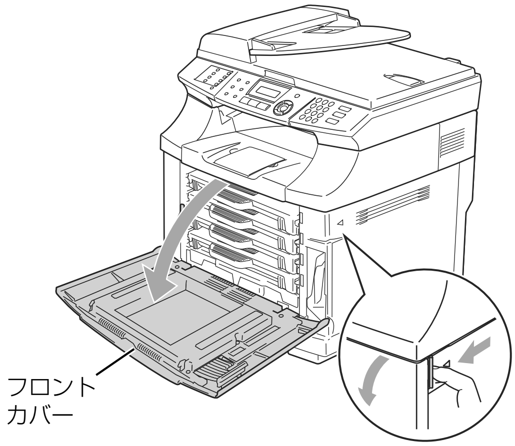
■使用済みの廃トナーパックを廃棄するときは、しっかりと封をして、トナーの粉末が廃トナーパックからこぼれないようにしてください。また、地域の規則に従って廃棄してください。

廃トナーパックを交換する

⚠ 注 意

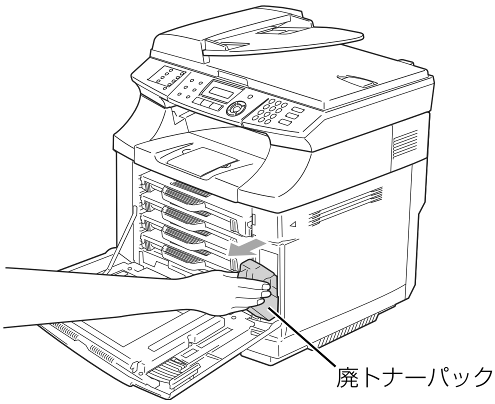
- 前カバーを開くときは、給紙トレイが引き出されていないことを確認してください。手をはさんでけがをすることがあります。

1 フロントカバーを開く

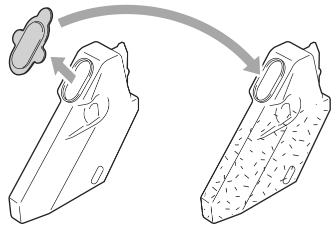


2 廃トナーパックを取り出す

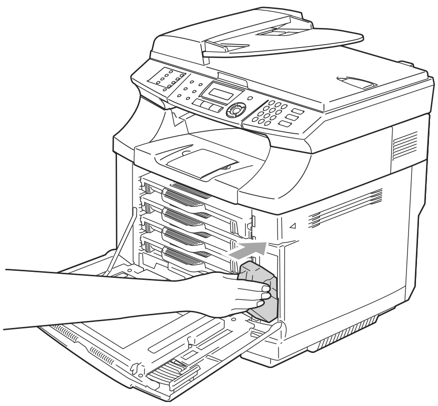
こぼれないように、ゆっくりと取り出します。



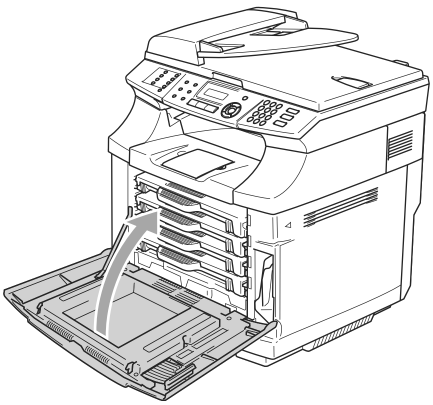
3 新しい廃トナーパックのキャップを取り、使用済みの廃トナーパックに取りつける



4 新しい廃トナーパックを本機に取りつける



5 フロントカバーを閉じる



《消耗品の交換》

OPCベルトの交換

OPCベルト交換のメッセージ

OPCベルトの交換時期になると、次のメッセージが表示されます。
新しいOPCベルトと交換してください。

ｵPC ﾍﾞﾙﾄ ｺｳｶﾝ

注意

■OPCベルトのベルト部分（緑色）には触れないでください。

■OPCベルトを過度の直射日光や室内光（800ルクス以上の光で2分以上）にさらさないでください。ベルトが損傷する恐れがあります。

■OPCベルトは、リコー純正品をご使用ください。純正品以外の OPC ベルトを使用した結果、起こった不具合については保証対象外となりますのでご注意ください。

■使用済みのOPCベルトを廃棄するときは、地域の規則に従って廃棄してください。

補足

● 液晶ディスプレイに「OPC ﾍﾞﾙﾄ ｺｳｶﾝ」と表示されていても、しばらくの間は交換せずに印刷することができます。しかし、印刷品質が目立って低下したときはOPCベルトを交換することをお勧めします。

●「OPC ﾍﾞﾙﾄ ｺｳｶﾝ」と表示されていなくても、印刷品質が目立って低下したときはOPCベルトを交換することをお勧めします。

OPCベルトを交換する

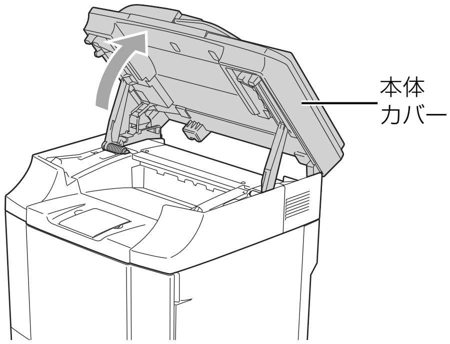
⚠注 意

• 本体カバーを開閉するときは、手をはさまないように注意してください。

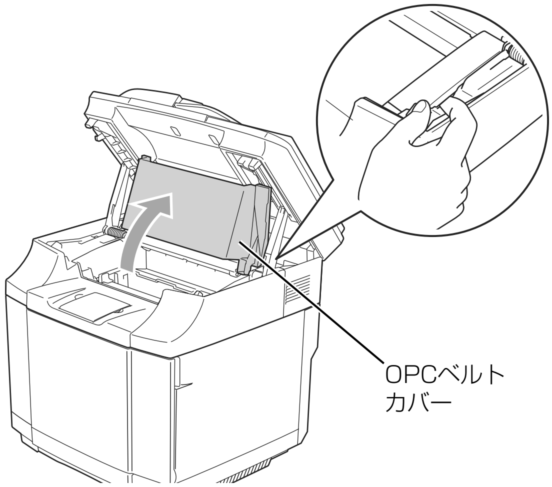
1 本機の電源スイッチをOFFにする

2 本体カバーを開く

カチッと音がするまで、本体カバーを開いてください。

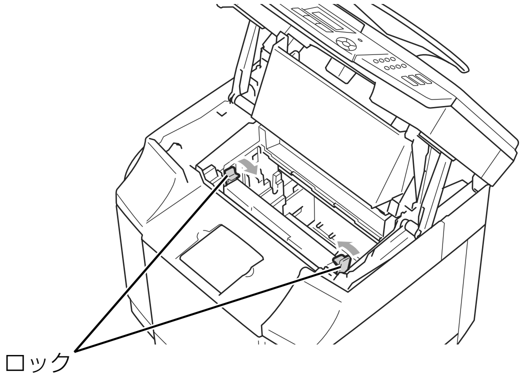


3 OPCベルトカバーを開く

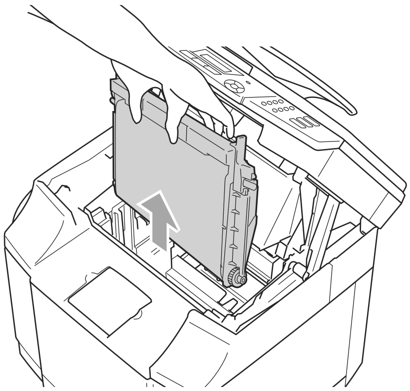


4 OPCベルトのロックを解除する

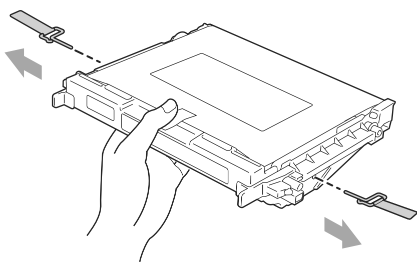
カチッと音がするまで内側に押してください。



5 OPCベルトを本機から取り出す

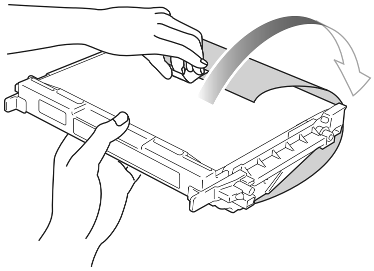


6 新しいOPCベルトを開封し、左右にあるオレンジ色のピンを引き抜く



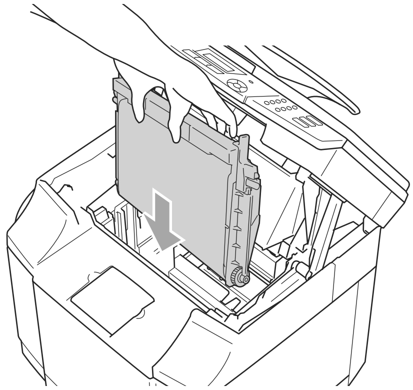
7 OPCベルトの保護シートを取り外す

このとき表面の緑色の部分に触れないよう注意してください。



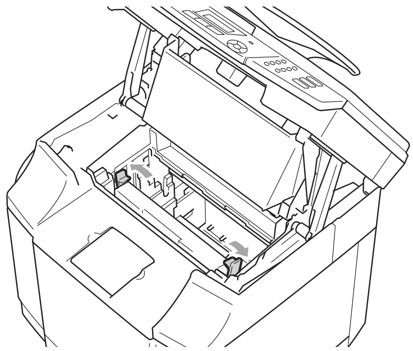
8 OPCベルトを本機に取り付ける

平らになっている部分を手前にして、差し込みます。



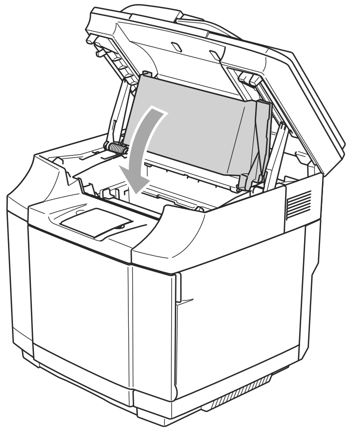
9 OPCベルトをロックする

カチッと音がするまで外側に押してください。

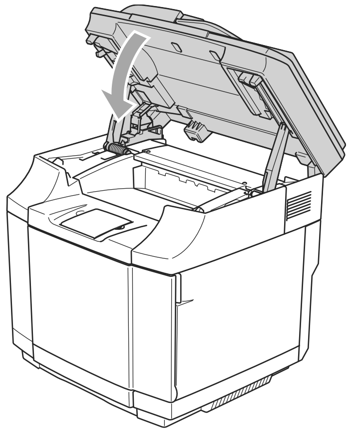


☞次ページへ続く

10 OPCベルトカバーを閉じる

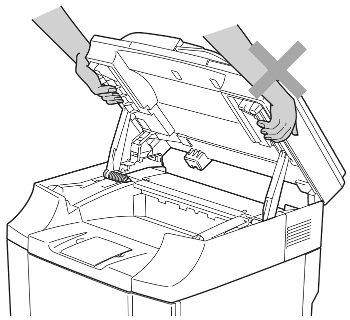


11 本体カバーを閉じる



注意

本体カバーを閉めるときに、図に示す場所を持たないでください。指をはさむ恐れがあります。



12 本機の電源スイッチをONにする

OPC ベルトのカウンターをリセットする

以下のメニューは消耗品の交換時のみ有効です。

1 Menu Set 7 4 を押す

2 ▲▼で「OPC　ベルト」を選択し、Menu Set を押す

```
ショウモウヒン コウカン
OPC ベ゛ルト
```

3 1 を押す

液晶ディスプレイに「ウケツケマシタ」と表示されます。

製品情報

シリアル番号を確認する

本機のシリアル番号を確認します。

1 Menu Set　7　1 を押す

2 シリアル番号を確認して 停止/終了 を押す

印刷枚数を確認する

本機は印刷した枚数をカウントし、表示する機能を持っています。

1 Menu Set　7　2 を押す

「ゴウケイ」「コピー」「プリンタ」「ファクス/リスト」のカウンタ値が表示されます。

```
ｾｲﾋﾝ ｼﾞｮｳﾎｳ
2.ｲﾝｻﾂﾏｲｽｳ ﾋｮｳｼﾞ
```

2 ▲▼で表示する項目を選択する

```
ｲﾝｻﾂﾏｲｽｳ ﾋｮｳｼﾞ
ｺﾞｳｹｲ      :XXXXXX
```

```
ｲﾝｻﾂﾏｲｽｳ ﾋｮｳｼﾞ
ｺﾋﾟｰ       :XXXXXX
```

```
ｲﾝｻﾂﾏｲｽｳ ﾋｮｳｼﾞ
ﾌﾟﾘﾝﾀ      :XXXXXX
```

```
ｲﾝｻﾂﾏｲｽｳ ﾋｮｳｼﾞ
ﾌｧｸｽ/ﾘｽﾄ   :XXXXXX
```

3 印刷枚数を確認して 停止/終了 を押す

消耗品の寿命を確認する

OPCベルトの寿命を確認する

OPCベルトの寿命は、以下の操作で確認できます。

1 Menu Set 7 3 1 を押す

液晶ディスプレイに２秒間、OPCベルトの寿命が表示されます。

```
1.OPCﾍﾞﾙﾄ ｼﾞｭﾐｮｳ
ﾉｺﾘ: XX%
```

2 OPCベルトの寿命を確認して 停止/終了 を押す

定着器の寿命を確認する

1 Menu Set 7 3 2 を押す

液晶ディスプレイに２秒間、定着器の寿命が表示されます。

```
2.ﾋｰﾀｰ ｼﾞｭﾐｮｳ
ﾉｺﾘ: XX%
```

2 定着器の寿命を確認して 停止/終了 を押す

120Kキットの寿命を確認する

1 Menu Set 7 3 3 を押す

液晶ディスプレイに２秒間、120Kキットの寿命が表示されます。

```
3.120Kｷｯﾄ ｼﾞｭﾐｮｳ
ﾉｺﾘ: XX%
```

2 120Kキットの寿命を確認して 停止/終了 を押す

PFキット2の寿命を確認する（記録紙トレイ2がセットされているとき）

1 Menu Set 7 3 4 を押す

液晶ディスプレイに２秒間、PFキット2の寿命が表示されます。

```
4.PF ｷｯﾄ2 ｼﾞｭﾐｮｳ
ﾉｺﾘ: XX%
```

2 PFキット2の寿命を確認して 停止/終了 を押す

補足

表示される寿命はあくまで目安です。

《オプション》

記録紙トレイ2（500枚増設トレイユニット　タイプ2500）

記録紙トレイ2は最大530枚（80g/m^2）の記録紙をセットすることが出来ます。

記録紙トレイ2を取り付ける

⚠ 注 意

- 本機は質量が約 34.6kg あります。持ち上げるときは、必ず 2 人以上で作業するようにしてください。
- 本機を持ち上げるときは、底面の 4 隅にある持ち手を持ってください。
- 記録紙トレイ 2 の上に本機を下ろすときは、指などを挟まないように注意してください。
- 記録紙トレイ 2 を増設したまま本機を移動させないでください。

注意

■本機を動かしたり持ち上げたりするときは、水平な状態に保ってください。また、トナーが漏れないよう、トナーカートリッジと廃トナーパックはあらかじめ取り外してください。

■記録紙トレイ 2 には、OHP シート、ハクリ紙、封筒、坪量 105g/m^2 を超える厚い紙はセットしないでください。紙づまりの原因になります。

1 本機の電源スイッチをOFFにする

2 電話機コードを取り外す

本機の背面と壁側の電話機コンセント両方とも外してください。

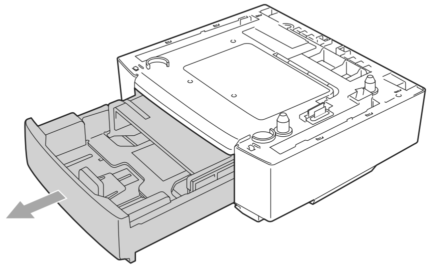
3 電源コードをコンセントから抜いて、本機から電源コードを取り外す

4 接続されているケーブルを取り外す

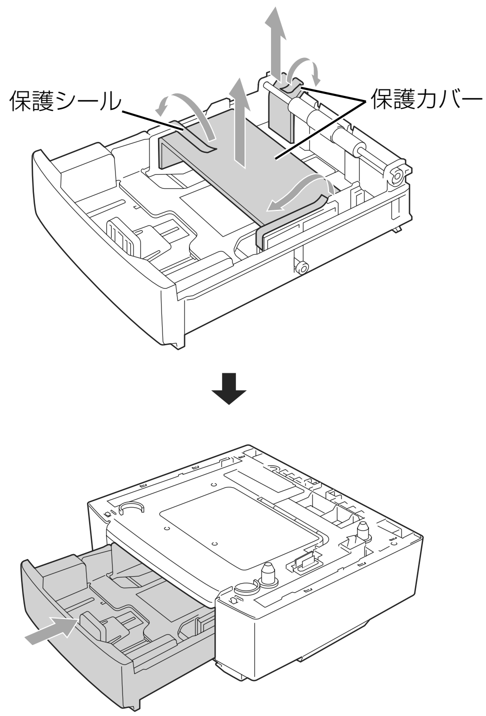
5 記録紙トレイ2を開封する

平坦な場所に置いてください。

6 記録紙トレイを完全に引き出す



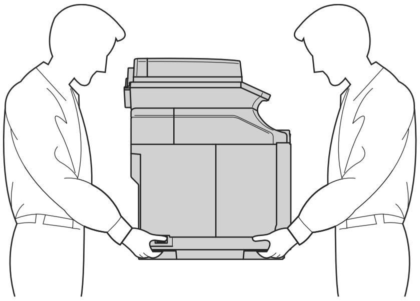
7 保護シールを剥がして保護カバーを取り外し、記録紙トレイを戻す

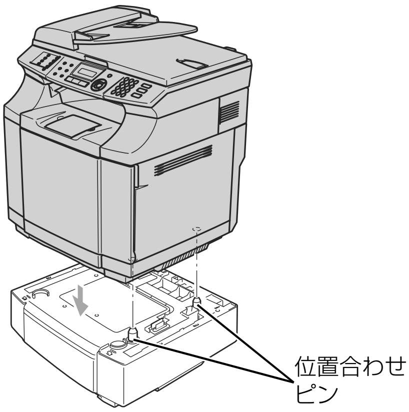


☞ 次ページへ続く

8 記録紙トレイ2を設置する

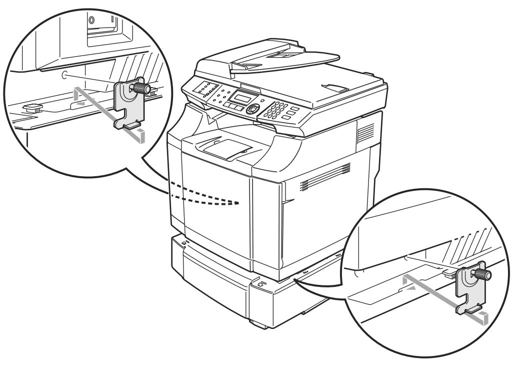
２人以上で４隅にある取っ手を使って持ち上げ、記録紙トレイ2の上面にある位置合わせのピンに合わせてゆっくりと下ろします。





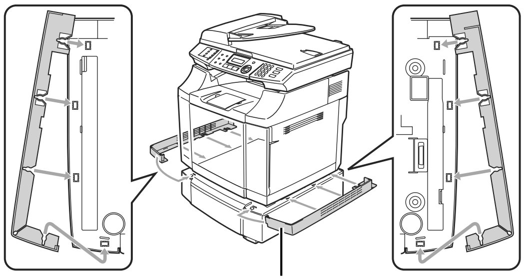
9 本機と記録紙トレイ2を固定する

固定金具を使って固定します。固定する箇所は、正面に向かって右側手前と左側奥の2箇所です。



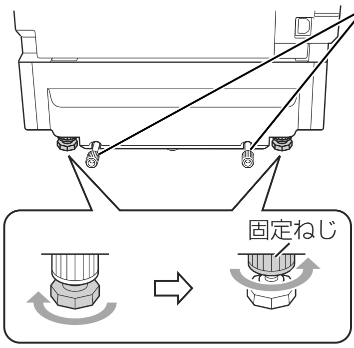
10 サイドカバーを取り付ける

側面の3箇所にあるツメとサイドカバーのツメを合わせて、背面側から差し込みます。
反対側も同じように、背面側から差し込みます。



11 本機が水平になるよう調整する

本機が水平になるよう軸脚を調整したあと、上の固定ねじで軸脚を固定してください。



補足

背面にある2本の棒は転倒防止金具です。取り外さないでください。

12 接続していたケーブルを取り付ける

13 電源スイッチがOFFになっていることを確認し、電源コードを本機に接続する

14 電話機コードを取り付けて、電源プラグをコンセントに差し込み電源スイッチをONにする

《オプション》

メモリーを増設する

メモリー容量を増やすことが出来ます。本機には64MBの標準メモリーと追加することが出来るスロットがあり、最大で576MBまで容量を増やすことが出来ます。増設することによって、本機の性能が向上します。

リコー純正メモリーボード

メモリー容量	製品名
64MB	SDRAM モジュールⅢ　64MB
128MB	SDRAM モジュールⅢ　128MB
256MB	SDRAM モジュールⅢ　256MB

512MBのメモリーボードを増設する場合は、下記の仕様のものを使用してください。

タイプ	144ピンおよび64ビットの出力
CASレイテンシイ	2または3
クロック周波数	100MHz以上
DRAMタイプ	SDRAM

メモリーボードを取り付ける

1 電源スイッチをOFFにする

2 電話機コードを取り外す

本機の背面と壁側の電話機コンセント両方とも外してください。

3 電源コードをコンセントから抜いて、本機から電源コードを取り外す

4 接続されているケーブルを取り外す

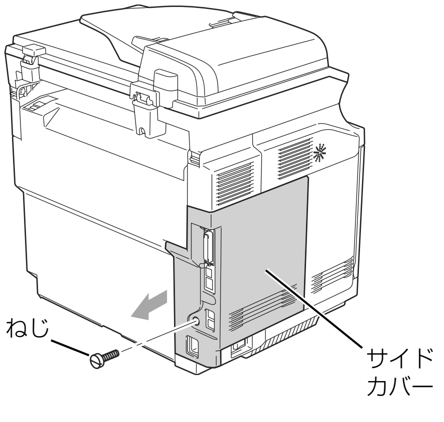
⚠注 意

- メモリーボードの取り付け・取り外しのときは、電源スイッチが OFF になっていること、コンセントから電源コードが抜いてあることを確認してください。コンセントから電源コードを抜かずに取り付け・取り外しをすると感電する恐れがあります。

☞次ページへ続く

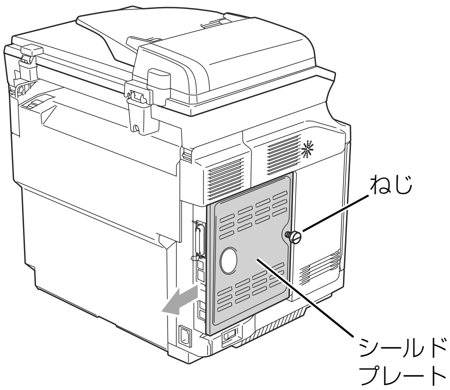
5 サイドカバーを取り外す

ねじをはずして、サイドカバーを背面方向にスライドします。



6 金属製のシールドプレートを取り外す

ねじをゆるめて、プレートを背面方向にスライドします。



7 メモリーボードの両端を持つ

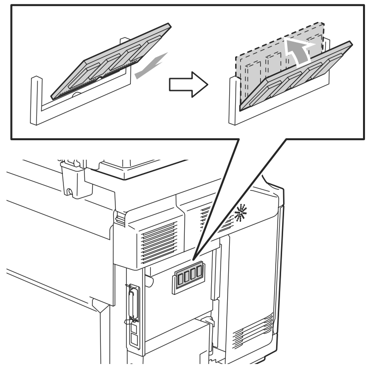
注意

■メモリーボードは、わずかな静電気でも内部が破損する恐れがありますので、必ず金属製の物に触れて静電気を除去してください。

■メモリーボードの表面には触れないようにしてください。

8 メモリーボードを取り付ける

両端をもったまま、メモリーボードの切り欠きをスロットの端子の凸部分を合わせるように差し込みます。
スロット両側にあるロックが開いていることを確認して、カチッと音がするまでメモリーボードを倒します。
スロット両側にあるロックがしっかりとはまっていることを確認してください。

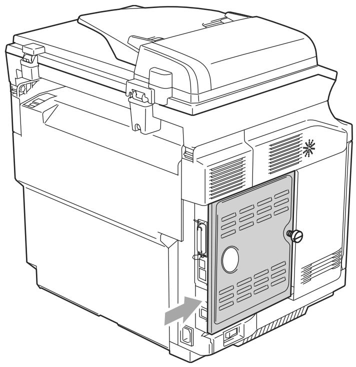


補足

メモリーボードを取り外すときは、押さえているロックを開いてメモリーボードの両端を持ってまっすぐに引き抜いてください。

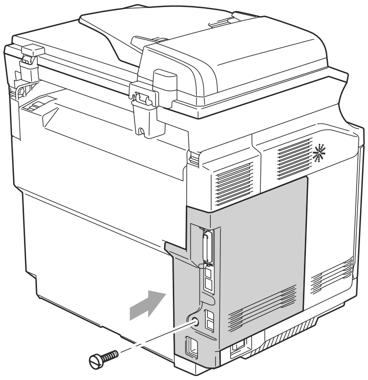
9 金属製のシールドプレートを取り付ける

シールドプレートをガイドの溝に合わせて背面方向から正面方向にスライドして、ねじを締めます。



10 サイドカバーを取り付ける

サイドカバーをガイドの溝に合わせて背面方向から正面方向にスライドして、ねじを取り付けます。



11 接続していたケーブルを取り付ける

12 電源スイッチがOFFになっていることを確認し、電源コードを本機に接続する

13 電話機コードを取り付けて、電源プラグをコンセントに差し込み電源スイッチをONにする

《困ったときには》

困ったときには

こんなときには

本機をご利用中に問題が発生したら、修理を依頼される前に以下の項目をチェックしていただき、対応する処置を行ってください。

それでも問題が解決しないときはサービス実施店へご連絡下さい。

エラーメッセージ

本機や電話回線に異常が発生した場合は、エラーメッセージとともに対処方法が液晶ディスプレイに表示されます。液晶ディスプレイに表示された対処方法や、下記の処置を行ってもエラーが解決しないときは、サービス実施店に連絡してください。

液晶ディスプレイ表示	原　因	処　置
120K ｷｯﾄ ｺｳｶﾝ	120Kキットの交換時期です。	サービス実施店にご連絡ください。
OPC ﾍﾞﾙﾄ ｺｳｶﾝ	OPCベルトの交換時期です。	OPCベルトを交換してください。
OPCﾍﾞﾙﾄ ｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ OPCﾍﾞﾙﾄ ｦ ﾄﾘﾂｹﾃｸﾀﾞｻｲ	OPC ベルトが正しく装着されていません。	OPCベルトを装着してください。また、OPC ベルトの下側にあるチャージングローラーのロックレバーがロックされていることを確認してください。
PF ｷｯﾄ2 ｺｳｶﾝ	PFキット２の交換時期です。	サービス実施店にご連絡ください。
ｲﾛ ﾎｾｲ ｲﾛﾎｾｲﾆ ｼｯﾊﾟｲｼﾏｼﾀ ｽﾄｯﾌﾟｷｰｦ ｵｼﾃ ﾔﾘﾅｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ	色補正中に何らかの異常が発生しました。	次の処置を試してください。それでも表示されるときはサービス実施店に連絡してください。 ①  を押してやり直してください。 ② 電源スイッチを OFF にし、もう一度ONにしてください。 ③ トナーカートリッジを交換してください。
ｲﾝｻﾂ ﾃﾞｷﾏｾﾝ ﾄﾘｱﾂｶｲｾﾂﾒｲｼｮ <ｴﾗｰﾒｯｾｰｼﾞ> ｦ ｺﾞﾗﾝｸﾀﾞｻｲ	本機に何らかの異常が発生しました。	電源スイッチを OFF にします。もう一度、電源スイッチをONにしてください。それでも表示されるときは、電源スイッチを数分間OFFのままにした後、もう一度、ONにしてください。 本機は電源スイッチを切ってもメモリーにあるファクスを 60 時間保持します。60時間を超える場合はファクスをパソコンに保存してください。
ｶｰﾄﾘｯｼﾞｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ ﾄﾅｰｶｰﾄﾘｯｼﾞ （ ｼｱﾝ ） ｦ ﾄﾘﾂｹﾃｸﾀﾞｻｲ	表示されている色のトナーカートリッジが正しく装着されていません。	表示されているトナーカートリッジを正しく装着してください。
ｶｰﾄﾘｯｼﾞｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ ﾄﾅｰｶｰﾄﾘｯｼﾞ （ ﾏｾﾞﾝﾀ ） ｦ ﾄﾘﾂｹﾃｸﾀﾞｻｲ		
ｶｰﾄﾘｯｼﾞｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ ﾄﾅｰｶｰﾄﾘｯｼﾞ （ ｲｴﾛｰ ） ｦ ﾄﾘﾂｹﾃｸﾀﾞｻｲ		
ｶｰﾄﾘｯｼﾞｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ ﾄﾅｰｶｰﾄﾘｯｼﾞ （ ﾌﾞﾗｯｸ ） ｦ ﾄﾘﾂｹﾃｸﾀﾞｻｲ		

液晶ディスプレイ表示	原　因	処　置
ｶﾊﾞｰｶﾞ ｱｲﾃｲﾏｽ OPCﾍﾞﾙﾄｶﾊﾞｰ(1) ｦ ﾄｼﾞﾃｸﾀﾞｻｲ	OPC ベルトカバーが完全に閉じていません。	OPC ベルトカバーを閉め直してください。
ｶﾊﾞｰｶﾞ ｱｲﾃｲﾏｽ ﾊﾞｯｸｶﾊﾞｰ(3) ｦ ﾄｼﾞﾃｸﾀﾞｻｲ	バックカバーが完全に閉じていません。	バックカバーを閉め直してください。
ｶﾊﾞｰｶﾞ ｱｲﾃｲﾏｽ ﾌﾛﾝﾄｶﾊﾞｰ(2) ｦ ﾄｼﾞﾃｸﾀﾞｻｲ	フロントカバーが完全に閉じていません。	フロントカバーを閉め直してください。
ｷﾛｸｼｶﾞﾂﾏｯﾃｲﾏｽ A1 ﾄﾚｲ#1ｦ ｱｹﾃ ﾂﾏｯﾀｶﾐｦ ﾄﾘﾉｿﾞｲﾃｸﾀﾞｻｲ	記録紙がつまっています。	P.124 を参照してください。
ｷﾛｸｼｶﾞﾂﾏｯﾃｲﾏｽ A2 ﾄﾚｲ#2ｦ ｱｹﾃ ﾂﾏｯﾀｶﾐ ｦﾄﾘﾉｿﾞｲﾃｸﾀﾞｻｲ		
ｷﾛｸｼｶﾞﾂﾏｯﾃｲﾏｽ B ﾊﾞｯｸｶﾊﾞｰｦ ｱｹﾃ ﾂﾏｯﾀｶﾐｦ ﾄﾘﾉｿﾞｲﾃｸﾀﾞｻｲ		
ｷﾛｸｼｶﾞﾂﾏｯﾃｲﾏｽ C ﾊﾞｯｸｶﾊﾞｰｦ ｱｹﾃ ﾂﾏｯﾀｶﾐｦ ﾄﾘﾉｿﾞｲﾃｸﾀﾞｻｲ		
ｷﾛｸｼｻｲｽﾞ ﾏﾁｶﾞｲ ﾀﾀﾞｼｲｻｲｽﾞﾉ ｷﾛｸｼｦｾｯﾄｼﾃｸﾀﾞｻｲ	記録紙サイズが間違っています。	正しいサイズの記録紙をセットしてしてください。
ｷﾛｸｼﾄﾚｲ #1ｶｸﾆﾝ ﾄﾚｲｦ ﾀﾀﾞｼｸ ｲﾚﾅｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ	表示されている記録紙トレイが差し込まれていません。	表示されている記録紙トレイを閉め直してください。
ｷﾛｸｼﾄﾚｲ #2ｶｸﾆﾝ ﾄﾚｲｦ ﾀﾀﾞｼｸ ｲﾚﾅｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ		
ｷﾛｸｼｦ ｵｸﾚﾏｾﾝ ﾄﾚｲ#1ﾆ ｷﾛｸｼｦ ｲﾚﾅｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ	記録紙トレイに用紙がなくなった、または記録紙が正しくセットされていません。	記録紙を補給するか、記録紙を正しくセットしてください。
ｷﾛｸｼｦ ｵｸﾚﾏｾﾝ ﾄﾚｲ#2ﾆ ｷﾛｸｼｦ ｲﾚﾅｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ		
ｹﾞﾝｺｳｶﾞ ﾂﾏｯﾃｲﾏｽ ﾂﾏｯﾀｶﾐｦ ﾄﾘﾉｿﾞｲﾃ ﾃｲｼﾎﾞﾀﾝｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ	ADF（自動原稿送り装置）に原稿がつまっています。	ADF（自動原稿送り装置）カバーを開け、原稿を取り除いて 停止/終了 を押してください。
ｾﾂﾀﾞﾝ ｻﾚﾏｼﾀ	相手との通信が切断されました。	少し時間を置いて、もう一度、送信または受信をしてください。
ﾂｳｼﾝ ｴﾗｰ	電話回線の状況が悪くなっているか、接続が誤っている可能性があります。	少し時間を置いて、もう一度送信してください。 すべての通信で発生する場合、P.157 を参照してください。 特定の相手で発生する場合、P.56 を参照してください。
	相手がポーリングモードに設定していない可能性があります。	相手先のポーリング設定を確認してください。

液晶ディスプレイ表示	原　因	処　置
ﾃﾞｰﾀｶﾞ ﾉｺｯﾃｲﾏｽ	印刷するデータがメモリーに残っています。	キャンセル を押して、もう一度やり直してください。
	パソコンと本機の間でデータを転送中に接続されているケーブルが外れた可能性があります。	
ﾃﾝｼｬﾛｰﾗｰｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ ﾃﾝｼｬﾛｰﾗｰ ｦ ﾄﾘﾂｹﾃｸﾀﾞｻｲ	転写ローラーが正しく装着されていません。	サービス実施店にご連絡ください。
ﾄｳﾛｸ ｻﾚﾃ ｲﾏｾﾝ	短縮ダイヤルまたはワンタッチボタンに登録されていません。	ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルを登録してください。P.86、P.88を参照してください。
ﾄﾅｰ ﾉｺﾘｽｺｼ ｼｱﾝ	トナーが残り少なくなっています。	表示されている色の新しいトナーカートリッジを準備してください。
ﾄﾅｰ ﾉｺﾘｽｺｼ ﾏｾﾞﾝﾀ		
ﾄﾅｰ ﾉｺﾘｽｺｼ ｲｴﾛｰ		
ﾄﾅｰ ﾉｺﾘｽｺｼ ﾌﾞﾗｯｸ		
ﾄﾅｰ ｦ ｹﾝﾁ ﾃﾞｷﾏｾﾝ ｺﾉ ﾄﾅｰｶｰﾄﾘｯｼﾞ ﾊ ｼﾖｳﾃﾞｷﾏｾﾝ	純正品以外のトナーカートリッジが取り付けられています。	純正品のトナーカートリッジを装着してください。
ﾄﾅｰｷﾞﾚ ｼｱﾝ ﾄﾅｰｦ ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ	表示されている色のトナーがなくなりました。	表示されている色の新しいトナーカートリッジと交換してください。
ﾄﾅｰｷﾞﾚ ﾏｾﾞﾝﾀ ﾄﾅｰｦ ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ		
ﾄﾅｰｷﾞﾚ ｲｴﾛｰ ﾄﾅｰｦ ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ		
ﾄﾅｰｷﾞﾚ ﾌﾞﾗｯｸ ﾄﾅｰｦ ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ		
ﾊｲｼﾄﾚｲ ｲｯﾊﾟｲﾃﾞｽ ﾖｳｼｦ ﾄﾘﾉｿﾞｲﾃｸﾀﾞｻｲ	記録紙排出口に記録紙がいっぱいになりました。	記録紙を取り出してください。
ﾊｲﾄﾅｰﾊﾟｯｸ ｲｯﾊﾟｲ ﾊｲﾄﾅｰﾊﾟｯｸ ｦ ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ	廃トナーパックがいっぱいになりました。	新しい廃トナーパックと交換してください。
ﾊｲﾄﾅｰﾊﾟｯｸ ｺｳｶﾝ	まもなく廃トナーパックがいっぱいになります。	新しい廃トナーパックを準備してください。
ﾊﾅｼﾁｭｳ/ｵｳﾄｳﾅｼ	相手先が話中か、応答がありませんでした。	少し時間を置いて、もう一度送信してください。 すべての通信で発生する場合、P.157を参照してください。 特定の相手で発生する場合、P.56を参照してください。
ﾋｰﾀｰ ｺｳｶﾝｼﾞｷ ﾃﾞｽ	定着器の交換時期になりました。	サービス実施店にご連絡ください。
ﾋｰﾀｰｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ ﾃｲﾁｬｸｷ ｦ ﾄﾘﾂｹﾃｸﾀﾞｻｲ	定着器が正しく装着されていません。	サービス実施店にご連絡ください。

液晶ディスプレイ表示	原　因	処　置
ﾒﾓﾘｰｶﾞ ｲｯﾊﾟｲﾃﾞｽ	メモリーがいっぱいになりました。	メモリーに蓄積してあるデータを消去してください。 ファクス送信・コピー実行中のとき を押してスキャンしたページを送信もしくはコピーしてください。または、を押してからもう一度、試してください。 プリント中のとき 解像度を下げてからもう一度、試してください。メモリーに蓄積してあるデータを消去してください。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に下記の項目をチェックしてください。それでも異常があるときは、サービス実施店にご連絡ください。
印刷品質に異常があるときは、(Menu Set) (4) (1) でテスト印刷をしてください。印刷されたものに異常がないときは、プリンタドライバの設定およびパソコンと接続しているケーブルを確認してください。

	こんなときは	ここをチェック	対処方法
ナンバー・ディスプレイ	電話番号が表示されない。	ブランチ接続（並列接続）していませんか。	ブランチ接続（並列接続）はしないでください。
		本機の設定が正しくされていますか。	本機の設定内容を確認してください。P.53 を参照してください。
		NTT のナンバー・ディスプレイの契約をしていますか。	NTT のナンバー・ディスプレイの契約をしてください。
ISDN回線※	電話を受けても本機のベルが鳴らない。（電話をかけた側は、呼び出し続けている）	電話回線が正しく接続されていますか。	確実に本機に接続してください。かんたん設置ガイド P.15 を参照してください。
		本機の電源スイッチがONになっていますか。	電源スイッチが ON になっているときは、電源コードを確認してください。
		ターミナルアダプタ の設定を確認してください。	何も接続していない空きアナログポートは「使用しない」に設定してください。
		契約回線番号およびダイヤルイン番号、i･ナンバー情報は正しく入力されているか確認してください。	それでもうまくいかないときは、お使いになっているターミナルアダプタのメーカーまたは最寄りの NTT におたずねください。
	1～2回おきにしか本機が接続されているアナログポートに、着信しない。	「着信優先」または「応答平均化」を使用する設定の場合、1 ～ 2 回おきにしか着信できません。	「着信優先」または「応答平均化」を解除してください。
	電話をかけた側で、「あなたと通信できる機器は接続されていないか、故障しています…」とメッセージが聞こえてつながらない。（電話を受けた側の呼出ベルは鳴らない）	本機を接続しているアナログポートの設定内容を確認してください。	本機を接続しているアナログポートの設定を「電話」にしてください。
			契約回線番号のアナログポートに本機を接続している場合 • サブアドレスなし着信は「着信する」に設定してください。 • HLC 設定は「HLC 設定しない」に設定してください。 • 識別着信は「識別着信しない」に設定してください。

※ ターミナルアダプタとダイヤルアップルータの設定項目の名称は、お使いの機器の製造メーカー、機種によって異なります。

	こんなときは	ここをチェック	対処方法
ISDN回線※	電話をかけた側で、「あなたと通信できる機器は接続されていないか、故障しています…」とメッセージが聞こえてつながらない（電話を受けた側の呼出ベルは鳴らない）。	本機を接続しているアナログポートの設定内容を確認してください。	ダイヤルイン番号またはｉ・ナンバー情報のアナログポートに本機を接続している場合 • ダイヤルイン番号またはｉ・ナンバー情報を登録してください。 • サブアドレスなし着信は「着信する」に設定してください。 • HLC 設定は「HLC 設定しない」に設定してください。 • 識別着信は「識別着信しない」に設定してください。
		相手側ターミナルアダプタの設定を確認してください。	相手も ISDN 回線の場合、相手側ターミナルアダプタの設定が誤っていることもあります。 この場合、アナログ回線に接続したファクスと送・受信できれば本機を接続しているターミナルアダプタの設定は正しいことになります。
		ターミナルアダプタの自己診断モードでISDN回線の状況を確認してください。	異常があった場合は NTT 故障係（113）へご連絡ください。
	契約回線番号のアナログポートに電話がかかってきたのに、ダイヤルイン追加番号のアナログポートに接続した機器の呼出ベルも一緒に鳴る。	ダイヤルイン番号を着信させるアナログポートのグローバル着信を確認してください。	ダイヤルイン番号を着信させるアナログポートはグローバル着信「しない」に設定してください。
	特定の相手とファクス通信できない。	別のファクスから送信して、うまくいくかどうか確認してください。	それでもうまくいかないときは、サービス実施店にご連絡ください。
	NTT のナンバー・ディスプレイの契約をしているのに番号が表示されない。	本機を接続しているターミナルアダプタのアナログポートから、番号情報が送出される設定になっているか確認してください。	ターミナルアダプタのアナログポートから番号情報が送出されるように設定してください。
	ファクス送受信ができない（電話はかけることも、受けることもできる）。	ターミナルアダプタの自己診断モードでISDN回線の状況を確認してください。	異常があった場合は NTT 故障係（113）へご連絡ください。
ADSL環境	ADSLにする前と比較して自分の声が響く、または相手の声が聞きづらい。	ADSLのスプリッタが影響している可能性があります。	ADSLのスプリッタを交換すると改善する場合があります。
	通話中に雑音が入るまたは音量が小さくなった。	他の機器とブランチ接続（並列接続）していませんか。	ブランチ接続（並列接続）をしないでください。 ラインセパレータを使用すると、改善する場合があります。ラインセパレータは、パソコンショップでご購入ください。
	ファクス通信でエラー発生が多くなった。		

※ ターミナルアダプタとダイヤルアップルータの設定項目の名称は、お使いの機器の製造メーカー、機種によって異なります。

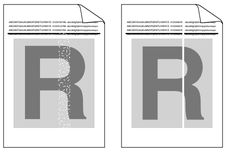
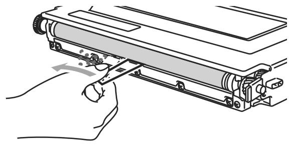
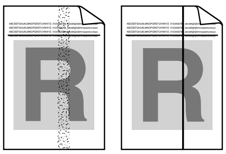
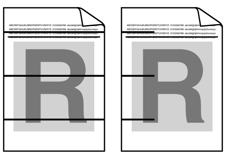
	こんなときは	ここをチェック	対処方法
ADSL環境	特定の相手との通信ができない。	IPフォンを使用した通信ではありませんか。 IP網を使用した専用線ではありませんか。	ご利用されているプロバイダへファクス通信が保障されていることを確認してください。 スーパーG3の場合で、通信品質が保証されている場合は、安心通信モードを「ヒョウジュン」に変更してください。または、一般電話回線を選択して送信してください。
PBX	着信ベルは鳴るがファクスを受信しない。	着信ベルの鳴動パターンが単独回線の場合と違いませんか。	本機をPBXの内線電話として使用している場合は、「特別回線対応」で「PBX」を選択してください。P.55 を参照してください。
ファクス／コピー	原稿が送り込まれていかない。（ADF（自動原稿送り装置）使用時）	原稿の先が軽くあたるまで差し込んでいますか。	原稿を一度確実に取り出し、もう一度確実に挿入してください。
		ADF（自動原稿送り装置）カバーは確実に閉まっていますか。	ADF（自動原稿送り装置）カバーをもう一度閉じ直してください。
		原稿が厚すぎたり、薄すぎたりしていませんか。	推奨する厚さの原稿を使用してください。P.24 を参照してください。
		原稿が折れ曲がったり、カールしていたり、しわになっていませんか。	原稿台ガラスからファクスやコピーをしてください。P.59 、P.113 を参照してください。
		原稿が小さすぎませんか。	
		原稿挿入口に破れた原稿などがつまっていませんか。	カバーを開け、つまっている原稿を取り除いてください。P.125 を参照してください。
	原稿が斜めになってしまう。（ADF（自動原稿送り装置）使用時）	原稿ガイドを原稿に合わせていますか。	確実に原稿ガイドを原稿に合わせてください。
		原稿挿入口に破れた原稿などがつまっていませんか。	カバーを開け、つまっている原稿を取り除いてください。P.125 を参照してください。
	モノクロスタート を押しても送信または受信しない。	電話回線が正しく接続されていますか。	電話機コードを正しく接続してください。かんたん設置ガイド P.15 を参照してください。
		原稿が正しくセットされていないのに送信しようとしていませんか。	原稿をもう一度取り出し、セットし直してください。
		本機に接続されている電話機が通話中ではありませんか。	本機に接続されている電話の受話器を確認してください。
		回線種別は正しく設定されていますか。	回線種別を確認してください。P.33 を参照してください。
		ターミナルアダプタは正しく設定されていますか。（ISDN回線の場合）	ターミナルアダプタの設定を確認してください。

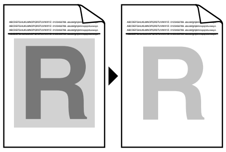
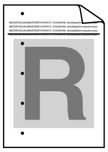
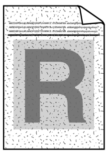
こんなときは		ここをチェック	対処方法
ファクス／コピー	送信後、受信側から画像が乱れていると連絡があった。または送信品質が低い。	コピーをしてみてください。	**コピーが正常な場合** 電話線に対する静電気などによって接続状態が悪化している可能性があります。もう一度やり直してください。 **コピーが正常でない場合** スキャナ部分を清掃してください。 P.131 を参照してください。
		画質モードは適切ですか。	画質を変更して送信してください。 P.66 を参照してください。
		キャッチホンが途中で入っていませんか。	「キャッチホンⅡ」のサービスに変更し、「キャッチホンⅡ」の呼び出しベル回数を0回に設定してください。「キャッチホンⅡ」の詳しい内容はNTTの166番にお尋ねください。
		ブランチ接続（並列接続）された別の電話機の受話器を上げていませんか。	ブランチ接続（並列接続）はしないでください。
	送信後、受信側から受信したファクスに縦の縞が入っているという連絡があった。	本機のスキャナが汚れているか、または受信側の印字ヘッドが汚れている可能性があります。	スキャナの清掃を行って送信してください。 P.131 を参照してください。 それでも現象が変わらなければ、相手のファクシミリの状態を確認してください。
	原稿台ガラスからファクスが複数枚送れない。	リアルタイム送信の設定が「On」になっていませんか。	リアルタイム送信の設定を「Off」にしてください。P.71 を参照してください。
	リモート受信できない。	リモート受信の設定は「On」になっていますか。	リモート受信の設定を「On」にしてください。P.81 を参照してください。
		リモート起動番号を正しくダイヤルしましたか。	リモート起動番号を正しく入力してください。お買い上げ時は「#51」に設定されています。P.80 を参照してください。
		メモリーがいっぱいになっていませんか。	メモリー内部のデータを印刷するか、メモリーの内容を消去してください。 P.76 、P.99 を参照してください。

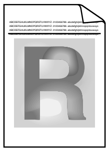
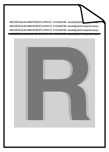
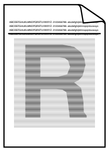
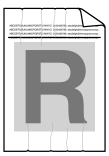
	こんなときは	ここをチェック	対処方法
ファクス／コピー	受信しても、記録紙が出てこない。	記録紙は正しくセットされていますか。	記録紙を正しくセットしてください。かんたん設置ガイド P.14 を参照してください。
		記録紙がつまっていませんか。	本機内部を確認してください。P.124 を参照してください。
		記録紙がなくなっていませんか。	記録紙トレイを確認してください。かんたん設置ガイド P.14 を参照してください。
		フロントカバーまたはバックカバーは確実に閉まっていますか。	もう一度閉め直してください。
	印刷結果が圧縮され、水平の縞が現れる。または、上部と下部の文章が切れる。	コピーをしてみてください。	**コピーが正常な場合** 電話線に対する静電気などによって接続状態が悪化している可能性があります。もう一度やり直してください。 **コピーが正常でない場合** スキャナ部分を清掃してください。P.131 を参照してください。
	垂直の縞が現れる。または、受信したファクスに黒い線が現れる。	コピーをしてみてください。または、別のファクシミリから受信してみてください。	正常なときは相手側のファクススキャナが汚れている可能性があります。相手側のファクシミリの状態を確認してください。
	本機が声をファクス信号音として誤って検出してしまう。	本機の「シンセツ ジュシン」が「On」に設定されていませんか。	本機の「シンセツ ジュシン」が「On」に設定されていると、音に対して敏感になります。本機は回線上の特定の音声をファクス機器の呼び出しと間違って、ファクスの受信トーンで応答することがあります。本機に接続されている電話機をお使の場合は、本機の 停止/終了 ボタンを押します。「シンセツジュシン」を「Off」にしてこの問題が解決できないか試してください。
	水平の縞が現れる。または、行が抜ける。	回線状況が悪いと起こります。	相手にファクスを再送するように依頼してください。
	受信したファクスでページが分割されて2 ページに印刷されたり、余分な空白のページが現れる。	自動縮小が「Off」のときに、A4 サイズより長いファクスを受信していませんか。	自動縮小を「On」にしてください。P.77 を参照してください。
	ダイヤルできない。	電話機コード、電源コードが正しく接続されていますか。	電話機コード、電源コードの接続を正しく接続してください。
		回線種別の設定は正しいですか。	回線種別の設定を確認してください。
	受信時に本機が応答しない。	本機が正しい受信モードに設定されていますか。	適切な受信モードに設定してください。
		オンフック を押して発信音はきこえますか。	電話機コード、電源コードの接続を確認してください。
		可能であれば、本機にダイヤルしてみてください。	本機を呼び出しても呼び出し音がしないときは、電話会社に連絡して回線を確認してもらってください。

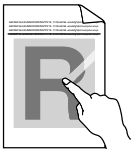
	こんなときは	ここをチェック	対処方法
ファクス／コピー	本機に接続されている電話機からダイヤル音が聞こえない。	本機と接続されている電話機と本機の電話機コードは正しく接続されていますか。	本機に接続されている電話機が本機の外付電話（EXT.）端子に接続されていることを確認してください。
	特定の相手にファクスが送信できない。	安心通信モードの設定が「ｺｳｿｸ」になっていませんか。	安心通信モードの設定を「ﾋｮｳｼﾞｭﾝ」または「ｱﾝｼﾝ」に設定してください。
	送信確認レポートで「ｹｯｶ NG」と印刷される。	回線状況が悪いと起こります。	電話回線で一時的なノイズや静電気が発生しています。もう一度ファクスを送信してみてください。問題が続いている場合、電話会社に連絡して電話回線を確認してもらってください。
	相手先で受信したファクスが鮮明でない。	本機のスキャナが汚れていませんか。	スキャナを清掃してください。 P.131 を参照してください。
		画質の設定は適切ですか。	ファクスの送信時に選択した解像度が適切でないことがあります。ファインまたはスーパーファインモードを使用してファクスを再送信してください。
	相手先で受信したファクスに縦の縞が現れる。	本機のスキャナが汚れていませんか。	スキャナを清掃してください。 P.131 を参照してください。
		相手側のファクシミリのプリンタのヘッドが汚れていませんか。	相手側のファクシミリの状態を確認してください。コピーをとって、本機が問題の原因ではないことを確認してください。
	特定の相手からのみファクスが受信できない。	安心通信モードの設定が「ｺｳｿｸ」になっていませんか。	安心通信モードの設定を「ﾋｮｳｼﾞｭﾝ」または「ｱﾝｼﾝ」に設定してください。
	IP網を使ってファクスの送受信ができない。	安心通信モードの設定が「ｺｳｿｸ」になっていませんか。	安心通信モードの設定を「ﾋｮｳｼﾞｭﾝ」または「ｱﾝｼﾝ」に設定してください。 送信の場合にそれでもうまく送信できないときは、電話番号の前に「0000」（ゼロを４つ）付けて送信してください。
	自動切替モードで呼び出し音が鳴る。	自動切替モードは着信がファクスでないことが分かると、本機に接続されている電話の呼び出し音を鳴らします。	本機に接続されている電話機で応答してください。
	ファクスを本機に転送できない。	リモート起動番号を正しく入力しましたか。	リモート起動番号を正しく入力してください。お買い上げ時は「#51」に設定されています。
	コピーに縦の縞が現れる。	原稿台ガラスの読み取り部と原稿台カバー（白色の部分）が汚れていませんか。	原稿台ガラスの読み取り部と原稿台カバー（白色の部分）を清掃してください。 P.131 を参照してください。
	コピーをしたとき、原稿が切れて出力される。	JIS B5 よりも小さい記録紙をセットしていませんか。	JIS B5よりも小さい記録紙をセットした場合、コピーの出力サイズは、すべてはがきサイズになります。お好みに合わせて倍率を調節してください。P.114 を参照してください。
印刷（プリント）	印刷ページの端や中央がかすむ。	トナーカートリッジを交換してください。	トナーカートリッジを交換してください。 P.137 を参照してください。
	印刷の質が悪い。		
	本機が印刷をしない。	本機の電源スイッチがONになっていますか。	電源スイッチがONになっているときは、電源コードを確認してください。

	こんなときは	ここをチェック	対処方法
印刷(プリント)	本機が印刷をしない。	トナーカートリッジと OPC ベルトは正しく取り付けてありますか。	トナーカートリッジとOPCベルトを正しく取り付けてください。かんたん設置ガイド P.9 P.12 を参照してください。
		インターフェースケーブルが正しく取り付けてありますか。	インターフェースケーブルを正しく接続してください。
		プリンタドライバが正しくインストールされていますか。	適切なプリンタドライバをインストールしてください。かんたん設置ガイド P.21 を参照してください。
		アプリケーションソフトウェアで適切なドライバを選択していますか。	アプリケーションソフトウェアで選択していることを確認してください。
		液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されていませんか。	P.153 を参照してください。
	本機に給紙できない。	液晶ディスプレイに「ｷﾛｸｼヲ ｵｸﾚﾏｾﾝ」と表示されていませんか。表示されている場合、記録紙トレイの記録紙がなくなっているか、適切に取り付けられていない可能性があります。	記録紙がないときは、記録紙トレイに記録紙を補給してください。記録紙トレイに記録紙があるときは、記録紙がまっすぐなことを確認してください。記録紙が丸くなっている場合、まっすぐにしてください。記録紙を取り出し、裏返して、記録紙トレイに戻すとまっすぐにできます。記録紙トレイの用紙の枚数を減らしてもう一度試してください。
	使用できる記録紙とサイズが知りたい。	普通紙、OHP フィルムなどを使用できます。P.24 を参照してください。	
	つまった紙の除去方法が知りたい。	P.124 を参照してください。	
	印刷結果が濃すぎるか薄すぎる。	コントラストの調整が濃すぎるか薄すぎていませんか。	コントラストを設定して印刷条件を調整してください。お買い上げ時は中央位置に設定されています。P.121 を参照してください。 原稿の先端に色が付いていると、濃い原稿と判断する場合があります。このときは、原稿をセットする向きを変えたり、あらかじめ濃度を下げるなどの対処をしてください。
	印刷されたページに、白い線が横方向に現れる。 	本機を平らなところに設置していますか。	本機が平らな面に設置されていることを確認してください。トナーカートリッジを取り外してください。左右にゆっくりと振ったあと、本機に取り付けてください。
		バックカバーは完全に閉まっていますか。	バックカバーを閉め直してください。
		トナーカートリッジは正しく取り付けてありますか。	フロントカバーを開けてトナーカートリッジを確認してください。正しく取り付けてあるときは、トナーカートリッジの不具合が考えられますのでトナーカートリッジを交換してください。

	こんなときは	ここをチェック	対処方法
印刷(プリント)	色が薄いまたは全体的にはっきりしていない。	推奨している記録紙をセットしていますか。	推奨している記録紙を使用してください。P.23 を参照してください。推奨している記録紙を使っているときは、開封されていない記録紙と交換してみてください。
		バックカバーは完全に閉まっていますか。	バックカバーを閉め直してください。
		トナーがカートリッジの中でかたよっている場合が考えられます。	トナーカートリッジを取り外し、左右にゆっくりと振ったあと、本機に取り付けてください。
		レーザーガラスが汚れていませんか。	きれいな柔らかい布でレーザーガラスを清掃してください。P.131 を参照してください。
		トナー節約モードが「On」になっていませんか。	トナー節約モードを「Off」に設定してください。また、湿度、高温等の特定の環境条件がこの問題の原因になる場合があります。
	印刷されたページに、白い線が縦方向に現れる。	レーザーガラスが汚れていませんか。	きれいな柔らかい布でレーザーガラスを清掃してください。P.131 を参照してください。
		トナーが残り少なくなっていませんか。	少なくなっているトナーカートリッジを交換してください。
		トナーカートリッジのローラー部分に白い縦線がありませんか。	以下の手順にしたがってローラー部分を清掃してください。 ① 透明なフィルムを 50mm × 50mm にカットする。 ② フィルムを図のように10mmぐらい入れてフィルムを動かして取り除きます。 
	印刷されたページに、色のついた線が縦方向に現れる。	線の色を確認してください。	確認した色のトナーカートリッジを交換してください。それでも、問題が解決されないときは、OPCベルトを交換してください。
	印刷されたページに、色のついた線が横方向に現れる。	レジストレーションローラー・給紙ローラー・転写ローラーガイド・排紙ローラーが汚れていませんか。	汚れているときは、清掃または交換してください。P.135 を参照してください。それでも問題が解決されないときは、線の色を確認して同じ色のトナーカートリッジを交換してください。

	こんなときは	ここをチェック	対処方法
印刷（プリント）	印刷されたページに白い部分が現れる。 	指定された坪量の記録紙をセットしていますか。	指定された坪量の記録紙を使用してください。P.23 を参照してください。指定された坪量の記録紙を使っているときは、開封されていない記録紙と交換してみてください。また、湿度、高温等の特定の環境条件がこの問題の原因になる場合があります。
	ページに何も印刷されない、または色が抜けている。 	バックカバーは完全に閉まっていますか。	バックカバーを閉め直してください。
		フロントカバーは完全にしまっていますか。	フロントカバーを閉め直してください。
		トナーカートリッジは正しく取り付けてありますか。	フロントカバーを開けてトナーカートリッジを確認してください。正しく取り付けてあるときは、トナーカートリッジもしくはOPCベルトの不具合が考えられます。抜けた色のトナーカートリッジを交換してください。それでも問題が解決しないときは、OPCベルトを交換してください。
	印刷されたページに規則的な間隔で跡が現れる。 	点の色を確認してください。	確認した色のトナーカートリッジを交換してください。
	印刷されたページにトナーが飛び散り汚れる。 	飛び散っている色を確認してください。	確認した色のトナーカートリッジを交換してください。それでも問題が解決されないときは、OPCベルトを交換してください。
	印刷されたページの色が違う。	トナーカートリッジは正しく取り付けてありますか。	フロントカバーを開けてトナーカートリッジを確認してください。正しく取り付けてあるときは、トナーカートリッジの不具合が考えられますのでトナーカートリッジを交換してください。
		液晶ディスプレイに「トナーギレ」と表示されていませんか。	新しいトナーカートリッジに交換してください。
		印刷濃度を確認してください。	Menu Set 4 3 を押して印刷濃度を調整してください。
		プリンタドライバの印刷設定を確認してください。	プリンタドライバの拡張機能で色を変更してください。印刷した色と画面で再現した色は若干異なります。
		推奨している記録紙をセットしていますか。	推奨している記録紙を使用してください。P.23 を参照してください。推奨している記録紙を使っているときは、開封されていない記録紙と交換してみてください。

こんなときは		ここをチェック	対処方法
印刷(プリント)	印刷されたページが１色だった。	OPC ベルトの不具合だと考えられます。	OPCベルトを交換してください。
	OHPシートに影が写る。	推奨している記録紙をセットしていますか。	推奨している記録紙を使用してください。P.23 を参照してください。
		プリンタドライバの用紙媒体を確認してください。	用紙媒体を「OHP」に設定してください。
	色ずれが起こる。	OPCベルトが、正しく取り付けてありますか。	OPCベルトカバーを開けてOPCベルトを確認してください。正しく取り付けてあるときは、OPC ベルトの不具合が考えられますのでOPCベルトを交換してください。
	色むらが起こる。	トナーカートリッジが、正しく取り付けてありますか。	フロントカバーを開けてトナーカートリッジを確認してください。正しく取り付けてあるときは、トナーカートリッジの不具合が考えられますのでトナーカートリッジを交換してください。
		OPCベルトが、正しく取り付けてありますか。	OPCベルトカバーを開けてOPCベルトを確認してください。正しく取り付けてあるときは、OPC ベルトの不具合が考えられますのでOPCベルトを交換してください。
		バックカバーは完全に閉まっていますか。	バックカバーを閉め直してください。
	印刷ページの端が印刷されない。	トナーカートリッジが、正しく取り付けてありますか。	フロントカバーを開けてトナーカートリッジを確認してください。正しく取り付けてあるときは、トナーカートリッジの不具合が考えられますのでトナーカートリッジを交換してください。
		OPCベルトが、正しく取り付けてありますか。	OPCベルトカバーを開けてOPCベルトを確認してください。正しく取り付けてあるときは、OPC ベルトの不具合が考えられますのでOPCベルトを交換してください。
		印刷されていない部分の色を確認してください。	確認した色のトナーカートリッジを交換してください。
	しわが寄ったり折れ曲がって印刷される。	推奨している記録紙をセットしていますか。	推奨している記録紙を使用してください。P.23 を参照してください。推奨している記録紙を使っているときは、開封されていない記録紙と交換してみてください。
		バックカバーは完全に閉まっていますか。	バックカバーを閉め直してください。

	こんなときは	ここをチェック	対処方法
印刷（プリント）	指定した色の上に違う色が混ざる。	フロントカバーは完全にしまっていますか。	フロントカバーを閉め直してください。
		トナーカートリッジが、正しく取り付けてありますか。	フロントカバーを開けてトナーカートリッジを確認してください。正しく取り付けてあるときは、トナーカートリッジの不具合が考えられますので混ざっている色のトナーカートリッジを交換してください。
	印刷されたページに光沢がない。	推奨している記録紙をセットしていますか。	推奨している記録紙を使用してください。P.23 を参照してください。推奨している記録紙を使っているときは、開封されていない記録紙と交換してみてください。
	印刷されたページにゴーストイメージが現れる。		
	指でこすると色がにじむ。	推奨している記録紙をセットしていますか。	推奨している記録紙を使用してください。P.23 を参照してください。推奨している記録紙を使っているときは、開封されていない記録紙と交換してみてください。
		記録紙タイプの設定を確認してください。	記録紙にあった記録紙タイプを設定してください。
		定着器リリースレバーを起こしたままになっていませんか。	定着器リリースレバーを倒してください。それでも問題が解決されないときは、定着器を交換してください。
	厚めの紙を印刷し、指でこすると色がにじむ。	記録紙タイプの設定を確認してください。	記録紙にあった記録紙タイプを設定してください。
スキャナ	スキャン中にTWAIN エラーが表示される。	TWAIN ドライバが選択されていることを確認してください。	Presto!® PageManager®で［ファイル］ー［TWAIN 対応機器の選択］の選択をして、TWAIN ドライバを選択し、「選択」をクリックしてください。
ソフト	Windows®		
	「LPT1：への書き込みエラー」か「BRMFC：への書き込みエラー」というエラーメッセージが表示される。	本機の電源スイッチはONになっていますか。	電源スイッチがONになっているときは、電源コードを確認してください。
	BRMFC： BRUSB： USBXXX：への書き込みエラーが表示される。	液晶ディスプレイに「トナーギレ」が表示されていませんか。	トナーカートリッジを交換してください。
	ネットワークスキャナ機能が使えない。	ファイアーウォールによる問題が考えられます。	詳しくはネットワーク設定ガイド（PDF版）P.129 を参照してください。
	パソコンで本機が認識されない。		

	こんなときは	ここをチェック	対処方法
ソフト	Windows®		
	「MFC 接続エラー」か「MFC はビジー状態です。」というエラーメッセージが表示される。	インターフェースケーブルをパソコンに直接接続していますか。	インターフェースケーブルは他の周辺機器（Zipドライブ、外付CD-ROM ドライブ、スイッチボックス等）を経由して接続しないでください。
		エラーメッセージを表示していませんか。	原因となりそうな領域をチェックしてください。（win.ini ファイルのLoad=、Run = コマンド行とスタートアップグループなど）
		パラレルポートに接続して使用する他のデバイスドライバがパソコン起動時に自動で実行する状態になっていませんか。	パソコンの製造元に、パソコンのBIOS のパラレルポート設定が、双方向通信機器に対応しているか確認してください。
	最初の数ページは正常に印刷するが、その後のページで文字が乱れる。	インターフェースケーブルが正しく接続されていますか。	プリンタの入力バッファがいっぱいになっているという信号をパソコンが認識していません。 インターフェースケーブルが正しく接続されていることを確認してください。
	文書のすべてのページが印刷されない。または、「メモリーガイッパイデス」というエラーメッセージが表示される。	画像が多かったり文章が複雑で、データ容量が重すぎていませんか。	文書を簡単にしてもう一度印刷してください。アプリケーションソフトウェアでグラフィックスの品質を下げるかフォントサイズの数を減らしてください。
	アプリケーションソフトウェアから印刷できない。	プリンタドライバが正しくインストールされていますか。	適切なプリンタドライバをインストールしてください。かんたん設置ガイド P.21 を参照してください。
		アプリケーションソフトウェアで適切なドライバを選択していますか。	アプリケーションソフトウェアで選択していることを確認してください。
その他	電源が入らない。	電源コードは確実に差し込まれていますか。	電源コードを確実に差してください。
	本機に接続している電話機から電話をかけたとき、間違った相手にかかったり、正しくダイヤルされない。	お使いの電話環境が影響している可能性があります。	受話器を上げて発信音（ツー音）を確認してから、ダイヤルしてください。

8章

付　録

文字入力をする

電話帳（ワンタッチダイヤル・短縮ダイヤル・グループダイヤル）の相手先名称の登録や、発信元データの登録などで文字を入力するときに利用します。

入力できる文字

ボタンを押す回数に応じて入力できる文字が変わります。

ボタン	入力できる文字
1 ア	アイウエオァィゥェォ１
2 カABC	カキクケコＡＢＣ２
3 サDEF	サシスセソＤＥＦ３
4 タGHI	タチツテトッ ＧＨＩ４
5 ナJKL	ナニヌネノＪＫＬ５
6 ハMNO	ハヒフヘホＭＮＯ６
7 マPQRS	マミムメモＰＱＲＳ７
8 ヤTUV	ヤユヨャュョ ＴＵＶ８
9 ラWXYZ	ラリルレロＷＸＹＺ９
0 ワ゛゜	ワヲン゛゜ー０
* 記号1 トーン	（スペース）！"＃＄%&'（）＊＋，－．／€
# 記号2	：；＜＝＞？＠［］＾＿

文字の入れ方（変更のしかた）

電話番号や文字は以下の操作で入力します。

したいこと	操作のしかた
文字を入れる	1 ～ 0 、* 、# を押す
電話番号に「ポーズ」を入れる ※ポーズ（約3.5秒の待ち時間）	再ダイヤル/ポーズ を押す ※入力したポーズは電話帳やダイヤル入力時は「―」（ハイフン）で表示されます。
文字を削除する	停止/終了 を押すとカーソルの位置から最後までの文字をすべて削除する
文字を変更する	◀ を押してカーソルを戻し、文字を入力する（上書きされます）
スペース（空白）を入れる	▶ を押してカーソルを右に移動させる （文字のときは ▶（2 回押）でスペースを入れることができます）
記号を入力する	入力したい記号ボタン（* または #）を押して記号を選ぶ
同じボタンで続けて文字を入力する	▶ を押してカーソルを１文字分移動させて入力する
入力した内容を確定させる	Menu Set を押す

入力例

発信元登録や電話帳登録で「スズキ　ケイコ」と入力するときは下記のように操作します。

操作のしかた	ディスプレイ表示
3 を3回押す	ス
▶ を1回押す	ス■
3 を3回押す	スス
0 を4回押す	スス゛
2 を2回押す	スス゛キ
▶ を2回押す	スス゛キ　■
2 を4回押す	スス゛キ　ケ
1 を2回押す	スス゛キ　ケイ
2 を5回押す	スス゛キ　ケイコ

機能一覧

初期設定機能

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　容	参照 ページ
0. ショキ　セッテイ	1. ジュシン モード	―	FAX=ファクスセンヨウ F／T=ジドウキリカエ ルス=ソトヅケルスデン TEL=デンワ	受信モードを設定します。	P.41
	2. トケイ セット	―	―	現在の日付・時刻を設定します。	P.35
	3. ハッシンモトトウロク	―	ファクス デンワ ナマエ	ファクスに印刷される発信元の名前、ファクス番号を設定します。	P.36
	4. カイセン シュベツ　セッテイ	―	プッシュ　カイセン ダイヤル 10PPS ダイヤル 20PPS ジドウ　セッテイ	お使いの電話回線に合わせて回線種別を設定します。	P.34
	5. ダイヤルトーン　セッテイ	―	ケンチ　スル ケンチ　シナイ	ダイヤルトーン検知を設定します。	P.55
	6. トクベツカイセン　タイオウ	―	イッパン ISDN PBX	回線種別を設定します。	P.55
	7. ナンバーディスプレイ	―	On Off ソトヅケデンワ ユウセン	NTT のナンバー・ディスプレイサービスを利用するときに設定します。	P.53
	0. ヒョウジゲンゴ (Local Language)	―	ニホンゴ English	液晶ディスプレイに表示される言語を設定します。 This setting allows you to change LCD Language to English.	P.21

＊ 下線付きの選択項目は、初期設定（お買い上げ時の設定）を示します。

基本設定機能

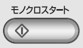
メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　　容	参照 ページ
1. キホン　セッテイ	1. モード タイマー	ー	0　ビョウ 30　ビョウ 1　プン 2　フン 5　フン Off	ファクスモードに戻る時間を設定します。 「Off」を選択すると、最後に使ったモードを保持します。	P.32
	2. キロクシ タイプ	1. キロクシ トレイ　#1 ※1 2. キロクシ トレイ　#2 ※1	フツウシ フツウシ（アツメ） アツガミ（ハガキ） チョウアツガミ サイセイシ	記録紙トレイにセットする記録紙のタイプを設定します。	P.48
	3. オンリョウ	1. チャクシン オンリョウ	Off ショウ チュウ ダイ	着信音量を設定します。	P.48
		2. ボタンカクニン　オンリョウ	Off ショウ チュウ ダイ	操作パネルのボタンを押したときの音量を設定します。	P.49
		3. スピーカー オンリョウ	Off ショウ チュウ ダイ	スピーカーの音量を設定します。	P.49
	4. ショウエネ モード	1. トナー セーブ	On Off	トナーの使用量をセーブします。 「On」に設定すると、印字結果が薄くなります。	P.50
		2. スリープ モード	00 : 30 : 99 (Off)	スリープ状態になるまでの時間を0〜99分の間で設定します。 消費電力を節約することができます。	P.50
	5. ガメンノ　コントラスト	ー	▼ −□□■□□+ ▲	液晶ディスプレイのコントラストを調整します。	P.51
	6. セッテイロック	ー	ー	暗証番号を設定し機能設定をロックします。	P.51

※1：オプションの記録紙トレイ2（500枚増設トレイユニット　タイプ2500）を増設したときにメニューが表示されます。

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　容	参照 ページ
1. キホン　セッテイ	7. トレイ　センタク：コピー ※1	―	キロクシ　トレイ #1　ノミ キロクシ　トレイ #2　ノミ ジドウ	コピーするときに給紙する記録紙トレイを設定します。	P.122
	8. トレイ　センタク：ファクス ※1	―	キロクシ　トレイ #1　ノミ キロクシ　トレイ #2　ノミ ジドウ	ファクスを印刷するときに給紙する記録紙トレイを設定します。	P.77

※1：オプションの記録紙トレイ2（500枚増設トレイユニット　タイプ2500）を増設したときにメニューが表示されます。

ファクス機能

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　容	参照 ページ
2. ファクス	1. ジュシン セッテイ	1. ヨビダシ　カイスウ	0 : 4 : 10	「ファクス専用モード」と「自動切替モード」のとき、着信してから自動受信するまでの呼出回数を0～10回の間で設定します。	P.42
		2. サイ　ヨビダシ　カイスウ	08 15 20	「自動切替モード」のとき、本機が着信後に鳴る呼出音の回数を設定します。	P.42
		3. シンセツ ジュシン	On Off	ファクスを自動受信する前に本機と接続されている電話をとってしまった場合でも、本機の  を押さずに、ファクスを受信する機能を設定します。	P.79
		4. リモート ジュシン	On (#51) Off	本機と接続されている電話機からファクスを受信させるときに設定します。	P.81
		5. ジドウ シュクショウ	On Off	A4サイズより長い原稿が送られてきたときに自動的に縮小する／しないを設定します。	P.77
		6. インサツ ノウド	▼ −□□■□□+ ▲	受信したファクスを印刷する濃度を設定します。	P.78
		7. ポーリング ジュシン	ヒョウジュン キミツ タイマー	ポーリング受信を設定します。	P.81

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　　容	参照 ページ
2. ファクス	2. ソウシン セッテイ	1. ゲンコウ ノウド	ジドウ ウスク コク	原稿に合わせて濃度を設定します。	P.67
		2. ファクス ガシツ	ヒョウジュン ファイン スーパーファイン シャシン	送信時の画質の設定をします。ここで設定した内容は次に変更するまで有効です。	P.66
		3. タイマー ソウシン	シテイジコク= 00：00	タイマー送信を行うときの送信時刻を設定します。	P.75
		4. トリマトメ ソウシン	On Off	同一の相手に一括してタイマー送信を行うときに設定します。	P.76
		5. リアルタイム　ソウシン	コンカイノミ：On コンカイノミ：Off On Off	メモリーを使わずに原稿を読み取りながら送信するときに設定します。	P.71
		6. ポーリング ソウシン	ヒョウジュン キミツ	ポーリング送信を設定します。	P.72
		7. ソウフショ	コンカイノミ：On コンカイノミ：Off On Off プリント　サンプル	送付書を付加する／しないを設定します。	P.68
		8. ソウフショ コメント	ー	送付書のコメントを作成します。	P.70
		9. カイガイソウシン　モード	On Off	海外にファクスを送るときに設定します。	P.74
	3. デンワチョウ トウロク	1. デンワチョウ/ワンタッチ	ー	ワンタッチボタン1～16にファクス番号や相手の名前を登録します。	P.86
		2. デンワチョウ/タンシュク	ー	3桁の短縮番号（001～200）にファクス番号や相手の名前を登録します。	P.88
		3. デンワチョウ/グループ	ー	複数の相手をグループ（1～8）として登録します。	P.90

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　容	参照 ページ
2. ファクス	4. レポート セッテイ	1. ソウシン レポート	On On +イメージ Off Off +イメージ	ファクス送信後に送信結果を印刷するかどうかの設定をします。	P.108
		2. ツウシン カンリ カンカク	レポートシュツリョク シテイ 50 ケン ゴト 6 ジカンゴト 12 ジカンゴト 24 ジカンゴト 2 カ ゴト 7 カ ゴト	通信管理レポートを印刷する間隔を設定します。	P.109
	5. オウヨウ キノウ	1. テンソウ/メモリージュシン	Off ファクス テンソウ デンワ ヨビダシ メモリー ジュシン PC ファクス ジュシン	ファクスを転送したり、メモリー受信を設定します。	P.98
		2. アンショウ バンゴウ	アンショウバンゴウ:---＊	外出先から本機を操作するときの暗証番号を設定します。	P.100
		3. ファクス シュツリョク	―	メモリー受信でメモリーに蓄積されたファクスを印刷するときに使用します。	P.99
	6. ツウシン マチ カクニン	―	―	メモリー送信の設定を確認したり、解除できます。	P.76
	7. アンシン ツウシン モード	―	コウソク ヒョウジュン アンシン	ファクスをより確実に送信したいときに設定します。	P.56

コピー機能

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　　容	参照 ページ
3. コピー	1. コピー ガシツ	ー	テキスト シャシン <u>ジドウ</u>	画質を調整します。	P.120
	2. アカルサ	ー	▼ −□□■□□+ ▲	明るさを調整します。	P.120
	3. コントラスト	ー	▼ −□□■□□+ ▲	コントラストを調整します。	P.121
	4. カラーチョウセイ	1. レッド	R:−□□■□□+	赤色のバランスを調整します。	P.121
		2. グリーン	G:−□□■□□+	緑色のバランスを調整します。	
		3. ブルー	B:−□□■□□+	青色のバランスを調整します。	

プリント機能

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　　容
4. プリント	1. テスト プリント	ー	ー	テスト印刷します。詳しくはユーザーズガイド パソコン活用編（PDF版）P.16 を参照してください。
	2. リセット	ー	ー	印刷設定をすべて初期化します。詳しくはユーザーズガイド パソコン活用編（PDF版）P.17 を参照してください。
	3. イロ ホセイ	ー	イロ ホセイ リセット	印刷時の色味を調整します。詳しくはユーザーズガイド パソコン活用編（PDF版）P.18 を参照してください。

レポート印刷機能

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　容	参照 ページ
5. レポート イ ンサツ	1. ソウシン レ ポート	−	−	送信後に、最後に送ったファクスの送信結果を印刷します。	P.107
	2. キノウアンナ イ	−	−	機能の解説を印刷します。	P.107
	3. デンワチョウ リスト	−	−	電話帳に登録されている内容を印刷します。	P.107
	4. ツウシン カ ンリ レポート	−	−	送信・受信した最新の最大200通信分の結果を印刷します。	P.107
	5. セッテイナイ ヨウ リスト	−	−	各種機能に登録・設定されている内容を印刷します。	P.107
	6. LAN セッテ イナイヨウリスト	−	−	ネットワークの設定内容を印刷します。	P.107
	7. チャクシンリ レキ リスト	−	−	着信した履歴を印刷します。	P.108

LAN設定機能

本機をネットワークで使用する際の詳細については、ネットワーク設定ガイド（PDF版）P.11 を参照してください。

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　容
6. LAN	1. TCP／IP セッテイ	1. IP シュトク ホウホウ	Auto Static RARP BOOTP DHCP	IPの取得方法を指定します。
		2. IP アドレス	[000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255] (169. 254. XXX. XXX)	IPアドレスを設定します。
		3. サブ ネット マスク	[000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255] (255. 255. 000. 000)	サブネットマスクを設定します。
		4. ゲートウェイ	[000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255] (000. 000. 000. 000)	ゲートウェイのアドレスを設定します。
		5. ノード　メイ	BRN_xxxxxx= (MACアドレス (イーサネットアドレス) の末尾 6 文字以内、最大 15 文字)	ノード名を設定します。
		6. WINS セッテイ	Auto Static	WINSサーバーのアドレスの取得方法を設定します。
		7. WINS サーバ	プライマリ 000. 000. 000. 000	WINSサーバを設定します。
		8. DNS サーバ	プライマリ 000. 000. 000. 000	DNSサーバを設定します。
		9. APIPA	On Off	APIPAを設定します。

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　容
6. LAN	2. インターネット セッテイ	1. メール　アドレス	ー (最大60文字)	メールアドレスを設定します。
		2. SMTP　サーバ	サーバメイ (最大30文字) IPアドレス [000−255]. [000−255]. [000−255]. [000−255] (000. 000. 000. 000)	SMTPサーバを設定します。
		3. POP3　サーバ	サーバメイ (最大30文字) IPアドレス [000−255]. [000−255]. [000−255]. [000−255] (000. 000. 000. 000)	POP3サーバを設定します。
		4. アカウント　メイ	ー (最大20文字)	アカウント名を設定します。
		5. パスワード	パスワード：XXXXXX (最大20文字)	POP3 サーバにログインするパスワードを設定します。
	3. メール　ジュシン　セッテイ	1. ジドウ　ジュシン	On Off	メールの自動受信を設定します。
		2. ポーリング　カンカク	01　フン : 10　フン : 60　フン	メールを確認する時間を1～60分の間で設定します。
		3. ヘッダ　インサツ	スベテ ヘッダノミ ナシ	メールヘッダ印刷を設定します。
		4. エラー　メール　サクジョ	On Off	エラーメールの自動削除を設定します。
		5. ジュシン　カクニン	On MDN Off	通知メッセージを設定します。
	4. メール　ソウシン　セッテイ	1. メール　タイトル	ー (最大40文字)	メールタイトルを設定します。
		2. サイズ　セイゲン	On Off	メールサイズ制限を設定します。Onに設定すると1MBより大きいときは警告が表示されてメールを送信することができません。
		3. ジュシンカクニンヨウキュウ	On Off	通知メッセージを設定します。

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　　容
6. LAN	5. リレー　セッテイ	1. リレー　キョカ	On Off	インターネット経由で受け取ったドキュメントを電話回線を使用して他のファクスに転送する設定をします。
		2. キョカ　ドメイン	リレーXX:	転送を許可するドメイン名を登録します。
		3. リレー　レポート	On Off	転送したあとのレポート出力を設定します。
	6. ソノタ　セッテイ	1. イーサネット	Auto 100B−FD 100B−HD 10B−FD 10B−HD	Auto：自動接続により選択します。 100B-FD/100B-HD/10B-FD/10B-HD：それぞれのリンクモードに固定されます。
		2. タイムゾーン	UTCXXX:XX	タイムゾーンを設定します。
	7. スキャン　E メール	1. モノクロ　ファイル　タイプ	TIFF PDF	ファイルの種類を設定します。
		2. カラー　ファイル タイプ	PDF JPEG	ファイルの種類を設定します。
	0. LANセッテイ　リセット	−	−	ネットワークの設定をすべて初期値に戻します。

製品情報

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　　容	参照 ページ
7. セイヒン　ジョウホウ	1. シリアル No.	−	−	シリアルNo.を表示します。	P.145
	2. インサツマイスウ　ヒョウジ	−	ゴウケイ コピー プリンタ ファクス/リスト	お買い上げ時から今までに印刷したそれぞれの枚数を表示します。	P.145
	3. ショウモウヒン　ジュミョウ	1. OPCベルト　ジュミョウ	−	寿命までの残り％が表示されます。	P.146
		2. ヒーター ジュミョウ	−		
		3. 120Kキット　ジュミョウ	−		
		4. PF　キット2　ジュミョウ	−		

保守・運用について

お客様登録・保守契約

お客様登録はがき、（仮）保証書

このはがきをご返送いただくことにより、正式保証書を発行（無償保証期間の保守サービス対象機として登録）させていただきます。お手数ですが、必要事項をご記入の上必ずご返送ください。
なお、（仮）保証書は正式保証書が届くまでの期間限定保証書となりますので、大切に保管してください。

補足
ご登録がない場合には手続きに時間がかかる場合がありますので、必ずご返送ください。

保守契約

- 保守契約とは、お客様本位に考えられた無償保証期間後のサービスシステムです。一定のご予算で本機を良好な状態に保ちます。
- 保守契約されると次のようなメリットがあります。
  - 定期点検を行い、品質の維持を図ります。
  - 計画的に経費の運用ができます。
  - 万一故障したときは、迅速で的確なサービスが受けられます。
  - カルテ管理により、適切なサービスが受けられます。
- 保守サービスのために必要な補修用性能部品および消耗品の最低保有期間は、本製品の製造中止後、7 年間です。したがって、本期間以後は、修理をお引き受けできない場合があります。
- 保守契約を希望される場合は、購入された販売店にご連絡ください。

移動

⚠ 注 意

- 本機は質量が約 34.6kg あります。持ち上げるときは、必ず 2 人以上で作業するようにしてください。
- 本機を持ち上げるときは、底面の 4 隅にある持ち手を持ってください。
- 記録紙トレイ 2 の上に本機を下ろすときは、指などを挟まないように注意してください。
- 記録紙トレイ2を増設したまま本機を移動させないでください。

⚠ 注 意

- 機械を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

⚠ 注 意

- 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

- 本機は日本国内向けに製造されており、電源仕様の異なる諸外国では使用できません。日本国外に移動するときは、保守サービスの責任は負いかねます。また、安全法規制（電波規制や材料規制など）は各国異なります。これらの規則に違反して、本製品および消耗品等を諸外国に持ち込むと罰せられることがあります。
- サービス実施店にご連絡いただくと、安全に輸送できるように本機の措置をします。ただし、梱包と輸送についてはお客様で行ってください。

注 意
移動の際は、トナーカートリッジ、廃トナーパックおよび OPC ベルトを取り外さないでください。トナーが本体内部に飛散し汚れる場合があります。

補足
輸送する場合は、オプションを取り外し、本機購入時の箱に入れてください。

近くに移動するとき

1 **本機の電源が入っている場合は電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。**

2 **オプションの記録紙トレイ２を取り外します。**

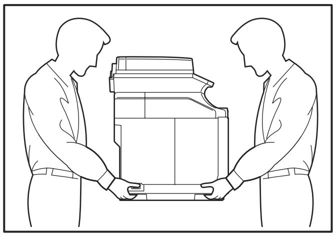
オプションの取り外しは、P.147 を参照し、付け手順の逆の操作を行ってください。

注意

■ケーブル類はすべて取り外します。

■精密機器ですので、輸送時に破損しないようご注意ください。

3 **取っ手を２人以上で持ち、本機を移動します。**



4 **手順２でオプションを取り外した場合は、本体設置後に取り付けます。**

補足

オプションの取り付け方法については、P.147 を参照してください。

廃棄

本機を廃棄したいときは、販売店またはサービス実施店に相談してください。

本機の仕様

ファクシミリ

互換性	ITU-T　スーパー G3
圧縮方式	MH/MR/MMR
通信速度	33600bps（自動フォールバック付き）
原稿サイズ幅	ADF（自動原稿送り装置）使用時： 最大：215.9mm 最小：147.3mm
	原稿台ガラス使用時： 最大：215.9mm
原稿サイズ長さ	ADF（自動原稿送り装置）使用時： 最大：356mm 最小：147.3mm
	原稿台ガラス使用時： 最大：297mm
有効読み取り幅	208mm
記録紙トレイ枚数	記録紙トレイ1：約250枚（80g/m^2） 記録紙トレイ2：約530枚*1（80g/m^2）
記録紙サイズ	A4（幅210mm×長さ297mm）
電送時間	3秒台*2
グレースケール	256階調
液晶ディスプレイ表示	16桁×2行
読み取り方式	CIS
代行受信枚数	最大500枚*3
走査線密度	主走査：8ドット/mm 副走査：3.85本/mm（標準） 7.7本/mm（ファイン/写真） 15.4本/mm（S.ファイン）
ポーリングタイプ	標準/機密/タイマー（タイマー：受信のみ）
適用回線	一般電話回線

*1: 記録紙トレイ2はオプションです。
*2: A4判700字程度の原稿を標準的画質（8ドット×3.85本/mm）、高速モードで送ったときの速さです。これは画像情報のみの電送時間です。通信の制御時間は含まれていません。なお、実際の電送時間は原稿の内容および回線状況によって異なります。
*3: A4判700字程度の原稿を標準的画質（8ドット×3.38本/mm）で蓄積した場合（MMR圧縮時）

プリンタ・スキャナ

対応パソコン	IBM PC/AT 互換機
対応 OS	Windows® 98/98SE/Me/2000/XP Windows NT® 4.0 WS
インターフェース	IEEE1284 準拠パラレルインターフェース Hi-Speed USB2.0インターフェース 10/100Base-TX
スキャナ解像度（光学解像度）	原稿台ガラス：1200×2400dpi ADF（自動原稿送り装置）：1200×600dpi
印刷方式	半導体レーザー＋乾式電子写真方式
印刷解像度	2400 dpiクラス
印刷速度	カラー：8枚/分 モノクロ：31枚/分

電源と使用環境

使用環境	温度：10～32.5℃ 湿度：20～80%（結露なきこと）
電源	AC100V±10V　50/60Hz
消費電力	待機時：155W以下 コピー時：640W以下 スリープ時： 16W以下 （電源オフ時は0.01W。このため、長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。）
稼働音	待機時：5.4B以下　動作時：6.7B以下
メモリー容量	64MB（576MBまで増設可能）
外形寸法	482(横幅)×437(奥行き)×534(高さ)mm
質量（トナー /OPCベルトを含む）	34.6kg

消耗品

トナーカートリッジ	スタータートナー（製品付属） ブラック：約5,000枚*4 シアン、マゼンタ、イエロー：約3,000枚*4 交換用トナー ブラック（トナーカートリッジ　ブラック　タイプ2500）：約9,800枚*4 シアン（トナーカートリッジ　シアン　タイプ2500）、 マゼンタ（トナーカートリッジ　マゼンタ　タイプ2500）、 イエロー（トナーカートリッジ　イエロー　タイプ2500）： 約6,500枚*4
廃トナーパック （廃トナーボトル タイプ 2500）	約11,000枚（モノクロ印刷の場合）*4 約2,750枚（フルカラー印刷の場合）*4
OPCベルト （感光体ユニット　ブラック タイプ 2500）	約60,000枚（モノクロ印刷の場合）*4 約15,000枚（フルカラー印刷の場合）*4

*4: A4普通紙に5%印字比率で印刷した場合の数値です。印刷するデータや用紙、環境によって異なります。

補足

外観・仕様などは、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

主な仕様

パソコン環境〔Windows®〕

本機とパソコンを接続してお使いいただくには、以下のパソコン環境が必要になります。

OS/CPU/メモリー

- Windows® 98/98SE/Me
  Intel® Pentium® IIプロセッサ300MHz（Pentium® 互換CPU含む）以上/32MB（推奨128MB）以上
- Windows® 2000 Professional、Windows NT® 4.0 (SP6以降)
  Intel® Pentium® IIプロセッサ300MHz（Pentium® 互換CPU含む）以上/64MB（推奨256MB）以上
- Windows® XP
  Intel® Pentium® IIプロセッサ300MHz（Pentium® 互換CPU含む）以上/128MB（推奨256MB）以上

ディスク容量

300MB以上の空き容量

CD-ROMドライブ

2倍速以上必須

インターフェース

Hi-Speed USB 2.0（USB1.1対応のPCでもご使用いただけます。）
パラレル
ネットワーク10Base-T/100Base-TX

- OS対応表
  お使いいただいているパソコンのOSによって本機で使用できる機能が異なります。

	Windows® 98/98SE/Me/2000/XP	Windows NT® 4.0（SP6 以降）
プリンタ	○	○
スキャナ	○	○
Presto!® PageManager®	○	×
PC-FAX ソフトウェア	○	○
リモートセットアップ	○	○
ControlCenter2	○	○

補足

- USBケーブル、パラレルケーブル、ネットワークケーブルは市販のものをお使いください。
- USBケーブル、パラレルケーブルは長さが2.0m以下のものをお使いください。
- お使いの機能により、必要な動作環境は異なります。メモリーの容量に余裕があると、動作が安定します。
- USB接続は、次のパソコンに対応しています。
  Windows® 98/98SE/Me/2000 Professional/XP
- Windows® 2000 Professional/XP、Windows NT® 4.0を使用してる場合は、アドミニストレータ（Administrator）権限でログインする必要があります。
- Windows NT® 4.0 を使用している場合、パラレル接続しているときはスキャナと ControlCenter2 に対応していますが、ネットワーク接続では対応していません。

用語集

あ

- **アイコン**
  画面上で、ファイル、フォルダ、またはプログラムなどを示す絵文字です。
- **アプリケーションソフトウェア**
  ワープロや表計算など、ユーザーが直接触って操作するソフトウェアです。
- **インターフェース**
  パソコンと周辺装置のように、機能や条件の違うものの間で、データをやりとりするためのハードウェアまたはソフトウェアです。
- **ウィザード**
  Windows® 98/Me/2000/XP、Windows NT®などで、インストール作業を半自動化してくれる機能です。
- **液晶ディスプレイ**
  本機の液晶表示パネルです。
- **オプション機能**
  標準仕様に対し、お客様の希望に応じて変更できる機能です。

か

- **回線種別**
  電話に使われているダイヤリングの方法です。発生したパルスを数えて検出するダイヤル式と、周波数を検出して判別するプッシュ式があります。
- **機密ポーリング**
  受信側のファクス操作で暗証番号を入れることによって、送信側のファクスにセットしてある原稿を暗証番号が合っているときにだけ自動的に送信させる機能です。
- **キャリアシート**
  新聞・雑誌の小さい切り抜きや、メモ書き、破れた原稿、反っている原稿などの状態の悪い原稿をはさんで、ファクス送信やコピーするときに使います。本機で使用するときは、原稿台ガラス面をお使いください。
- **原稿台ガラス**
  コピーやファクスのときに原稿を置くところです。ここから原稿を読み取ります。
- **公衆回線**
  一般のアナログ電話回線です。

さ

- **親切受信**
  ファクスを着信したときに間違えて本機に接続されている電話機を取ってしまったときでも自動的に本機がファクス受信を行う機能です。
- **スタックコピー**
  複数枚の原稿を複数部コピーする場合に、1枚目を希望枚数分、2枚目を希望枚数分のようにコピーしていくことです。
- **スプリッタ**
  ADSLという通信サービスを利用するときに必要な機器のひとつ。音声信号とデータ信号を分けたり重ねたりする機能を備えています。
- **ソートコピー**
  複数枚の原稿を複数部コピーする場合に、原稿1部すべてコピーした後、再度1ページ目からコピーし、希望部数分コピーしていくことです。

た

- **タスクバー**
  画面の上にあるプログラムの起動やフォルダの表示のためのボタンを配置してある場所のことです。
- **定着器**
  紙に転写されたトナーを熱で定着するところです。
- **デバイス**
  ハードディスクやプリンタのような、パソコンで使用されるハードウェアのことです。
- **デュアルアクセス**
  1つの機能の動作中に別の機能を並行して処理できることです。
- **転写ローラー**
  紙をOPCベルトと挟んでトナーを転写するところです。
- **電話呼び出し機能**
  ファクスメッセージがメモリーに貯えられると、外出先の電話に知らせる機能です。
- **同報送信**
  同じ原稿を複数の送信先を設定して一度に送信させる機能です。
- **トナー**
  炭素を主成分とした粉末。これを紙に転写し、定着させることでコピーおよび印刷が行われます。
- **取りまとめ送信**
  メモリーに貯えられているタイマー送信用のデータを、同一の相手ごとにまとめてタイマーで指定された時間に送信する機能です。

な

- **ナンバー・ディスプレイサービス**
  「ナンバー・ディスプレイサービス」はかけてきた相手の電話番号が受話器を取る前に、電話機等のディスプレイに表示されるサービスです。
  ご利用になるには別途電話会社へのお申し込みが必要です。

は

● はがきアダプタ
はがきを印刷するときに使うアダプタです。

● パラレルプリンタケーブル
複数の信号線をまとめてあるケーブルで同時に数ビットまとめてデータを送ることができます。
パソコンと本機を接続します。

● ファクス転送
ファクスメッセージがメモリーに貯えられると、外出先のファクスに転送させる機能です。

● プリンタドライバ
アプリケーションソフトウェアのコマンドをプリンタで使用されるコマンドに変換するソフトウェアです。

● ポーリング通信
受信側のファクス操作で送信側のファクスにセットしてある原稿を自動的に送信させる機能です。

● ポスター
1枚の原稿を9分割して拡大し、それぞれを9枚の記録紙にコピーします。

ま

● メモリー送信
ファクス原稿を初めに読み取り、それをメモリーに貯えてから送信する機能です。

● メモリー代行受信
記録紙がセットされていないときなど、着信したデータをいったんメモリーに貯えておく機能です。

ら

● リアルタイム送信
データをメモリーに貯えず、原稿を読み取りながら送信する機能です。

● リモート受信
本機に接続された電話機から本機を操作する機能です。

● リモートセットアップ
本機に対する機能設定をパソコン上で簡単に行うことができる機能です。

● リモコンアクセス
外出先から本機をリモートコントロールして操作を行う機能です。

● ログオン（ログイン）
パソコンやシステムでアクセスするときに行う操作です。

数字

● 120Kキット
5つの部品で構成された交換部品です。120,000枚印刷後、定期的に交換します。

● 2 in1
2 枚の原稿を縮小し、1 枚の記録紙にコピーする機能です。

● 4 in 1
4 枚の原稿を縮小し、1 枚の記録紙にコピーする機能です。

A to Z

● ADF
自動原稿送り装置。コピーするときに原稿を一枚ずつ入れるのではなく自動的に原稿を本機に送ります。

● ADSL
通常の電話回線（アナログ回線）で従来使っていなかった帯域を利用してデータを高速に伝送する通信サービスです。

● Automatic E-mail Printing
E メールを自動的に印刷したり、定期的に新着メールを確認するソフトウェアです。

● CSV形式
Comma Separated Valueの略。レコード中の各フィールドを、コンマ（,）を区切りとして列挙したデータ形式です。

Microsoft Excel などの表計算ソフトウェアでは、CSV形式でのデータ出力、データ入力機能が用意されています。

● DPI
Dot Per Inchの略で、1インチ(2.54cm)幅に印字できるドット数を表す単位で、解像度を示します。

● ECM通信
Error Correction Modeの略。通信中雑音などにより送信データが影響を受けても、自動的に影響を受けた部分だけ送り直し、画像の乱れのない通信を行います。
送信側・受信側ともにECM機能を持っていないとECM通信は行われません。

● IPフォン
インターネットを利用した通信方法で、多くのプロバイダで行っている格安な電話サービスの総称です。一般電話回線と違い、インターネットの混み具合によって雑音が入ったり、通話が途切れるなどの問題が発生する場合があります。このような場合、ファクスでは通信エラーが発生しますので、送受信できません。

● ISDN
NTTが行っている総合デジタル通信網サービスです。「INSネット64」では、デジタル回線で電話とファクスを同時に使用することができますので、アナログ回線2本と同様な使い方ができます。

● OCR機能
画像ファイルをテキストファイルに変換する機能です。

● OPCベルト
各色のトナーを紙に転写するベルトです。

● OS
Operating System（オペレーティングシステム）の略で、パソコンの基本ソフトウェア群です。

● PC/AT互換機
IBM社が開発したパーソナルコンピュータ（IBM. PC/AT）の互換パソコンに付いた名称です。日本ではDOS/Vパソコンとも言われます。

● PC-FAX
パソコンのアプリケーションで作成した印刷データをファクスとして送信する機能です。あらかじめ、PC-FAXの電話帳に相手先を登録しておくことで、ファクスの宛先を簡単に指定することができます。また、送付書を添付して送信することもできます。

● PFキット2
2つの部品で構成された記録紙トレイ2用の交換部品です。

● Presto!® PageManager®
種類や写真のスキャン、シェア、分類などの操作ができるソフトウェアです。

● TWAIN
イメージスキャナなどの画像入力装置用プロトコルです。

● USBケーブル
Universal Serial Bus（ユニバーサルシリアルバス）の略。ハブを介して最大127台までの機器をツリー状に接続できるケーブルです。機器の接続を自動的に認識するプラグアンドプレイ機能や、パソコンの電源を入れたままコネクタの接続ができるホットプラグ機能を持っています。

● Vcards(vcf形式)
電子メールで個人情報をやり取りするための規格。電子メールの添付ファイルの機能を拡張して、氏名、電話番号、住所、会社名などをやり取りできます。この規格に対応するアプリケーション間では、受信時に情報が自動的に更新されます。

● WIA
Windows Imaging Acquisitionの略でイメージスキャナなどの画像入力装置用プロトコルです。

● Windows® 98/98SE/Me/2000/XP
Microsoft社が開発したOSで、それぞれ98年、00年（＝Millennium edition）、98SEは99年、XPは01年に発売されました。

● Windows NT®
Microsoft社が開発したネットワークOSです。

索　引

〈キリトリ線〉

リモート アクセス

暗証番号

○ ○ ○ ＊

あなたの暗証番号を
記入してください。

リモコンアクセスの使用方法

1. プッシュボタン回線方式の電話機を使って、電話をかけます。
2. ファクシミリが応答して無音状態のときに、暗証番号を入力します。

①

3.「ポー」という音が聞こえたら、ファクスメッセージを受信していることを示します。
「ポー」という音が聞こえなければ、ファクスメッセージを受信していないことを示します。
4. 次に、短い「ピピッ」という音が続けて聞こえたらリモコンアクセスコマンドを入力します。
5. 90を入力して、リモコンアクセスを終了します。

リモコンアクセスコマンドは、③、④を参照してください。

注意：間違った操作を行ったときには、短い「ピッ」という音が３回聞こえますので、もう１度やり直してください。

②

〈キリトリ線〉

リモコンアクセスコマンド

操作内容		ボタン操作
メモリー受信を解除（※1）		951
ファクス転送に設定（※2）		952
電話呼び出しに設定（※2）		953
ファクス転送番号の登録・変更		954＋転送番号+##
メモリー受信を設定		956
ファクスの取り出し		962＋ダイヤル入力+##
ファクス消去		963
受信状況のチェック(※3)	ファクス	971

操作内容		ボタン操作
受信モードの変更	外付留守電	981
	自動切替	982
	ファクス	983
終了		90

※1 電話呼び出しや、ファクス転送の設定も解除されます。
※2 呼び出し番号・転送番号が登録されていないときは、呼び出し、転送機能をONにすることはできません。
※3「ピー」という音が聞こえたら、ファクスメッセージを受信しています。「ピピピッ」という音が聞こえたら、ファクスメッセージを受信していません。

③ ④

株式会社 リコー
東京都中央区銀座8-13-1 リコービル 〒104-8222
http://www.ricoh.co.jp/

IPSiO SP C210SF ユーザーズガイド



お問い合わせ先

お買い上げいただきました弊社製品についての消耗品のご注文や修理、製品の操作方法に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店または最寄りのサービス実施店にご連絡ください。
修理については、修理範囲（サービスの内容）、修理費用の目安、修理期間、手続きなどをご要望に応じて説明いたします。
転居の際は、販売店またはサービス実施店にご連絡ください。転居先の最寄りの販売店、サービス実施店をご紹介いたします。

リコープリンターコールセンターIPSiOダイヤル

製品の操作方法に関するお問い合わせは、
「リコープリンターコールセンターIPSiOダイヤル」にご連絡ください。

コールはイプシオ
0120-56-1240
FAX 0120-479-417

● 受付時間：9～12時、13～17時（土、日、祝日、リコーの休業日を除く）
※対応状況の確認と対応品質の向上のため、録音をさせていただいております。

最新プリンタードライバー情報

最新版のプリンタードライバーをインターネットのリコーホームページから入手できます。
● インターネット/リコーホームページ：http://www.ricoh.co.jp/

リコーは環境保全を経営の優先課題のひとつと考え、リサイクル推進にも注力しております。
本製品には、新品と同一の当社品質基準に適合した、リサイクル部品を使用している場合があります。

JA　2006年1月　G157-3101